ICHIHARA ART×MIX 2017

事業報告書

2017．11．1

いちはらアート×ミックス実行委員会

ICHIHARA
ART x MIX
2017
いちはら
アート×ミックス
2017
4/8 – 5/14
ICHIHARA
ART x MIX
2017
4/8 – 5/14

目　次

1	開催概要	（1）名称　（2）キャッチコピー　（3）会期	1
		（4）事業のねらい　（5）実施エリア　（6）実施事業	1
		（7）主催　（8）後援　（9）協力	1
		(10) 経緯	2
		(11) 継続イベントの実績概要	3
2	来場者数	（1）来場者数	5
3	収支状況	（1）３ヵ年収支	10
		（2）パスポート等販売	11
		（3）補助金・助成金	13
		（4）寄附金・協賛金等	14
4	経済効果	（1）千葉県産業連関表による経済波及効果	15
		（2）芸術祭会場及びその周辺の店舗売上状況	17
5	作品等	（1）２０１７アートプロジェクト	19
		（2）２０１７地域プロジェクト	23
		（3）開会式・閉会式	28
6	運営状況	（1）実行委員会組織・体制	29
		（2）実行委員会事務局	29
		（3）運営スタッフ	30
		（4）案内所	31
		（5）オフィシャルショップ	31
		（6）交通対策	32
		（7）宿舎	35
7	広報・宣伝	（1）広報印刷物	36
		（2）ウェブサイト・ＳＮＳ等	37
		（3）各種メディア掲載・報道等（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌）	38
		（4）ＰＲ イベント等	38
		（5）その他広報・宣伝	39
8	総括		41
参考資料		（1）会期中来場者アンケート	45
		（2）市民等へのアンケート（市内全域無作為抽出）	55
		（3）市民等へのアンケート（南総・加茂地区町会回覧、市内公民館等設置）	67
		（4）里山団体へのアンケート	72
		（5）町会から運営参加した方々へのアンケート	75
		（6）地域プロジェクト参加者へのアンケート	81
		（7）地域プロジェクトスタンプラリー(会場周辺商業者)アンケート	83
		（8）近隣自治体アンケート	85

1　開催概要

（1）名称

「 いちはらアート×ミックス２０１７ 」

（2）キャッチコピー

「 晴れたら市原、行こう。」「 都心から1時間、里山が舞台の芸術祭　」

（3）会期

平成２９年４月８日（土）～ 平成２９年５月１４日（日）　３７日間

（4）事業のねらい

○地域の町会や里山団体等の参画、教育関係分野等との連携による地域振興・市民力向上

○農商工観の各種関係団体や他自治体との連携強化による産業振興・活性化

（5）実施エリア

千葉県市原市南部エリア（小湊鐵道 上総牛久駅 ～ 養老渓谷駅 一帯）

1	上総牛久・内田エリア	【内田未来楽校】
2	高滝エリア	【市原湖畔美術館・やもかのなかま】
3	里見・飯給エリア	【ＩＡＡＥＳ（旧里見小学校）・里見駅・飯給駅】
4	月出エリア	【月出工舎（旧月出小学校）】
5	月崎エリア	【月崎駅・いちはらクオードの森】
6	白鳥エリア	【上総大久保駅・白鳥公民館・旧白鳥小学校】
7	養老渓谷エリア	【アートハウスあそうばらの谷】

（6）実施事業

A．アートプロジェクト【国内外のアーティストによる作品展示・ワークショップ】

・作家総数（作品総数）　３１組（３７作品）

［新作発表作家２５組、既存作品作家６組］［新作２６作品、既存１１作品］

B．地域プロジェクト【一般公募等による作品展示、ワークショップ、物販・飲食提供】

・参加者総数（作品等総数）　５４組（７９作品等）

［展示作品２２作品、ワークショップ３０作品、物販１８組、飲食提供９組］

※地域プロジェクト会場：旧白鳥小学校、ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)、内田未来楽校、小湊鐵道駅１７駅、髙瀧神社、宝林寺、市津公民館　　他

（7）主催

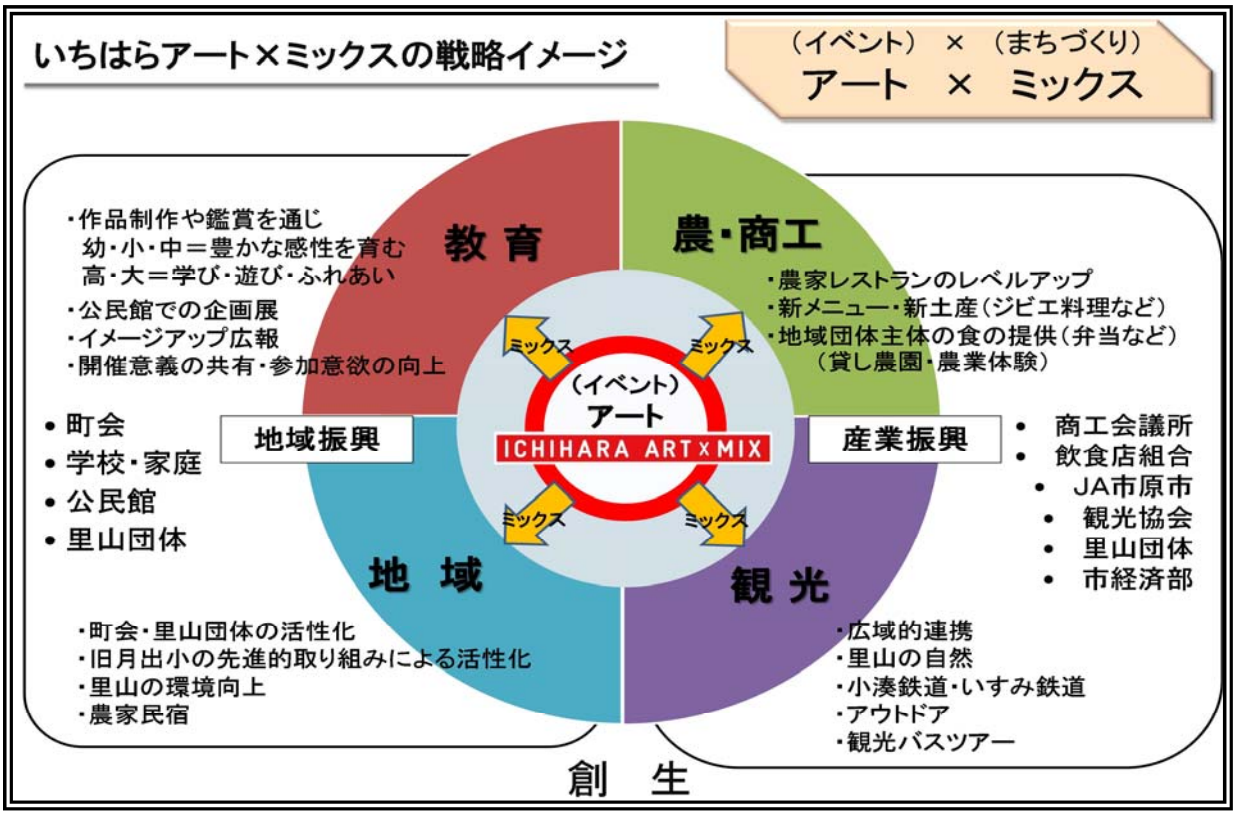
いちはらアート×ミックス実行委員会　（会長　市原市長　小出譲治）

（8）後援

千葉県　千葉市　木更津市　茂原市　勝浦市　君津市　四街道市　袖ケ浦市　いすみ市
一宮町　睦沢町　長柄町　長南町　大多喜町　御宿町

（9）協力

小湊鐵道株式会社



（10）経緯（アート×ミックス２０１４閉幕からアート×ミックス２０１７閉幕まで）

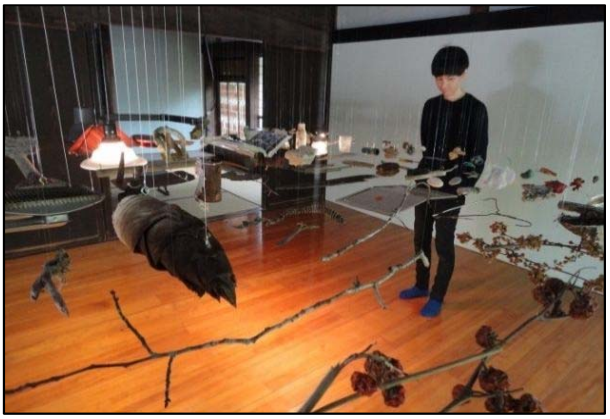
年月日	内容	備考
平成２６年　５月１１日	中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 閉幕	５２日間連続開催
平成２６年　７月２３日	中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 実行委員会　第４回総会	実行委員会存続等
平成２６年１０月２９日	中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 実行委員会　第５回総会	総括報告等
平成２７年　３月２０日	中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 実行委員会　第６回総会	取り組み方針
平成２７年　５月　２日 ～　５月　６日	アートいちはら２０１５春	継続イベント（５日間）
平成２７年１１月 ２１・２２・２３・２８・２９日	アートいちはら２０１５秋	継続イベント（５日間）
平成２８年　２月１８日	中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 実行委員会　第７回総会	第２回芸術祭開催決定
平成２８年　５月　３日 ～　５月　８日	アートいちはら２０１６春	継続イベント（６日間）
平成２８年１０月２６日	中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス 実行委員会　第８回総会	規約改正 ２０１７事業計画承認
平成２９年　４月　７日	いちはらアート×ミックス２０１７ 開会式・オープニングツアー	関係者等の招待
平成２９年　４月　８日	いちはらアート×ミックス２０１７ 開幕	一般公開開始 ３７日間連続開催
平成２９年　５月１４日	いちはらアート×ミックス２０１７ 閉幕・閉会式	

（11）継続イベントの実績概要

	アートいちはら２０１５春
会期	２０１５年5月2日(土)　～　6日(水･祝)　　計5日間 ［但し、アートハウスあそうばらの谷は、4月29日(水･祝) ～ 5月17日(日)の土日祝　計10日間］
会場	ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)、月出工舎(旧月出小学校)、アートハウスあそうばらの谷、内田未来楽校、月崎駅（森ラジオ ステーション）、市原湖畔美術館
来場者数	６,３９２人
作家数	計１８組　（旧里見小１０組、旧月出小７組、あそうばら１組）
食・販売関係	・里山食堂　（ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)） ・おもいでの家　（アートハウスあそうばらの谷）

Photo 野口浩史

おにぎりのための運動会／IAAES(旧里見小)



Alignment 展／友枝望／アートハウスあそうばらの谷

	アートいちはら２０１５秋
会期	２０１５年11月21日(土)･22日(日)･23日(月･祝)･28日(土)･29日(日)　計5日間 ［但し、アートハウスあそうばらの谷は、11月21日(土)～29日(日)、12月5日(土)･6日(日)　計11日間］
会場	ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)、月出工舎(旧月出小学校)、アートハウスあそうばらの谷、内田未来楽校、月崎駅（森ラジオ ステーション）、市原湖畔美術館
来場者数	５,３４０人
作家数	計１８組　（旧里見小１５、旧月出小１、あそうばら１、湖畔美術館 1）
食・販売関係	・里山食堂　（ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)） ・おもいでの家　（アートハウスあそうばらの谷）

Photo 野口浩史

カフェトーク／月出工舎(旧月出小)

Photo 野口浩史

月夜乱舞／佐藤香／アートハウスあそうばらの谷

	アートいちはら２０１６春
会期	２０１６年5月3日(火･祝)　～　8日(日)　　計６日間
会場	ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)、月出工舎(旧月出小学校)、アートハウスあそうばらの谷、内田未来楽校、月崎駅（森ラジオ ステーション）、市原湖畔美術館
来場者数	８,４２８人
作家数	計１８組（旧里見小 11、旧月出小 3、あそうばら１、内田未来 1、森ラジオ 1、湖畔美術館 1）
食・販売関係	・里山食堂　（ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)） ・おもいでの家　（アートハウスあそうばらの谷） ・内田未来カフェ（内田未来楽校）

Photo 野口浩史

刺繍カフェてふてふ／キジマ真紀／内田未来楽校

Photo 野口浩史

「地熱の扉」公開制作／小沢敦志／IAAES（旧里見小）

2　来場者数

（1）来場者数　［単位：人］

＜参考：前回＞

NO	会場名等	2017 来場者数	2017 (一日あたり)	2014 来場者数	2014 (一日あたり)	比較 来場者数	比較 (一日あたり)
1	内田未来楽校 （蝶々と内田のものがたり）	5,632	(152)	6,299	(121)	▲667	(31)
2	市原湖畔美術館 _館内（里山絵本展）	11,450	(309)	12,898 [美術館内]	(248)	▲1,448	(61)
3	市原湖畔美術館 _屋外（イチマル）	8,074	(218)	3,005 [湖の飛行機]	(58)	5,069	(160)
4	ＩＡＡＥＳ （旧里見小学校）	12,492	(338)	13,382	(257)	▲890	(81)
5	月出工舎 （旧月出小学校）	6,250	(169)	5,223	(100)	1,027	(69)
6	月崎駅 （森ﾗｼﾞｵ ｽﾃｰｼｮﾝ）	7,261	(196)	3,263	(63)	3,998	(133)
7	いちはらクオードの森 （地熱の扉/田舎暮らし）	4,651	(126)	2,788 [ｻﾝﾀﾙの食堂]	(54)	1,863	(72)
8	旧白鳥小学校 （地域プロジェクト）	13,150	(355)	7,215 [いちはら人生劇場]	(139)	5,935	(216)
9	白鳥公民館 （里山写真展）	4,819	(130)	1,163 [里山芸術劇場]	(22)	3,656	(108)
10	ｱｰﾄﾊｳｽあそうばらの谷 （道路）	4,642	(125)	6,758	(130)	▲2,116	(▲5)
-	－	－	(-)	2,723 [牛久商店街倉庫]	(52)	▲2,723	(▲52)
-	－	－	(-)	2,552 [ﾚｼﾞｬｰｼｰﾄ]	(49)	▲2,552	(▲49)
11	里見駅 （ﾊｲﾎﾞｰﾙ･ｶﾞｰﾃﾞﾝ）	※ 1,035	(28)	<未計測> [わっぱ駅弁]	(-)	1,035	(28)
12	飯給駅 （Toilet in Nature）	※ 1,332	(36)	<未計測>	(-)	1,332	(36)
13	上総大久保駅 （森の入口）	※ 1,035	(28)	<未計測>	(-)	1,035	(28)
14	やもかのなかま （出会い）	※ 1,093	(30)	<未計測>	(-)	1,093	(30)
	小計（Ａ：№1～14）	82,916	(2,241)	67,269	(1,294)	15,647	(947)
15	おもいでの家 （ｱｰﾄﾊｳｽあそうばらの谷）	2,377	(64)	3,917 [山覚俵家]	(75)	▲1,540	(▲11)
16	里山食堂 （旧里見小学校）	5,214	(141)	－	(-)	5,214	(141)
-	－	－	(-)	8,250 [山登里食堂]	(159)	▲8,250	(▲159)

NO	会場名等	２０１７ 来場者数	(一日あたり)	２０１４ 来場者数	(一日あたり)	比較 来場者数	(一日あたり)
17	おにぎりのための運動会	301	(8)	989	(19)	▲688	(▲11)
-	–	–	(-)	1,822 [指輪ホテル]	(35)	▲1,822	(▲35)
-	–	–	(-)	452 [ARTDOOR]	(9)	▲452	(▲9)
18	その他イベント＆ ワークショップ参加	9,258	(250)	4,326	(83)	4,932	(167)
	刺繍カフェてふてふ	*83*					
	内田未来楽校ｲﾍﾞﾝﾄＷＳ	*1,240*					
	イチマル	*981*					
	里見 *100* 人教頭学校 キョンキョン	*1,043*					
	ぺちゃんこマグネットを作ろう！ 他	*249*					
	使えなさそうで使えそうな モノをつくろう	*47*					
	協会公認 土ソムリエ	*1,900*					
	春の星空観察	*16*					
	能楽鑑賞と体験	*213*					
	火処でおこなう火と食の会	*22*					
	オリジナル缶バッジをつくろう 他	*251*					
	つるぴか泥だんごをつくろう	*20*					
	お面づくりワークショップ	*10*					
	野外舞踏公演「ばけのかわ」	*780*					
	門付け行脚「ちょぼくれ」	*250*					
	【朗読と食事の会】月出る処、 今と昔 *vol.2* ～月出への手紙～	*24*					
	モザイクアートに挑戦 他	*63*					
	月出工舎オープニングイベント ／クロージングイベント	*400*					
	竹細工教室	*30*					
	木村崇人と森を遊ぶ／ 木村崇人と森ラジオを食べる	*70*					
	Carve-A-Palooza in いちはら	*100*					
	地域プロジェクト ｲﾍﾞﾝﾄＷＳ(旧白鳥小学校)	*685*					
	中井精也のｷﾞｬﾗﾘｰﾄｰｸ／ 写真撮影ワークショップ	*550*					
	髙瀧神社_見学ツアー／ 春季例大祭_稚児行列	*56*					
	千葉住職のギャラリートーク	*155*					
	栗田宏武 公開制作	*20*					
小計（Ｂ：№15～18）		17,150	(464)	19,756	(380)	▲2,606	(84)
合 計（Ａ＋Ｂ）		**100,066**	(2,704)	**87,025**	(1,674)	13,041	(1,030)

※注意：無人の来客カウント施設（里見駅･飯給駅･上総大久保駅･やもかのなかま：４会場）では、無人集計器（カウンター）を設置し来場者計測を試みたが、いたずら等による誤動作も多く、正確なカウントができなかったため、作品鑑賞パスポートスタンプラリーのコンプリートバッジ引換者数（1,035 人）をベースに、市内小学校による団体来場者を加算し算出した。

◇来場者総数　⇒　１００,０６６人（延べ数）　[一日あたり　２,７０４人/日]

◇会場受付別最高　⇒　１３,１５０人（旧白鳥小学校）[一日あたり　３５５人/日]

◇一日最高　⇒　８,１３６人（５月３日（水・祝））

◇曜日別　A.平　日（２２日間）⇒　２７,１５１人　[一日あたり　１,２３４人/日]

B.土日祝（１５日間）⇒　７２,９１５人　[一日あたり　４,８６１人/日]

◇全作品鑑賞者

（パスポートスタンプラリーのコンプリートバッジ引換者数）　⇒　１,０３５人

<参考：サテライト（連携）会場>

関係機関の全面的な協力により、芸術祭のサテライト(連携)会場として、今回試行的に、前回芸術祭で制作した作品や市原市在住の作家による作品を展示するなど、観光客等にもアート×ミックスをわかりやすくＰＲしながら、相互誘客に取り組んだ。来場者数は次のとおり。［単位：人］

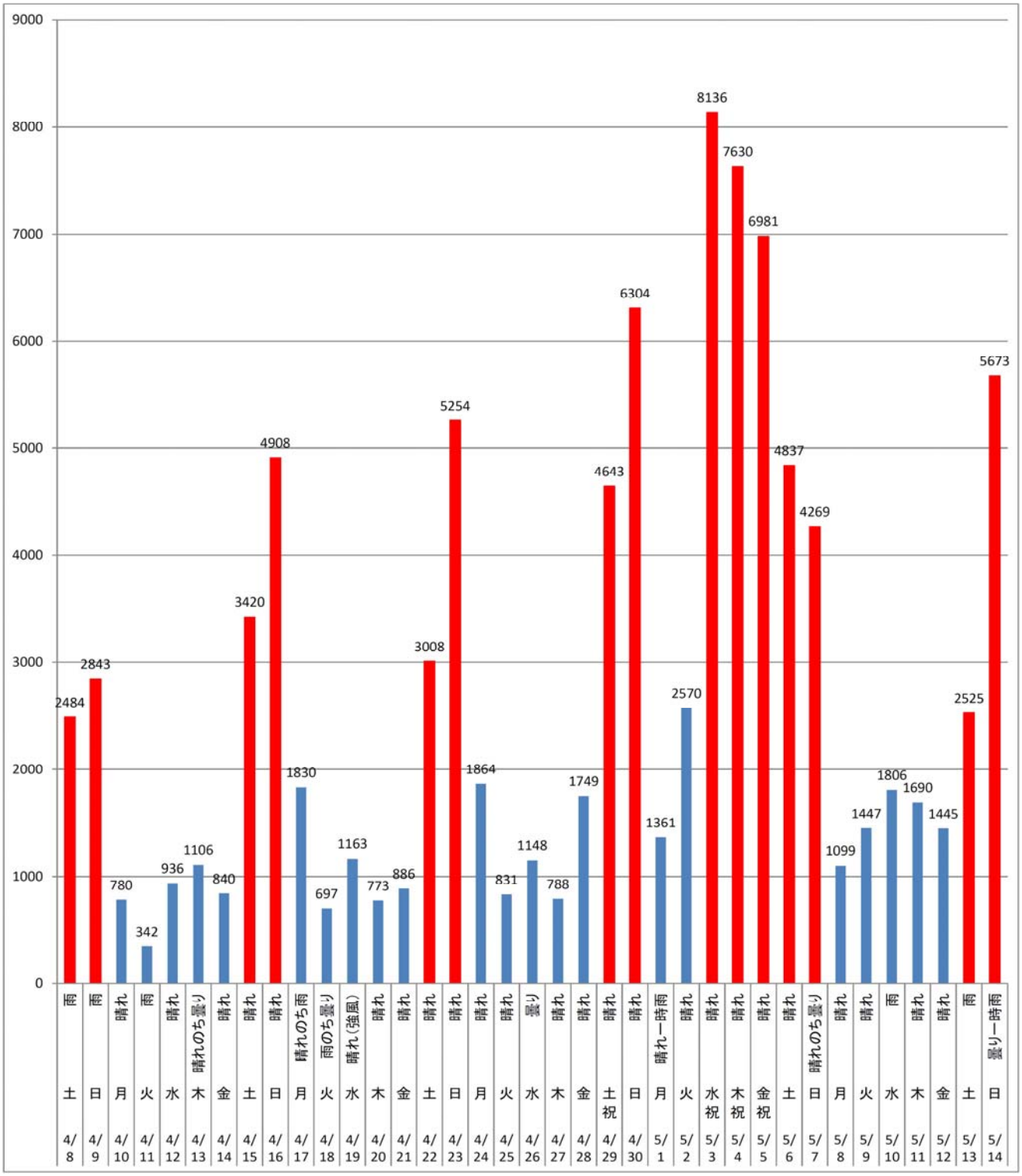
NO	会場名等	２０１７ 来場者数	(一日あたり)
1	館山自動車道 市原ＳＡ 特設ＰＲブース（上下線）	31,400	(849)
2	リソル生命の森《長柄町》 特設ＰＲブース	7,302	(197)
	計	**38,702**	(1,046)

⇒　芸術祭期間中のＳＡ利用者の１０％（データ提供：ネクスコ東日本）

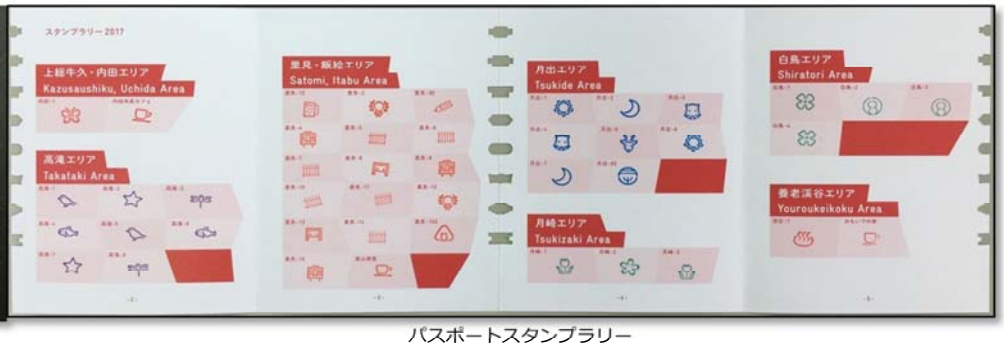
⇒　芸術祭期間中の宿泊者数（データ提供：リソル生命の森）

館山自動車道 市原ＳＡ特設ＰＲブース

いちはらアート×ミックス2017　来場者状況



コンプリートバッジ



パスポートスタンプラリー

実績

◇会期中の来場者総数（延べ数）は、１００,０６６人となり、前回芸術祭の８７,０２５人を上回った。

◇前回と今回では芸術祭の開催期間や開催場所が異なる部分があるため、単純比較が難しい面もあるが、一日あたりの平均来場者で比較すると、今回芸術祭(２,７０４人)は、前回芸術祭(１,６７４人)の約１.６倍の来場者となった。

◇会場別では、地域プロジェクトのメイン会場となった旧白鳥小学校(入場無料施設)が１３,１５０人で最高の来場となった。続いて、ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)、市原湖畔美術館_館内、市原湖畔美術館_屋外の順に来場者が多かった。［有人受付施設来場者カウント］

◇来場者が一番多かった日は、ゴールデンウイークの５月３日（水・祝）の８,１３６人であり、会期中に５,０００人を超えた日は６日間となった。

◇曜日別の一日平均来場者を比較すると、土日祝（４,８６１人/日）が平日（１,２３４人/日）の約４倍となった。

◇来場者の構成は、一般の来場者が７６.０％、高校生以上の学生が２.１％、中学生以下が２１.９％となった。前回に比べ、中学生以下の来場が大幅に増加した。［有人受付施設来場者カウント］

◇中学生以下の内訳は、中学生が４.７％、小学生７５.２％、小学生未満２０.１％であった。
［ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校) カウント］

◇性別では、男性が４４.７％、女性が５５.３％であった。［ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校) カウント］

◇来場者の内訳は、市外からが５９.４％（前回 76.0%）、市内からが４０.６％（前回 24.0%）で、依然として市外からの来場者割合が高いものの、前回に比べ市内からの来場が大幅に増加した。
市外からの来場のうち、県内からが３３.５％（前回 28.7%）、県外からが２５.９％（前回 47.3%）であった。その内訳としては、県内は千葉市、木更津市、船橋市の順に多く、県外は東京都、神奈川県、埼玉県の順に多く、近隣自治体や首都圏からの来場者が多かった。[来場者アンケート]

◇来場者の年代では、３０歳代が２４.５％（前回 29.1%）、40 歳代が１９.９％（前回 18.5%）の順に多く、２０歳代・５０歳代・６０歳代もそれぞれ１０％以上であり、比較的偏りも少なく、各年代から来場があった。[来場者アンケート]

◇市教育委員会との連携により、市内２７小学校から１,９２３名（児童１,７６６名・教員１５７名）が全校(加茂小･牛久小･内田小･寺谷小･鶴舞小・市西小)又は学年単位で、校外学習として会期中の平日に芸術祭会場を訪れた。
また、各学校で見学した会場や数は異なったが、平均して３ヵ所程度の会場で作品を鑑賞した。

◇東海小学校４年 40 名と戸田小学校 3･4 年 54 名の計 94 名の児童が能楽を鑑賞･体験した。
牛久小学校５年 40 名の児童が里見 100 人教頭学校キョンキョン(踊る教頭番外編)に参加した。
また、八幡小･辰巳台東小･菊間小･戸田小が里山食堂を利用し、内田小･牛久小等は栗田宏武氏によるカービング実演を見学した。

◇このほか、木更津市立木更津第一小学校学童クラブ(児童 65 名、引率５名)、船橋市立宮本中学校(生徒 16 名、引率３名)、市津公民館、南総公民館、市原商工会議所、市原市議会議員などが、団体で会場に来場いただいた。

◇一方で、会場のスペースが限られていたこともあり、小学生等の団体が鑑賞中、作品に触れてしまい、何度か作品の一部が破損することがあったり、話し声等で講師の説明が聞き取りにくくなったり、一般客へ迷惑となったりするなど、団体受け入れに対する課題も見えてきた。

3　収支状況

（1）３カ年収支　■平成27･28年度決算額及び平成29年度執行額（H29年9月末現在）

1　収入の部　（単位：円）

項目	内訳		27 年度	28 年度	29 年度執行額	合計
補助金	市補助金		15,000,000	73,800,000	18,660,000	107,460,000
		市（一般財源）	*4,000,000*	*66,609,000*	*18,660,000*	*89,269,000*
		国（文化庁）	*3,000,000*	*0*	*0*	*3,000,000*
		国（地方創生）	*8,000,000*	*0*	*0*	*8,000,000*
		（一財）自治総合センター	*0*	*4,100,000*	*0*	*4,100,000*
		寄附金（ふるさと納税含む）	*0*	*3,091,000*	*0*	*3,091,000*
	県補助金		2,500,000	0	0	2,500,000
事業収入	パスポート･グッズ等販売収入		53,544	8,631,730	14,244,487	22,929,761
	継続イベント（アートいちはら）等関連		820,500	674,350	0	1,494,850
諸収入	光熱水費負担金、利息等		195,337	94,678	16,443	306,458
小　計			18,569,381	83,200,758	32,920,930	① **134,691,069**
事業継続準備金（前年度繰越金）			② **28,384,891**	12,941,705	25,202,676	―
合　計			46,954,272	96,142,463	58,123,606	―

３ヵ年歳入合計①＋②：**163,075,960 円**

2　支出の部　（単位：円）

項目	内訳	27 年度	28 年度	29 年度執行額	合計
アートプロジェクト費		22,071,840	44,061,358	14,332,265	80,465,463
ディレクター費	総合ディレクター業務	10,000,000	0	0	10,000,000
作品制作費 イベント開催費	作品制作、イベント･WS 開催関連	5,181,840	39,597,358	14,332,265	59,111,463
	継続イベント（アートいちはら）等関連	6,890,000	4,464,000	0	11,354,000
広報宣伝費		3,791,019	16,823,993	5,894,964	26,509,976
ホームページ制作管理費	公式ウェブサイト維持管理	1,000,000	1,500,000	500,000	3,000,000
広告料	雑誌等掲載料、広告費、SNS他	0	394,800	206,286	601,086
	継続イベント（アートいちはら）等関連	177,964	108,000	0	285,964
広報宣伝費	ポスター、チラシ等の広報宣伝物作成	0	13,650,728	5,188,678	18,839,406
	継続イベント（アートいちはら）等関連	2,613,055	1,170,465	0	3,783,520
サポーター活動費		49,614	25,084	411,074	485,772
活動運営費	サポーター関係消耗品他	0	11,898	411,074	422,972
	継続イベント（アートいちはら）等関連	49,614	13,186	0	62,800
事務局運営費		8,100,094	10,029,352	22,442,816	40,572,262
施設管理費	あそうばらの谷、IAAES、月出工舎等	888,826	4,072,027	6,140,139	11,100,992
	継続イベント（アートいちはら）等関連	1,164	1,040	0	2,204
事務局運営費	レンタカー代、燃料費、振込手数料他	234,226	1,271,480	1,293,848	2,799,554
	継続イベント（アートいちはら）等関連	225,844	53,994	0	279,838
イベント運営費	計画策定、周遊バス、保険料他	4,613,490	3,411,523	15,008,829	23,033,842
	継続イベント（アートいちはら）等関連	2,136,544	1,219,288	0	3,355,832
小　計		34,012,567	70,939,787	43,081,119	③ **148,033,473**
事業継続準備金（繰越金）		12,941,705	25,202,676	―	―
合　計		46,954,272	96,142,463	―	―

３ヵ年歳出合計 ③　：**148,033,473 円**

実績

平成 29 年度予算は執行中であるが、3 年間の歳出総額は約 1 億 4,803 万円となった。(H29 年 9 月末現在)

（２）パスポート等販売

◇作品鑑賞パスポート

区分		単価（円）	枚数（枚）	金額（円）	販売窓口
一　般	前売（市民）	1,500	6,288	9,432,000	○実行委員会事務局　○会場･案内所 ○市内郵便局（35 局）　○市原市役所 ○市原市市民会館　○あずの里いちはら ○館山道市原ＳＡ　○市原湖畔美術館 ○AND LIFE　○個別指導 Axis ○小湊バス五井駅東口案内所 ○戸田コミュニティセンター ○養老渓谷駅前観光案内所 ○養老渓谷温泉旅館組合《市原市･大多喜町》 ○リソル生命の森《長柄町》 ○セブンチケット　○ローソンチケット ○イープラス　○チケットぴあ ○ＣＮプレイガイド
	前売（市外）	1,700	791	1,344,700	
	当　日	2,000	2,823	5,646,000	
学生（高校生以上）		1,000	314	314,000	
販売計			10,216	16,736,700	
委託販売手数料				▲585,044	
販売収入合計				16,151,656	

◇個別鑑賞券（９施設）　　※再入場は、個別鑑賞料の半額

施設名（料金）	個別券(枚)	金額(円)	再入場(枚)	金額(円)	合計金額(円)
内田未来楽校　（300 円）	959	287,700	67	10,050	297,750
市原湖畔美術館_館内　（300 円）	509	152,700	14	2,100	154,800
市原湖畔美術館_屋外　（300 円）	919	275,700	86	12,900	288,600
ＩＡＡＥＳ(旧里見小)　（800 円）	1,847	1,477,600	181	72,400	1,550,000
月出工舎(旧月出小)　（500 円）	805	402,500	98	24,500	427,000
月崎駅(森ﾗｼﾞｵ ｽﾃｰｼｮﾝ)　（300 円）	1,784	535,200	80	12,000	547,200
いちはらｸｵｰﾄﾞの森(地熱の扉)（300 円）	178	53,400	10	1,500	54,900
白鳥公民館　（300 円）	1,335	400,500	42	6,300	406,800
ｱｰﾄﾊｳｽあそうばらの谷(道路)（300 円）	863	258,900	18	2,700	261,600
計	9,199	3,844,200	596	144,450	3,988,650

※入場無料 <全域>:旧白鳥小学校、里見駅(作品ｴﾘｱ)、飯給駅(作品ｴﾘｱ)、上総大久保駅(作品ｴﾘｱ)、やもかのなかま(作品ｴﾘｱ)
<一部>:旧里見小学校(体育館･里山食堂･ｼｮｯﾌﾟ)、いちはらｸｵｰﾄﾞの森(田舎暮らし)、ｱｰﾄﾊｳｽあそうばらの谷(おもいでの家)

◇**オフィシャルグッズ**

商品名（料金）	販売数(個/枚)	金額(円)	販売窓口
ガイドブック （850 円） ※	1,226	1,021,100	○実行委員会事務局
マップ （100 円）	244	24,400	○オフィシャルショップ
パスポートケース （200 円）	559	111,800	・上総牛久駅前（深山文具店）
ステッカー （100 円）	46	4,600	・IAAES（旧里見小学校）
ピンバッジ （500 円）	911	455,500	・旧白鳥小学校
トートバッグ （1,700 円） ※	275	432,500	・養老渓谷駅前観光案内所
Ｔシャツ （1,500 円）	174	261,000	○アリオ市原
Ｔシャツ （1,000 円）	254	254,000	○館山道市原ＳＡ
販売計		2,564,900	○市原湖畔美術館
委託販売手数料		▲100,549	○ゴルフ５カントリーオークビレッヂ
販売収入合計		2,464,351	

※　セット割引販売分含む

ピンバッジ

トートバッグ

Ｔシャツ

◇**イベント参加費**（事務局扱い分）

イベント名	小学生以上 [500 円] (人)	金額(円)	3 歳以上小学生未満 [300 円] (人)	金額(円)	3 歳未満 [無料] (人)	合計金額(円)
おにぎりのための運動会	225	112,500	59	17,700	17	130,200

実績

◇前回の作品鑑賞パスポートは、交通パスポート(1,000 円)分とセットで販売したが、今回は、作品鑑賞のみのパスポートとし、価格は 2,000 円(一般当日)に設定した。また、中学生以下は無料とした。

◇より多くの市民に来場いただけるよう、前売販売価格から更にお得となる市民割引価格を新たに設定し、販売促進に努めた結果、前売券の売上が大幅に増加した。

◇作品鑑賞パスポートの販売窓口については、関係者の協力により、市内全域へネットワークを有する郵便局(簡易郵便局を除く３５局)をはじめ、各種施設等での購入が可能となった。また、市外からの来場者へ対応するため、コンビニエンスストア等での購入を含む５つのプレイガイドでも販売を行った。

◇地域プロジェクトのメイン会場で来場者が一番多かった旧白鳥小学校が無料だったことや大幅に増加した中学生以下が無料だったこと等もあり、作品鑑賞パスポートの売上枚数は、前回を若干下回った。

（３）補助金・助成金

平成 27 年度

名称	団体名	金額
文化芸術振興費補助金（文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）	文化庁	3,000,000 円
地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生先行型交付金）	内閣府	8,000,000 円
宿泊・滞在型観光推進事業補助金	千葉県	2,500,000 円
合計		13,500,000 円

平成 28 年度

名称	団体名	金額
文化芸術振興費補助金（文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業）	文化庁	<不採択>
自治総合センターコミュニティー助成金（地域の芸術環境づくり助成事業）	一般財団法人　自治総合センター	4,100,000 円
文化・芸術による地域振興助成金	公益財団法人　福武財団	<不採択>
合計		4,100,000 円

平成 29 年度

名称	団体名	金額
自治総合センターコミュニティー助成金（活力ある地域づくり助成事業）	一般財団法人　自治総合センター	<不採択>
文化・芸術による地域振興助成金	公益財団法人　福武財団	<不採択>
合計		0 円

実績

◇特定財源の積極的な確保に努めたが、同様な芸術祭が日本全国で数多く展開され競争が増したことや事業の新規性や将来的な自立性を求められたこともあり、当初見込んでいた補助金・助成金の大部分は不採択となった。

◇結果として、3 年間で、文化庁補助金が 300 万円、千葉県補助金が 250 万円、自治総合センターからの助成金が 410 万円確保できたが、これらはいずれも継続イベント（アートいちはら）の財源対象としてのものであった。このほか、地方創生先行型の補助金として 800 万円を確保することができた。

（４）寄附金・協賛金等

種　　類	件数	金額	備考
現金寄附	15 件	1,910,000 円	
ふるさと納税寄附金 （使用目的をアート×ミックスとした寄附）	250 件	1,181,000 円	H28 年度反映分まで
小　　計　（市補助金経由分）		3,091,000 円	
パスポート購入協賛	48 件	6,243,000 円	
グッズ等購入協賛	14 件	458,100 円	
小　　計　（実行委員会直接分）		6,701,100 円	
合　　計		9,792,100 円	
現物協賛 （市原 SA での特設 PR ブース設置・ＰＲ活動、ＡＥＤ貸与、ラッピングバス等広告、牛乳パック広告、ミニのぼり旗、イベントスペース提供、ライブ音収録機材貸与、おにぎり用米提供、施設塗装、会場整備、駐車場整備、花壇関係肥料・資機材提供、簡易トイレ汲み取り、など）	17 件	6,489,740 円	現金として換算
総　合　計	344 件	16,281,840 円	

＜協賛表示等の設置＞

	種類	サイズ	数量	場所
1	協賛表示壁広告	H100 ㎝×W160 ㎝	1 枚	五井駅自由通路
2	協賛ボード	H100 ㎝×W160 ㎝	2 枚	旧里見小、旧白鳥小

実績

◇寄附金･協賛金としては、企業等からの直接現金寄附が１９１万円、ふるさと納税制度を活用した寄附が１１８万1,０００円の計３０９万1,０００円となった。

◇金額的には、市制施行５０周年記念事業として開催した前回を大きく下回ったが、本当に多くの皆様にご賛同いただくとともに、様々な方面からご支援をいただいた結果、件数では前回より増加した。また、ふるさと納税制度を活用した個人からの寄附も大幅に増加した。

◇社員の福利厚生としてのパスポート協賛や各種現物協賛について、今回 PR を強化した結果、市内の企業をはじめ、幅広い分野の皆様から本当に多くの協賛をいただき、芸術祭を支えていただいた。

◇このほか、今回初めて企業メセナの採択を受け、制度の活用に努めたが、結果として、賛同いただけるところはなかった。

4　経済効果

(１)千葉県産業連関表による経済波及効果

一般的に経済波及効果とは、イベントの開催や大型投資等によって新たに生み出された需要が直接誘発する生産とともに、その生産活動を通じて他の産業にも波及して誘発される生産までのことを言う。

前回芸術祭同様、今回も「平成 23 年千葉県産業連関表による経済波及効果簡易分析ツール」を使用し経済波及効果を算出した。

【前提条件】

来場者については、1 人の来場者が複数の会場を訪れたという状況を勘案し、前回同様、平均で一人当たり 4 カ所来場したと想定し、延べ 100,066 人の実来場者を 25,017 人、消費額を 2 億 5,203 万円と推計した。　　※一人あたりの消費額は、来場者アンケートによる（次のとおり）。

◇一人あたり平均消費額　　(単位：円)

項目	県内客･日帰り	県外客･日帰り	県内客･宿泊	県外客･宿泊
①芸術祭の作品施設鑑賞費（作品鑑賞パスポート代、個別鑑賞料等）	2,097	2,089	3,405	3,472
②交通費（鉄道やバス等の運賃･レンタカー代、高速道路料金など）	1,076	4,213	3,121	11,173
③宿泊費	0	0	6,826	10,872
④飲食費	1,813	2,024	3,709	5,784
⑤お土産	1,205	1,336	2,025	2,330
⑥①以外の美術館や観光施設等の入場料、その他娯楽費	239	95	869	671
⑦その他	82	75	344	486
計	6,512	9,832	20,299	34,788

◇推定来場者 (経済波及効果算出用)　　(単位：人)

項目	県内客･日帰り	県外客･日帰り	県内客･宿泊	県外客･宿泊
推定来場者数	17,703	4,231	834	2,249

Ⅰ．直接効果
　… 来場者の消費額と作品制作費や警備費などの主催者経費の総額
Ⅱ．第一次間接波及効果
　… 新たな生産（直接効果）によって生じた原材料等の投入によって誘発された生産額
Ⅲ．第二次間接波及効果
　… 直接効果と第一次間接波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、各産業の生産額が増加した額

【結果】

実行委員会の 3 ヵ年の事業費は総額 1 億 4,803 万円、来場者消費額が 2 億 5,203 万円となり、来場者消費額と主催者等経費の総額（最終需要増加額）が 4 億 6 万円となった。

そこで、この最終需要増加額を千葉県産業連関表の 36 部門に振り分け、経済波及効果簡易分析ツールに値を入力し経済波及効果を算定した。

※［］　は県内額（単位：百万円）

1．直接効果（最終需要増加額）	400［271］

2．分析結果	合計	直接効果	第一次間接効果	第二次間接効果
生産誘発額	594［404］	400［271］	114［79］	80［54］

推定来場者数	25,017 人
3ヵ年事業費（H29 年 9 月末まで）	148,033,473 円
消費額	252,028,181 円
直接効果（最終需要増加額）	400,061,654 円

直接効果（最終需要増加額）	400,060,000［271,820,000］円
一次間接効果まで合計（1.28 倍）	514,240,000［350,520,000］円
二次間接効果まで合計（1.48 倍）	594,170,000［404,260,000］円

【説明】

経済波及効果簡易分析ツールに基づき算定した結果、直接効果（最終需要増加額）と一次波及効果の合計は約5億1,424万円となる。二次波及効果を含めた経済波及効果の合計は約5億9,417万円となる。直接効果に対する誘発効果は、一次波及効果までで 1.28 倍、二次波及効果を含めると 1.48 倍となる。

来場者消費額と主催者等経費の直接効果（最終需要増加額）の 4 億 6 万円に県内自給率をかけると、県内の直接効果は約 2 億 7,182 万円となり、直接効果と一次波及効果の合計は約 3 億 5,052 万円、二次波及効果を含めた県内の生産波及効果の合計は約 4 億 426 万円となる。

(２)芸術祭会場及びその周辺の店舗売上状況

会場や周辺店舗における芸術祭に起因する飲食や土産品等の提供では、次のとおり 3,100 万円を超える売上結果(一部推計含む)となった。

◇芸術祭会期中の売上状況（一部で売上想定等を含む）

場所/名称		売上額(円)	備考
A：会場内飲食提供			
1　内田未来楽校	内田未来カフェ	15,777,000	
2　市原湖畔美術館	PIZZERIA　BOSSO		
3　ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)	里山食堂		
4　月出工舎（旧月出小学校）	月出のニワコヤ		木～日･GW　22 日間のみ
5　アートハウスあそうばらの谷	おもいでの家		
6　旧白鳥小学校	《地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ飲食》		
B：会場内物販（オフィシャルショップ）			
1　小湊鐵道　上総牛久駅前	㈲深山文具店	2,049,000	㈲深山文具店
2　ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)	会場内売店		市原市観光協会
3　旧白鳥小学校	会場内売店		市原商工会議所 土･日･GW　17 日間のみ
4　小湊鐵道　養老渓谷駅前	駅前観光案内所		市原市観光協会
C：会場内物販（自主運営等）			
1　内田未来楽校	報徳の会ショップ	10,286,000	
2　市原湖畔美術館	湖畔美術館ショップ		
3　ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)	《地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ物販》		
4　月出工舎（旧月出小学校）	月出工舎ショップ		
5　旧白鳥小学校	《地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ物販･WS》		
6　小湊鐵道　養老渓谷駅前	《地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ物販》		
D：会場周辺物販（ｵﾌｨｼｬﾙｸﾞｯｽﾞ・ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ販売）			
1　市原ＳＡ（上り）	施設内売店	206,000	
2　市原ＳＡ（下り）	施設内売店		
3　ゴルフ5カントリーオークビレッヂ	施設内売店		
4　アリオ市原	施設内売店		

E：会場周辺飲食・物販（ゴルフ場・地域プロジェクトスタンプラリー協力店）				
1	ゴルフ５カントリーオークビレッヂ レストラン	利用客数　300 名	3,174,000	客単価での推計
2	会場周辺の店舗 (南総･加茂地区等 計５３店)	利用客数　3,330 名		
合　　計				
			31,492,000	

実績

◇関係店舗の協力により、芸術祭期間中の売上額（一部は利用者数による推計）を把握することができた。経済波及という視点による数値データの一つとして、今後も活用していきたい。

◇市原商工会議所南総支部・加茂支部をはじめ、大多喜町を含む会場周辺の店舗の協力により、今回、初めて地域プロジェクトスタンプラリーを展開することができた。地域をあげた来場者への‘‘おもてなし’’や経済振興につなげる相互誘客という面からも大きな一歩となった。

◇地域プロジェクトスタンプラリーの協力店舗を対象としたアンケートでは、営業実績や売上額が増加したと答えた割合が多かった。今回把握できた数字以上に、平常時より来客数が増えたとの直接的な声も数多く聞かれた。

◇会場周辺をはじめとする地域の飲食や物販等の店舗については、まだまだ状況把握ができていないところが多数ある。今後、協力していただける店舗をさらに拡大し、相互誘客に努めていく必要がある。周辺店舗への来場者（売上額）カウントの手法についても、店舗側へ負担がないよう努めなければならない。

5　作品等

（1）２０１７アートプロジェクト

アート作品については、招聘及び公募による３１組の作家が参加し、作品数は３７点であった。

招聘作家については、前回芸術祭や継続イベント等で実績のあるアーティストを中心に選定された。

公募作家については、５０組の応募の中から選定された５組の作家が参加した。(平成 28 年 5 月 3 日現地見学会)　イベント・ワークショップは、会期中、８２種類、２６２回行われた。

【作品一覧】

会場名	No	作家名	作品名
内田未来楽校	1	キジマ真紀	蝶々と内田のものがたり
市原湖畔美術館	2	豊福亮	イチマル　《屋外》
	3	かこさとし	小湊鐵道 100 歳企画 里山絵本展
	4	KOSUGE1-16	Heigh-Ho（2013）
	5	KOSUGE1-16	Toy Soldier（2013）
	6	クワクボリョウタ	Lost Windows（2013）
	7	アコンチ・スタジオ	Museum-Stairs/Roof of Needles & Pins（2013）
	8	木村崇人	星ぶどう（2013）
やもかのなかま	9	栗田宏武	出会い（2014）
飯給駅	10	藤本壮介	Toilet in Nature（2012）
IAAES （旧里見小学校）	11	開発好明	里見 100 人教頭学校キョンキョン
	12	開発好明	モグラハウス
	13	世界土協会　〔公募〕 World Dirt Association	Dirt Restaurant －土のレストラン－
	14	小沢敦志	地熱の扉 制作スタジオ（2014）
	15	吉田和司	吉田事物屋／事物屋博物館
	16	豊福亮	美術室（2014）
	17	角文平	養老山水図
	18	渡辺泰子	Dear outside
	19	レオニート・チシコフ	芭蕉の月／デ･キリコの月／ロルカの月(2014) 種田山頭火の月／ウィリアム・ブレイクの月
	20	磯崎道佳　〔公募〕	ひかりのあな
	21	仲田絵美	光の屑／Trash of Lights
	22	佐藤史治＋原口寛子	星（近視と遠視）

会場名	No	作家名	作品名
月出工舎 （旧月出小学校）	23	岩間賢	うたつち
	24	岡博美	たゆたう
	25	岡田杏里　〔公募〕	脳内原始旅 vol.2
	26	塩月洋生	閒（あわい）
	27	鈴村敦夫　〔公募〕	つながる波紋
	28	チョウハシトオル	火処の大屋根
	29	風景と食設計室 ホー	月出る処、今と昔 vol.2 ～月出への手紙～
	30	舞踏団トンデ空静 〔公募〕	野外舞踏公演「ばけのかわ」 門付け行脚「ちょぼくれ」　《ｲﾍﾞﾝﾄ》
月崎駅	31	木村崇人	森ラジオ ステーション×森遊会
いちはらクオードの森	32	小沢敦志	地熱の扉
	33	栗田宏武	田舎暮らし 陽だまりの庭にて
上総大久保駅	34	ＣＬＩＰ	森の入口（2014）
旧白鳥小学校	35	カルロス・ガライコア	ウェイクアップ／シティ／スリープ（2014）
白鳥公民館	36	中井精也	小湊鐵道 100 歳企画 里山写真展
アートハウス あそうばらの谷	37	鈴木ヒラク	道路

【イベント・ワークショップ一覧】

会場名	No	作家名	イベント・ワークショップ名
内田未来楽校	1	キジマ真紀	刺繍カフェてふてふ
市原湖畔美術館		《イチマル（豊福亮）》№2～26	
	2	加藤友季子	猫似顔絵
	3	ももなり嵩	時代劇風パステル画似顔絵
	4	渥美雅史	木製ハンドメイドルアー
	5	宇城飛翔	陶芸体験
	6~9	岩﨑龍次	足湯／木工鳥笛／ノミ研ぎ屋／武器作り・トロッコ列車
	10	吉澤有香	フェイス・ボディペイント
	11	犬童南佳子	箸置きづくり
	12	江澤佳世子	風景スケッチ
	13	高宮宙志	革小物・刻印ワークショップ

会場名	No	作家名	イベント・ワークショップ名
市原湖畔美術館	14	坂本千弦	七宝焼きのアクセサリーを作ろう！
	15	山本美由希、伊東五津美	旅の記念館
	16	杉田明	少女マンガ似顔絵
	17	大川友希	染色ワークショップ
	18・19	中野経子	ガーランド作り／村の秘伝の泥おにぎり作り
	20	白鳥朝子	真鍮アクセサリー
	21	保木詩衣吏	ガラスのアクセサリー作り
	22・23	豊福亮	魔法開発！／サザエ星作り
	24	本山ひろ子	小さなメダル
	25・26	満尾洋之	妖怪似顔絵／人相描きワークショップ
IAAES （旧里見小学校）		《里見 100 人教頭学校キョンキョン（開発好明）》№27～55	
	27	wato	おいしくなーれ教頭
	28	國岡陽太	チョコレート教頭
	29	坂口淳	オフサイド教頭
	30~32	池宮中夫	踊る教頭／公演「100 年の空だ」 ／小学生番外編
	33	仲田智	アート屋台教頭
	34・35	本田孝義	撮れ！撮れ！教頭／上映会
	36	スーザン・ピーチ	現代ジュエリー教頭
	37	古堅太郎	果実酒教頭
	38・39	角銅真実	学校音楽教頭／コンサート
	40	村田六郎太	昔の手業教頭
	41	柳池繁	ネイチャーガイド教頭
	42	松本靖彦	滝教頭
	43	相川孝夫、渡邉茂男	日高誠實教頭
	44	風岡修	地質教頭
	45	木村由希子	八街ピーナッツ教頭
	46	井上尚子	くんくん教頭
	47	村田峰紀	一心不乱教頭
	48	升水絵里	歌ダンス教頭
	49	平田浩造	雨城楊枝教頭
	50	LOW-TEC	ノイズ教頭
	51	晋平太	ラッパー教頭

会場名	No	作家名	イベント・ワークショップ名
IAAES （旧里見小学校）	52	レオニート・チシコフ	月教頭（アーティストトーク）
	53	串田雅実	キャディー教頭
	54	坂本小百合	ぞうさん教頭
	55	桑原和久	頭ハゲない教頭
	56~60	小沢敦志	イチハラザウルスを作ろう！／フォーイ磁石を作ろう！／叩いて作ろう！ネジネジスプーンキーホルダー／ぺちゃんこマグネットを作ろう！／アルミの雫を作ろう！
	61	吉田和司	使えなさそうで使えそうなモノをつくろう
	62	世界土協会	協会公認 土ソムリエ
月出工舎 （旧月出小学校）	63~66	岡博美	オリジナル缶バッジをつくろう／転写プリントでオリジナルバッグをつくろう／スタンプを使って、カラフルな柄のカバンをつくろう／ガリ版で自分の絵を刷ろう
	67	岡田杏里	お面づくりワークショップ 「月出の森に住む生きものに変身しよう！」
	68	塩月洋生	つるぴか泥だんごをつくろう
	69・70	鈴村敦夫	モザイク燻製のたまごをつくろう ／モザイクアートに挑戦
	71	チョウハシトオル	火処でおこなう火と食の会
	72	風景と食設計室 ホー	【朗読と食事の会】 月出る処、今と昔 vol.2 ～月出への手紙～
	73・74	舞踏団トンデ空静	野外舞踏公演「ばけのかわ」 ／門付け行脚「ちょぼくれ」
	75・76	ニワコヤ	月出工舎オープニングイベント ／クロージングイベント
月崎駅	77・78	木村崇人	木村崇人と森を遊ぶ ／木村崇人と森ラジオを食べる
いちはらクオードの森	79・80	栗田宏武	Carve-A-Palooza in いちはら ／公開制作（長谷川ライディングファーム）
白鳥公民館	81・82	中井精也	中井精也のギャラリートーク ／写真撮影ワークショップ

★いちはらアート×ミックス連動企画展（市原湖畔美術館）

カールステン・ニコライ「Parallax パララックス」（3/18～5/14）　※パスポート提示で入場料割引

▽参考：内田未来楽校「蝶々と内田のものがたり」（キジマ真紀）における作品制作参加

市原市内の全中学校(22 校)で作品となる蝶々の制作に参加（約 550 頭）

このほか、内田未来楽校来場者、船橋市立宮本中学校、市原市工芸会、ちはら台ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰなども参加

（2）２０１７地域プロジェクト

今回新たに、地域で活躍する個人や団体の魅力を発信する地域プロジェクトを企画し、市内及び周辺の14市町を対象に公募を行い、作品等選考委員会において本市をはじめ周辺7市町から28組を選考した。さらに、主催者調整による25組、小湊鐵道創業100周年を記念した「小湊鐵道100歳企画」とのタイアップを加え、計54組が旧白鳥小学校を中心に展示及び体験教室などを展開した。今回は、市内小中学生によるウエルカムボードの制作や小学生による2,000点を超える絵画の展示、地域住民や芸術祭ボランティアによる花壇整備、髙瀧神社や宝林寺の神社仏閣との連携など、市原ならではの芸術祭を目指した。

地域プロジェクト公募期間	平成28年11月15日 ～ 12月2日
作品等選考委員会の開催	平成28年12月17日
選考結果通知発送	平成28年12月28日
参加者現地説明会	平成29年　1月20日、21日

イベント・ワークショップは、会期中、30組、59種類、216回行われた。

【参加一覧】　　全会期：4/8～5/14、前期：4/8～4/23、後期：4/29～5/14

会場名	No	出展(店)名	区分				期間	地域
			展示	WS体験	物販	飲食		
旧白鳥小学校	1	石神・菜の花畑をVR体験しよう！	○				全会期	市原市
	2	ＩＫＥＢＡＮＡインスタレーション〔市原市茶華道協会〕	○				全会期	
	3	茶の湯体験　〔市原市茶華道協会〕		○			14日間	
	4	華道体験　〔市原市茶華道協会〕		○			14日間	
	5	養老川の川船模型　〔桜さんさん会〕	○				全会期	
	6	未活用木に新たな生命を！〔栗田宏武〕（カービング作品展示）	○				全会期	
	7	「市原の情景」南市原写真クラブ展　Vol.9	○				全会期	
	8	『ゆめ花』（ゆめ花作品展示）〔市原ぞうの国〕	○				全会期	
	9・10	市原市工芸会（クラフト作品展示等）	○	○			前期	
	11	市原市謡曲連合会（能楽資料展示等）	○				後期	
	12	総美会選抜展（絵画展示）	○				後期	
	13	タイ王国伝統工芸　フルーツ＆ソープ・カービング工房　アトリエ ジャスミン		○			3日間	
	14・15	創作陶房　翠信窯（陶芸作品等）		○	○		15日間	
	16・17	smile＊camera（クラフト作品販売等）		○	○		5日間	
	18	OTANIMA会（クラフト作品販売）			○		4日間	
	19	大森工房（鉄作品販売）			○		3日間	

会場名	No	出展(店)名	区分				期間	地域
			展示	WS体験	物販	飲食		
旧白鳥小学校	20・21	ガラス細工・とんぼ玉（ガラス販売等）		○	○		5日間	市原市
	22・23	くらふと宮野（クラフト作品販売等）		○	○		4日間	
	24	「シンプル凧」を作って揚げよう		○			2日間	
	25・26	マナビオ（キットパス体験等）		○	○		3日間	
	27	地酒販売　地産地笑81号　〔㈲永島人美商店〕			○		15日間	
	28	Cafe うさぎや（アジアン料理）				○	4日間	
	29	八百寿司				○	6日間	
	30	こなや本舗				○	13日間	
	31	からあげ大将亭				○	4日間	
	32	SEASIDE CAFE KRUZE（パンケーキ）				○	1日	
	33	ちくでんの里（産地直送販売）			○		2日間	
	34・35	一般社団法人もりびと（木工作品制作等）		○	○		29日間	長南町
	36	『スターダスト(星屑）』　〔たべ・けんぞう〕	○				全会期	いすみ市
	37・38	トリップトラックス　－マクラメ工房－		○	○		9日間	
	39・40	『市原の声色』（聞き書き作品等） 〔ＮＰＯ法人共存の森ネットワーク〕	○	○			全会期	千葉市
	41・42	RITZ FARM〔リッツファーム〕 （焼き芋販売、ジャーサラダ制作）		○	○		9日間	
	43・44	レザークラフト		○	○		9日間	
	45	りんご美術（モザイクタイル制作）		○			2日間	
	46	よしこのぱん				○	7日間	
	47・48	moonchild（木工作品）		○	○		5日間	大多喜町
	49・50	犬思いの革首輪 Lykke〔リュッケ〕		○	○		2日間	茂原市
	51	シンパカフェ				○	5日間	
	52	華ワイヤークラフト　Lien〔リアン〕		○			2日間	木更津市
	53	暮ラシカルデザイン編集室（自費出版本）			○		14日間	勝浦市
	54	『BIOMBO(ビオンボ）』〔カルロス・ランク〕	○				全会期	海外
	55	広域連携ブース(後援市町による観光情報発信)	○				全会期	周辺市町
	56	小学生絵画展（２ヵ所の体育館へ展示） （旧白鳥小1,517点、旧里見小580点、計2,097点）	○				全会期	市原市
IAAES （旧里見小学校）	57	『能楽鑑賞と体験』　〔市原市謡曲連合会〕		○			1日(2回)	
	58	おにぎりのための運動会〔Ushiku11 体育協会 VONDS市原〕		○			3日間	
	59	『春の星空観察』〔ＮＰＯ市原星空キャラバン隊〕		○			1日	

会場名	No	出展(店)名	区分				期間	地域
			展示	WS体験	物販	飲食		
IAAES （旧里見小学校）	60・61	Mai Cafe×Artisan Chocolate 33 チョコレート製品販売等			○	○	全会期	市原市
	62・63	小さな前田麻里展 in 里山食堂～絵の森へようこそ～ 前田麻里トークショー4/15(ゲスト脚本家坂口理子)	○	○			全会期	
	64	花いっぱいプロジェクト（花壇整備）	○				全会期	
里見駅	65・66	ハイボール･ガーデン （ハイボール販売）　〔喜動房倶楽部〕	○	○			全会期 (土日祝)	
内田未来楽校	67	内田未来楽校イベント・ワークショップ		○			19 日間	
月出工舎(旧月出小)	68	竹細工教室		○			5 日間	
養老渓谷駅	69・70	いちはら里山ファーム（ジェラート、ジャム等）			○	○	12 日間	
髙瀧神社	71	稚児行列（春季例大祭）		○			1 日	
	72	神社ツアー		○			2 日間	
小湊鐵道各駅 /主要会場	73	小中学生ウエルカムボード(中 22 校. 小 10 校. 計 34 枚)	○				全会期	
市津公民館	74・75	切絵作品展（公民館連動企画）	○	○			全会期	

【参加一覧：小湊鐵道 100 歳企画】

会場名	No	出展(店)名	区分				期間	地域
			展示	WS体験	物販	飲食		
旧白鳥小学校	76	『里山と暮らし展』遠山あき 『里山梅ヶ瀬の夢展』日高誠實	○				全会期	市原市
小湊鐵道本社	77	小湊鐵道 100 年と里山展	○					
宝林寺	78・79	里山と禅展　千葉公慈ギャラリートーク	○	○				
市原湖畔美術館	―	かこさとし　里山絵本展	○					
白鳥公民館	―	中井精也　里山写真展	○	○	○			

※かこさとし展（市原湖畔美術館）、中井精也展（白鳥公民館）は、アートプロジェクトとしてカウント

【その他関連イベント】

	イベント名	内容	開催日	主催者
1	第4回いちはら里山ロゲイニング	里山と芸術祭会場を舞台にした ナビゲーションスポーツ	4/9	フィールズ㈲
2	～電動アシスト自転車で楽々巡る～ いちはらアート×ミックスサイクリングツアー	芸術祭主要会場をコースガイドと 巡るサイクリングツアー	4/23	市原市観光協会
3	駅からハイキング	ＪＲと連携したハイキングイベント	全会期	ＪＲ東日本㈱
4	房総さとやまGO	小湊鐵道・養老渓谷駅とＪＲ久留里線・久留里駅、濃溝の滝（君津）を結ぶ広域観光バス	土日祝	市原市 君津市
5	第25回いきいき市原ワンデーマーチ	小湊鐵道・養老渓谷駅周辺を巡る ウォーキングイベント	4/29	市原市教育委員会

【会場内での飲食提供・物販による''おもてなし''】

	会場名	名称	運営主体	期間
1	内田未来楽校	内田未来カフェ	報徳の会	全会期
2	ＩＡＡＥＳ（旧里見小学校）	里山食堂	市原ルネッサンス	全会期
3	里見駅	駅喫茶	喜動房倶楽部	土日祝
4	アートハウスあそうばらの谷	おもいでの家	ＪＡ市原市女性部	全会期
5	旧白鳥小学校他	※地域プロジェクト参加一覧を参照		

※各会場内において、地域の里山団体やＪＡ市原市等による飲食提供や物販などが行われた。

【会場周辺での飲食提供・物販による''おもてなし''（地域プロジェクトスタンプラリー協力店舗）】

1 食事処 さとう食堂	2 悠友亭	3 吾妻堂	4 田川精肉店
5 東屋精肉店	6 春木屋	7 時田酒店	8 深山文具店
9 木村家そば店	10 金中食堂	11 すし勢	12 ﾌﾟﾃｨ・ﾘｳﾞｨｴｰﾙ
13 三河屋	14 小野精肉店	15 大判焼みっくすハウス	16 らーめんだいこう
17 こがねや	18 松の家	19 玉屋	20 中華ラーメン・定食 小泉亭
21 フェリシア	22 きそば子安	23 つるまいホープラザ	24 しょうちゃん食堂
25 デイリーヤマザキ市原高滝店	26 高滝ダム記念館レストラン	27 高滝ダム 憩いの家	28 寿司割烹食事処 千鶴
29 寿司善	30 富士武苑	31 山あじさい	32 PIZZERIA BOSSO
33 UMEKA食堂	34 里見駅 喜動房倶楽部	35 八百寿司	36 田邉精肉店
37 Cafe うさぎや	38 きそば田奴久	39 よし清	40 Ｙショップ髙山商店
41 Yショップ朝日屋店	42 Mai Cafe	43 Ｙショップ養老金子商店	44 旭屋
45 角屋商店	46 窯焼きパンの店 酪	47 ラーメン兼龍	48 黒湯の宿 喜代元
49 食堂大新	50 喫茶ふじ	51 ラ・フランス《大多喜町》	52 和食処 清恵《大多喜町》
53 手打蕎麦 ゆい《大多喜町》			

※スタンプラリー台紙順

※会期中、会場と店舗との相互誘客や来場者に地域を周遊してもらう仕掛けとして、市原商工会議所南総支部・加茂支部、小湊鐵道の協力を得ながら地域プロジェクトスタンプラリーを実施した。

※小湊鐵道各駅に設置された小中学生によるウエルカムボード周辺と各協力店舗には、のぼり旗とスタンプを配置し、集めたスタンプ数に応じて景品と交換できる仕組みを整えた。
併せて、各協力店舗では、集計用カウンターを設置し、スタンプラリーによる来店者数をカウントした。

※会期終了後のアンケートでは、芸術祭期間中の来客数と収益が多少なりとも増えたと実感している店舗が非常に多く、今後の連携協力にも前向きな回答が多く見られた。

【パスポート特典協力店舗】

1　紅丸食堂	2　秋田屋	3　旭屋	4　吾妻堂
5　居酒屋 りある	6　市原ぞうの国	7　小倉庵	8　回転すし 鮨八
9　花月庵みのしま	10　割烹 勝浦	11　吉華園	12　ゴルフ５カントリー オークビレッヂ
13　菜々処 咲くら	14　サマナラ	15　旬鮮食菜 鳥安	16　寿司・会席 久松本店
17　寿司割烹食事処 千鶴	18　寿司割烹 徳川	19　そばぐるめ きたこま	20　TAVERN　ZiP
21　高滝ダム記念館レストラン	22　中華料理 彩菜	23　中華料理　悠友亭	24　中国飯店
25　手打そば 伝兵衛	26　手打蕎麦 ゆい《大多喜町》	27　特選鰻寿司和食処 八幡屋	28　日本料理 傳
29　長谷川ライディング ファーム	30　春木屋	31　宝来	32　松の家
33　麺や 紅丸	34　麺屋 むげん	35　焼肉 外苑	36　山あじさい
37　らーめんだいこう	38　ラーメン桃々華	39　ラ・フランス《大多喜町》	40　和食鰻麺　八幡屋
41　和食処 清恵《大多喜町》			

※50音順

※会期中、作品鑑賞パスポートを提示することで、店舗毎に各種サービスを提供いただいくとともに、相互誘客に努めた。

【その他、ガイドブック掲載協力等】

①　観光情報

1　安由美会	2　石神なの花会	3　市原米沢の森を考える会	4　いっぺあｄｅ渓谷
5　真高寺	6　高滝湖観光企業組合	7　鶴舞公園	8　道の駅 あずの里いちはら
9　与市郎桜			

※50音順

②　飲食店・土産物

1　㈲姉崎松月堂	2　居酒屋 ことぶき	3　㈲ゴット	4　ＮＰＯ法人しいの木会
5　㈲松月堂本店	6　杉山ジャム工房	7　㈲時田商店	8　㈲梅香堂
9　㈱守屋	10　ろばた焼 浜長		

※50音順

③　ギャラリー・美術館

1　(公財)金谷美術館《富津市》	2　ギャラリーいたぶ	3　ギャラリー壷中庵	4　ギャラリー冶右衛門
5　ギャラリー鶴舞窯	6　ギャルリ梦心坊	7　千葉県立中央博物館分館 海の博物館《勝浦市》	8　千葉県立中央博物館 大多喜城分館《大多喜町》
9　千葉県立美術館《千葉市》	10　月の沙漠記念館《御宿町》	11　つるまい美術館 （つるまいホープラザ）	12　DIC川村記念美術館《佐倉市》
13　布の里工房	14　ホキ美術館《千葉市》	15　松田正平アトリエ館 （茶房ひむろぎ）	16　もみの木ギャラリー （喫茶もみの木）
17　酪・ガレリア			

※50 音順

④ **ゴルフ場**

1　市原京急カントリークラブ	2　市原ゴルフクラブ市原コース
3　市原ゴルフクラブ柿の木台コース	4　キングフィールズゴルフクラブ
5　ゴルフ５カントリーオークビレッヂ	6　ＣＰＧカントリークラブ
7　太平洋クラブ市原コース	8　千葉新日本ゴルフ倶楽部
9　千葉セントラルゴルフクラブ	10　千葉よみうりカントリークラブ
11　鶴舞カントリー倶楽部	12　ムーンレイクゴルフクラブ市原コース
13　ムーンレイクゴルフクラブ鶴舞コース	14　八幡カントリークラブ
15　ロッテ皆吉台カントリー倶楽部	※50 音順

⑤ **宿泊施設・立ち寄り湯**

1　足湯やすらぎ《大多喜町》	2　あねがさきロイヤルホテル	3　市原マリンホテル	4　大森荘
5　隠れ湯の宿 川の家《大多喜町》	6　黒湯とらし鍋の宿 嵯峨和《大多喜町》	7　黒湯の宿 喜代元	8　渓谷別庭 もちの木
9　渓流の宿 福水《大多喜町》	10　五井キャピタルホテル	11　五井グランドホテル	12　五井パークホテル
13　五井ホテルソーシャル	14　純和風の宿 天龍荘《大多喜町》	15　スーパーホテル千葉･市原	16　すずき旅館
17　滝見苑けんこう村 ごりやくの湯《大多喜町》	18　たべるお宿 鶴乃家	19　ビジネスホテル王倉	20　ビジネスホテル佐藤
21　ビジネスホテル白金	22　ビジネスホテル ソーシャル姉崎	23　ビジネスホテル タカザワ姉崎店	24　ビジネスホテルたなか
25　ビジネスネス旅館二葉	26　秘湯の宿 滝見苑《大多喜町》	27　ペンションせせらぎ	28　まつざき旅館
29　民宿 さかや	30　養老渓谷駅足湯	31　旅館 大津屋	32　旅館 加茂城

※50音順

（３）開会式・閉会式

◆開会式（オープニングツアー・地元等お披露目会）

日　時：平成２９年4月7日（金）１３時１５分から

場　所：ＩＡＡＥＳ（旧里見小学校）体育館

参加者：１５３名（議員、行政関係、実行委員、協賛協力企業、関係団体、地元町会、メディア、作家などの招待者）

備　考：開会式終了後、バス(3台)にて会場を巡るオープニングツアーを実施（地元等お披露目会を同時実施）

◆閉会式

日　時：平成２９年5月１４日（日）１８時３０分から

場　所：ＩＡＡＥＳ（旧里見小学校）体育館

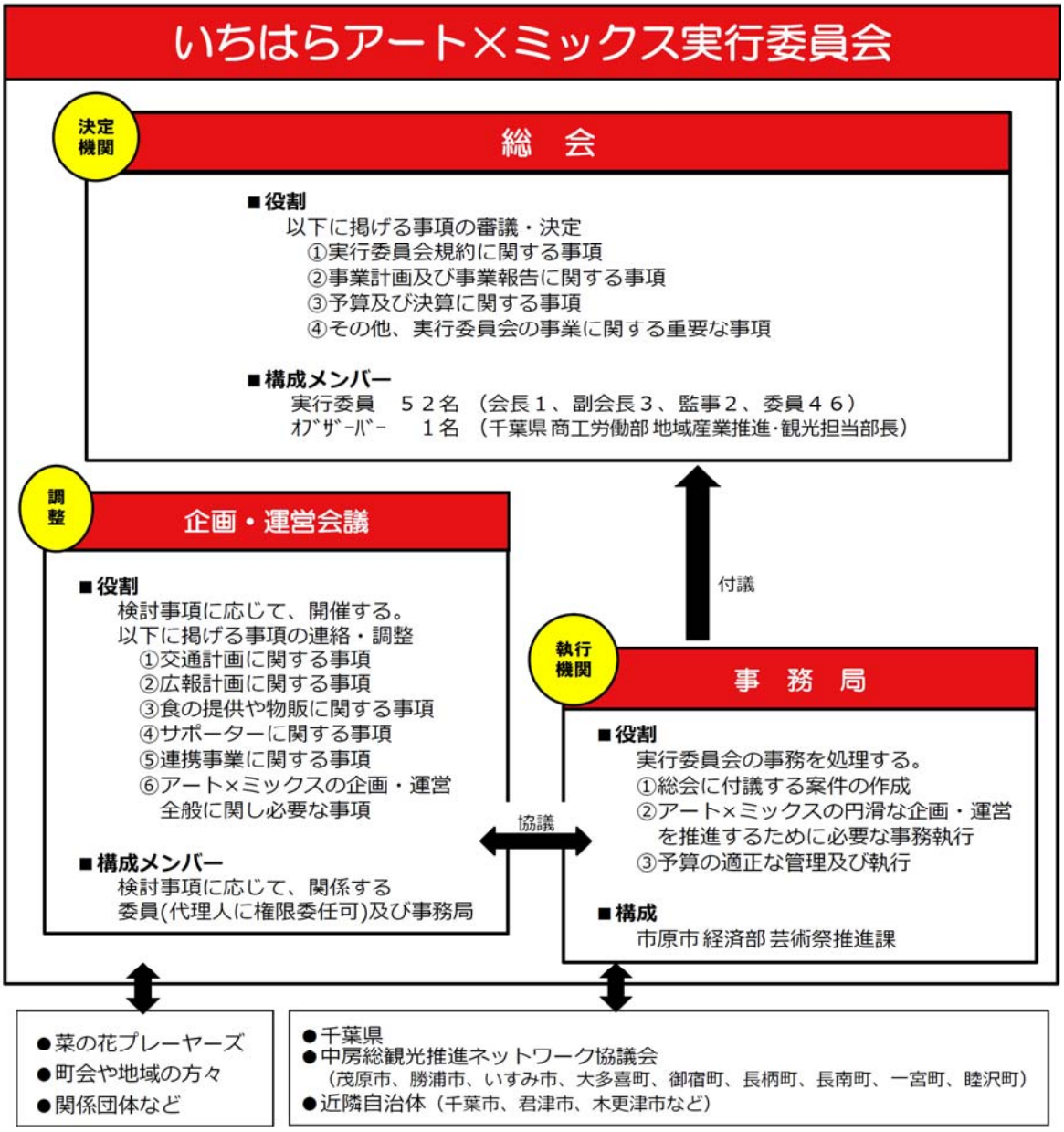
参加者：２０８名（議員、実行委員、協賛協力企業、関係団体、地元町会、メディア、作家、菜の花ﾌﾟﾚｰﾔｰｽﾞなど）

備　考：会費制による飲食及び懇談 ／ 本間華代子＆TAKERUの生演奏ステージを実施

6　運営状況

（１）実行委員会組織・体制

いちはらアート×ミックス実行委員会は、５２名の実行委員と１名のオブザーバーで構成され、多くの関係団体・企業・住民・行政が一体となって、地域活性化の礎を築くことを目指した芸術祭事業等を展開している。



（２）実行委員会事務局

実行委員会の事務局は、市原市経済部芸術祭推進課が担い、平成２８年４月から市原市牛久の南総支所内に事務所を設置し、住民・関係団体・企業等と連携しながら芸術祭全体を統括運営した。

事務局では、各作家との調整(契約)、宿舎の管理、各会場や案内所等の設営、運営スタッフの配置、パスポート等の販売売上金の管理、広報宣伝活動、電話やメールでの各種問い合わせ、トラブルなどに対応し、会期中の円滑な運営に努めた。

	事務局スタッフ	人数	期間	備考
1	芸術祭推進課職員(課長･課長補佐･係長･係員３名)	６名	H28. 4. 1 ～　　<常勤>	市職員
2	経済部内応援職員(観光振興課)[期間限定専従]	１名	H29. 2.10 ～ H29. 5.26	
3	庁内他部応援職員（総務部）　[期間限定専従]	１名	H29. 3. 6 ～ H29. 5.31	
4	庁内他部応援職員（土木部）　[期間限定専従]	１名	H29. 3.13 ～ H29. 5.31	
5	臨時職員（9 時～17 時、週４日）	１名	H28.10. 4 ～ H28.10.31 H28.12. 1 ～ H29. 6.30	臨時雇用

※H27. 4. 1 ～ H28. 3.31は、観光振興課国際芸術祭室（主幹･室長･室員２名）の４名体制。

（３）運営スタッフ

会場の整備、作品制作補助、会期中の受付、来場者への案内などついては、芸術祭ボランティアの菜の花プレーヤーズをはじめ、会場周辺の町会や関係団体、市役所職員の全庁応援(会期中)といった多くの方々のお力を借りながら、長期間の運営にあたった。

	区別	参加人数（延べ人数）	備考
1	菜の花プレーヤーズ（芸術祭ボランティア）	941人	会期外(制作準備等)を含む
2	町会・関係団体	908人	１８町会 ＋ ４団体
3	市職員	731人	市役所全庁応援（会期中）
	計	2,580人	

	場所		会場受付担当
1	内田未来楽校（蝶々と内田のものがたり）		報徳の会、菜の花プレーヤーズ、市職員
2	市原湖畔美術館_館内（里山絵本展）		市職員
3	市原湖畔美術館_屋外（イチマル）		菜の花プレーヤーズ、市職員
4	やもかのなかま（出会い）		《無人受付》
5	里見駅（ﾊｲﾎﾞｰﾙ･ｶﾞｰﾃﾞﾝ）		《無人受付》
6	飯給駅（Toilet in Nature）		《無人受付》
7	ＩＡＡＥＳ（旧里見小学校）		田淵町会、徳氏町会、飯給町会、大戸町会、平野町会、 万田野町会、柿木台町会、市原さくらライオンズクラブ、 菜の花プレーヤーズ、市職員
8	月出工舎（旧月出小学校）		月出町会、菜の花プレーヤーズ、市職員
9	月崎駅（森ラジオ ステーション）		月崎町会、柳川町会、菅野町会、石塚町会、森遊会、 菜の花プレーヤーズ、市職員
10	いちはらクオードの森	(地熱の扉)	月崎町会、柳川町会、菅野町会、石塚町会、安由美会、 菜の花プレーヤーズ、市職員
		(田舎暮らし)	《無人受付》
11	上総大久保駅（森の入口）		《無人受付》
12	旧白鳥小学校（地域プロジェクト）		国本町会、折津町会、大久保町会、市原さくらライオンズクラブ、 菜の花プレーヤーズ、市職員
13	白鳥公民館（里山写真展）		国本町会、折津町会、大久保町会、 菜の花プレーヤーズ、市職員
14	アートハウスあそうばらの谷（道路）		朝生原町会、戸面町会、石神町会、 菜の花プレーヤーズ、市職員
	計		１８町会 ＋ ４団体 ＋ 菜の花プレーヤーズ ＋ 市職員

（４）案内所

	名称	開設日	時間	内容
1	総合インフォメーション （実行委員会事務局）	全日	8：30～18：00	パスポート パスケース ガイドブック等販売、 各種案内業務
2	小湊鐵道 五井駅構内案内所 （小湊鐵道五井駅構内<臨時>）	土日祝	9：00～12：30	
3	小湊鐵道 上総牛久駅前案内所 （上総牛久駅前山内ビル１階）	全日	9：30～17：00	
4	小湊鐵道 里見駅前案内所 （小湊鐵道里見駅前<臨時>）	土日祝		
5	小湊鐵道 養老渓谷駅前観光案内所 （市原市観光協会）	全日	9：00～17：00	

（５）オフィシャルショップ

	名称	運営	開設日	時間	主な販売商品
1	小湊鐵道 上総牛久駅前 ㈲深山文具店	㈲深山文具店	全日	9：00～17：30	オフィシャルグッズ (トートバッグ・ Ｔシャツ・ピンバッジ) 国府ブランド商品 いちはら梨サイダー 小湊鐵道グッズ ジビエ加工品 飲食物、土産品など
2	ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校) 会場内売店	市原市観光協会	全日	10：00～17：00	
3	旧白鳥小学校 会場内売店	市原商工会議所	土日祝	10：00～17：00	
4	小湊鐵道 養老渓谷駅前 駅前観光案内所	市原市観光協会	全日	9：00～17：00	

※販売商品の内容は、ショップ毎で一部異なる。

実績

◇芸術祭の運営にあたっては、菜の花プレーヤーズ、会場周辺の町会、里山団体等に全面的な支援をいただきながら、来場者への‘‘おもてなし’’に取り組んだ。このほか、会期前に、千葉県立市原特別支援学校つるまい風の丘分校の生徒に、閉校施設や上総大久保駅のトイレ清掃等へ協力いただいた。

◇菜の花プレーヤーズに加え、地域の皆様方が受付や案内に参加いただいたことで、来場者からは「地域ならではの話が聞けて良かった」「地元の人とふれあえた」などの声も数多く聞かれ、笑顔や笑い声も増えるなど、人と人とのふれあいを楽しむ光景などが各所で見られた。また、一緒に従事いただいた菜の花プレーヤーズ・地域の皆様方・市職員の間でも、世代や地域を超えた様々な交流が生まれた。

◇案内所やオフィシャルショップについては、市原市観光協会や市原商工会議所などの協力のもと、自主的な案内や販売などに取り組んでいただいた。

◇今回の芸術祭では、総合ディレクターや作家を仲介する事業者を置かず、実行委員会が作家と直接契約し、事務局が様々な調整業務等を直接担いながら展開した。

（６）交通対策

＜無料周遊バス＞

運行ルート		運行本数/日		乗車のべ人員（一日平均）		
		平日	土日祝	平日 <22 日>	土日祝 <15 日>	計 <37 日>
1	里見駅 ⇒ 旧里見小 ⇒ 旧月出小 ⇒ 湖畔美術館 ⇒ 里見駅	６循環 [１台]	６循環 [１台]	1,082 人 (49 人)	3,337 人 (222 人)	4,419 人 (119 人)
2	上総牛久駅 ⇔ 内田未来楽校	―	８往復 [１台]	―	446 人 (30 人)	446 人 (30 人)
3	里見駅 ⇔ 月崎駅 ⇔ いちはらｸｵｰﾄﾞの森 ⇔ 旧白鳥小 ⇔ 養老渓谷駅	―	５往復 [１台]	―	967 人 (64 人)	967 人 (64 人)
合計		６循環 [１台]	19 循環･往復 [３台]	1,082 人 (49 人)	4,750 人 (317 人)	5,832 人

実績

◇「ルート１」のみ３７日間毎日運行。「ルート２」及び「ルート３」は土日祝のみ１５日間運行(平日運休)

◇小湊鐵道の列車到着時刻をできるだけ勘案し、バスダイヤを設定。また、「ルート３」については、小湊鐵道里山トロッコ列車が途中駅で乗降できないため、バスで補完できるようダイヤを設定。
（「ルート１」及び「ルート３」について、概ね６０分程度で１循環･１往復）

◇一部で道路幅員やトンネルの高さ制限等もあることから、大型バスは運行不可能であり、路線バスで使用する中型ワンマンバスで運行した。

◇ＧＷ等の土日祝には、一時的にバス乗車定員（最大５８人）に迫る５０名以上の乗車となることもあり、非常に混み合う便も何度か見られる状況であった。

＜小湊鐵道＞

	平成 29 年 乗降客数（人）	平成 28 年 乗降客数（人）	差（H29-H28）	増加率
４月	58,061	52,647	5,414	10.28%
５月	56,705	53,316	3,389	6.36%
計	114,766	105,963	8,803	8.31%

※定期券購入者は除く。回数券、団体、トロッコ列車の乗降客を含む

実績

◇列車ダイヤ編成の関係から、臨時便は運行できなかったが、混雑時は増車対応でカバーしていただいた。

◇アート×ミックスのみを目的とした乗車人員等は把握できない状況であるが、前年度と単純比較すると乗車人員は約 8%増加した。

＜無料駐車場＞

	会場/最寄駅	駐車場	備考
1	上総牛久駅	牛久Ｔマート横駐車場(職員駐車場)	
2	内田未来楽校	内田未来楽校駐車スペース	
		内田小学校周辺民有地	
		内田小学校敷地（駐車場）	土日祝の混雑時のみ
		旧ガソリンスタンド跡地	《無料周遊バスの転回場》 空きスペースはバス等の臨時駐車場として利用
3	市原湖畔美術館	市原湖畔美術館駐車場	
		旧市民病院駐車場	バス等大型車利用時及び混雑時のみ
4	里見駅	加茂支所多目的広場	
5	飯給駅	緑の広場	バス等大型車利用時及び混雑時のみ
6	ＩＡＡＥＳ(旧里見小学校)	旧里見小学校駐車スペース	グランドの一部も使用
		徳氏会館敷地	
		徳氏会館周辺民有地	
		ＪＡ市原市集乳所敷地	
		旧加茂調理場駐車場	ＧＷの混雑時のみ
		加茂学園駐車場	「おにぎりのための運動会」開催時のみ（参加者用）[送迎対応]
7	月出工舎（旧月出小学校）	旧月出小学校周辺民有地	
		月出自治会館敷地	
		月出野外活動施設駐車場	野外舞踏公演時のみ
		月出野外活動施設の入口ゲート前駐車場	《無料周遊バスの転回場》 空きスペースは混雑時の臨時駐車場として利用
8	月崎駅	月崎駅前小湊鐵道所有地	
		月崎公民館敷地	混雑時のみ
		月崎農村公園敷地	混雑時のみ
9	いちはらクオードの森	いちはらクオードの森駐車場	
		いちはらクオードの森周辺民有地	
		月崎収納庫（市原市土木部）	ＧＷの混雑時のみ
10	旧白鳥小学校／白鳥公民館／上総大久保駅	旧白鳥小学校駐車スペース	グランドの一部も使用
		養老川漁業協同組合敷地	混雑時のみ
11	ｱｰﾄﾊｳｽあそうばらの谷／養老渓谷駅	石神駐車場（民有地）	バス等大型車利用も可
		あそうばらミニ運動広場	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ等の関係者専用

実績

◇地域の関係者等の協力を得て、会場又はその周辺に、無料駐車場を設置した。

◇混雑時は、会場近場のスペースにも協力いただき、駐車場を臨時的に用意した。

◇土日祝かつ主要会場に限って、最低限の交通整理員(警備員)を配置した。

◇平日や利用者の少ない駐車場では、対向車等確認用カーブミラー設置、誘導案内用白線設置、注意喚起用「案内看板」設置等の安全対策を施した。

◇「おにぎりのための運動会」では、旧里見小学校の校庭を一部使用することから、駐車スペースが不足するため、加茂学園駐車場に参加者用の駐車場を用意し、事務局の車で送迎対応した。

◇降雨等の悪天候の影響で、校庭や公園を利用した未舗装(土)の駐車場については、車がスタックするなど、一時的に利用ができなくなる状況となった。(旧里見小学校、旧白鳥小学校、緑の広場など)
なお、旧里見小学校・旧白鳥小学校の校庭を利用した駐車スペースについては、会期当初からの大雨で大きく損壊したため、応急的な改修工事対応により、会期中の駐車スペースを確保した。

◇各会場では、概ね用意したスペースで駐車可能となったが、一時的に入場待ちや路上駐車する車が見られることがあった。特に、市原湖畔美術館では、休日等に長時間の渋滞が発生することがあった。

<レンタサイクル>

	貸出場所	種別	開設日	利用料金	貸出件数(件)
1	小湊鐵道　高滝駅	無人	全日	普通自転車　100 円/日	86
2	小湊鐵道　里見駅				42
3	小湊鐵道　月崎駅				136
4	養老渓谷駅前案内所	有人		電動ｱｼｽﾄ自転車　1,000 円/日	168
5	高滝ダム「憩いの家」		土日祝	普通自転車　300 円/日 電動ｱｼｽﾄ自転車　1,000 円/日	29
合　計					461

実績

◇レンタサイクルについては、日頃から常時用意してある既存の仕組みを活用した。しかしながら、特に小湊鐵道の３駅では、自転車が不足して(全て貸出中等)、使いたいときに利用できない状況もみられた。

<レンタカー協力>

	貸出場所	内容
1	オリックスレンタカー　五井駅前店	アート×ミックスの作品鑑賞パスポートをセットにした特別割引プランを設定いただいた

実績

◇お得な専用プランを設定いただき、相互誘客に取り組むことができた。協力事業者からは、レンタル件数が前年同時期と比較して、増加したとの報告があった。

◇市原鶴舞バスターミナルでのレンタカー引渡し(無料)についても、体制を整えたが、利用者は無かった。

<交通対策・サイン>

	種類	サイズ	数量	備考
1	会場案内看板	H137 ㎝×W　36 ㎝	184 枚	新規作成分
2	横断幕	H 88 ㎝×W1,100 ㎝ H120 ㎝×W1,000 ㎝	1 枚 1 枚	R297 ﾊﾞｲﾊﾟｽ 国府小前 R297 牛久市原高校前
3	のぼり旗	H150 ㎝×W　45 ㎝	1,000 本	
4	作品案内	H 27 ㎝×W　21 ㎝	46 枚	自立式 41、杭式 5

実績

◇「会場案内看板」は、わかりやすい文字や記号を使用するとともに、
会場エリアを番号で表記するなど、できるだけ視認性に配慮したデザインに改善を図った。

◇このほか、追加又は臨時的に必要となった「会場案内看板」については、前回芸術祭や継続イベントで使用した看板を再利用し緊急的に対応した。

◇作品案内（キャプションボード）のベース部分については、前回芸術祭で使用したものを再利用し対応した。

◇駅から会場へ歩いて訪れるへの案内看板が不足していたため、改善が必要である。

（7）宿舎

■宿泊実績（延べ宿泊数）

	宿泊場所	H28 11 月	12 月	H29 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	計	備考
1	民間借り上げ住宅（月崎）	10	21	25	42	51	55	36	240	作家関係
2	民間借り上げ住宅（徳氏）	2	7	7	21	24	37	19	117	作家関係
3	民間借り上げ住宅（牛久）		1	1	6		20	12	40	作家関係
4	旧鶴舞青年の家（鶴舞）				4	29	11	17	61	作家関係
5	民間借り上げアパート(牛久)						23	26	49	ｻﾎﾟｰﾀｰ関係ﾒｲﾝ
6	民間借り上げ住宅（上原）						21	5	26	カメラマン
	合計	12	29	33	73	104	167	115	533	(除く月出工舎)

実績

◇作品制作の段階が進むにつれて、宿泊数が増加していった。そして、会期直前にピークを迎えた。

◇地元住民や関係機関の協力により、月極ではなく、宿泊実績による精算での借り上げが可能となった。

◇今回は、光熱水費・シーツ代・消耗品等の実費相当額(1 泊あたり定額)を作家やサポーターにも負担いただき対応した。

◇今回、確保した宿舎の中で、何とかうまくやりくりしながら対応したが、ピーク時は、受け入れが限界となる日もでてきてしまった。

◇結果的に、前回より宿泊数が大幅に減ったが、前回の旧月崎荘のように、ある程度臨機応変に宿泊可能な施設の確保が大きな課題である。

7　広報・宣伝

（1）広報印刷物

区分	枚数(枚)	内訳	内訳枚数(枚)
ポスター	11,600	メインポスター（B2）	6,000
		メインポスター（A2）	4,500
		パスポート販売促進ポスター（B3）	500
		中吊りポスター（B3）	600
チラシ	326,000	メインチラシ（A4）	105,000
		事前 PR チラシ（A4）	48,000
		アートプロジェクト公募チラシ（A4）	13,000
		子どもパスポート引換チラシ（A4）	150,000
		地域プロジェクトスタンプラリーチラシ（A4）	10,000
パンフレット	142,000	メインパンフレット（A3 二つ折り）	137,500
		イベント・ワークショップパンフレット（A3 二つ折り）	4,500

※会場毎の案内チラシ等は含まない。（別途作成）

（2）ウェブサイト・ＳＮＳ等

ウェブサイトに加え、Facebook、Twitter、Instagramなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用して情報発信を行った。また、情報発信サイトに登録し拡散に努めた。

- **公式ウェブサイトの実績**

  会期中（4/8～5/14）におけるページビュー数（閲覧数）　149,388 件

- **公式 Facebook の実績**

  1．いいねの数　2017 年 10 月　1 日時点　7,738
  2017 年　5 月 14 日時点（閉幕日）　7,640
  2017 年　4 月　8 日時点（開幕日）　6,306
  2016 年 10 月　1 日時点　5,408

  2．投稿・シェアの件数　201 件
  <内訳>　・会期中（4/8～5/14）　103 件
  ・その他の期間　98 件

  ※Facebook については、通常の投稿に加え、有料広告掲載も実施した。

- **公式 Twitter の実績**

  1．フォロワー数　2017 年 10 月　1 日時点　656

  2．投稿・シェアの件数　208 件
  <内訳>　・会期中（4/8～5/14）　106 件
  ・その他の期間　102 件

- **公式 Instagram の実績**

  2017 年 4 月 19 日に新規開設し、情報発信を開始した。
  1．フォロワー数　2017 年 10 月　1 日時点　100
  2．会期中投稿数　29 件

- **情報発信サイトでの実績**

  アート関係やイベント関係の情報発信サイトに登録し、情報発信を行った。
  <主なサイト>　ARTLOGUE、art-index、to-co-to、ART IT、myLiFE+、artgene、ちばみなと.jp、ことさが、るるぶ.com、ちばとぴ！チャンネル、イベントバンク　他

（3）各種メディア掲載・報道等（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌）

件数	内訳
● 新聞 8 紙 45 記事以上	朝日新聞、日本経済新聞、産経新聞、東京新聞、毎日新聞、 千葉日報、旬刊 高速道路新聞、FujiSankeiBusiness i
● 雑誌 38 誌 以上	OZ magazine TRIP、ぐるっと千葉、ことりっぷ Magazine、旅の 手帖、東京ウォーカー、美術手帖、横浜ウォーカー、旅行読売 他
● テレビ 4 社 42 件 以上	NHK（おはよう日本、首都圏ネットワーク） チバテレビ（ウィークリー千葉県、news チバ 930） フジテレビ（千葉の贈り物～まごころ配達人～） いちはらケーブルテレビ（輝きの街 いちはら情報局 他）
● ラジオ 7 社 10 件 以上	FM NACK5、ニッポン放送、bayfm、TBS ラジオ、J-WAVE、 いちはら FM、鹿児島シティエフエム 他
● フリーペーパー・地域紙等 60 件 以上	ハイウェイウォーカー（東日本エリア 70 万部）、シティライフ、 地域新聞、千葉あそび、伝心柱、加茂里山通信、広報いちはら 他
● ウェブサイト・SNS 掲載 200 件 以上	じゃらんニュース、ちばとぴ！チャンネル、千葉日報オンライン、 BayWave、 YAHOO!ニュース 他

（4）PR イベント等

● アリオ市原での PR イベント	【アリオ市原協力】	H29/ 4/ 2
● 菜の花祭りでの PR（※菜の花プレーヤーズによる）		H29/ 4/ 1
● VONDS 市原試合前イベントでの PR	【VONDS 市原･市原市観光協会協力】	H29/ 3/27
● 関東ブロック物産観光連絡協議会での PR（千代田区都道府県会館）		H29/ 3/21
● 市長定例記者会見での PR		H29/ 3/21
● ユニモちはら台での PR イベント	【ユニモちはら台協力】	H29/ 3/20
● 東北自動車道 佐野 SA(栃木県)での PR イベント	【ネクスコ東日本協力】	H29/ 3/11
● ちばとぴ！チャンネル カンファレンスでの PR		H29/ 3/ 9
● 海ほたる PA での PR イベント	【ネクスコ東日本協力】	H29/ 2/25
● 青年会議所千葉ブロックでの PR	【市原青年会議所協力】	H29/ 1/ 17
● いちはら高滝湖マラソンでの PR		H29/ 1/ 14
● 千葉県ｱﾝﾃﾅｼｮｯﾌﾟ「ちばＩ・ＣＨＩ・ＢＡ」での PR（千代田区 KITTE）		H28/11/19～12/17
● 市長定例記者会見での PR		H28/11/15
● 銀杏の会での PR		H28/11/14
● 加茂公民館祭りでの PR		H28/11/ 3
● JEF 市民デーでの PR（フクアリ）		H28/10/30
● 南総公民館祭りでの PR		H28/10/29～30
● 猿楽祭での PR（渋谷区代官山）		H28/10/ 9～10
● 上総いちはら国府まつり(専用ブース)での PR		H28/10/ 1～ 2
● 牛久ナイトバザールでの PR		H28/ 8/27

など

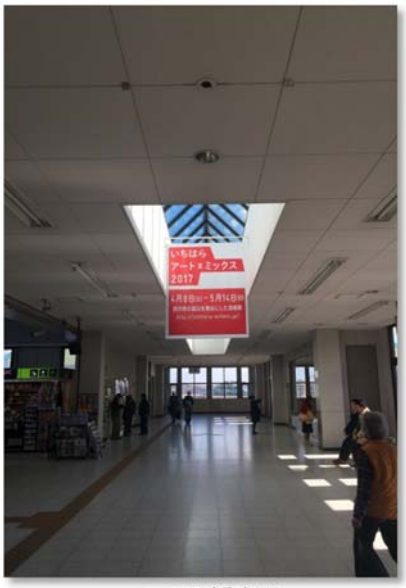
（5）その他広報・宣伝

<主に市民向け>

● チラシポケット付広報パネルスタンドの設置 （公民館等公共施設、アピタ市原店等商業施設、京成ちはら台駅、小湊鐵道４駅など　計 28 ヵ所）
● ＪＲ五井駅、姉ヶ崎駅、八幡宿駅の３駅への大型広告設置 （大型ポスター、大型壁広告、吊り下げ広告、階段広告など）
● 小湊鐵道ラッピング列車の運行　（列車２両）　【小湊鐵道協力】
● 市バス・公用車へのロゴラッピング、ロゴステッカー(ﾏｸﾞﾈｯﾄ)設置
● 市役所玄関及び１階ロビーへの大型バナー設置
● のぼり旗の設置 （駅前広場、公共施設、小中学校、会場、協力店舗など　計 1,000 本）
● カウンター設置用ミニのぼり旗の設置　【市原市内郵便局長会協力】 （パスポート販売場所、公共施設、協力店舗など　　計 200 本）
● 国道 297 号 歩道橋への横断幕設置 （牛久市原高校前歩道橋、ﾊﾞｲﾊﾟｽ村上国府小学校前歩道橋　計２ヵ所）
● 市内美容院 120 店舗に前回芸術祭の記録集を配布　【千葉県美容組合市原支部協力】
● アリオ市原フードコートテーブル 100 台に広告ステッカー設置　【アリオ市原協力】
● 市内小中学校の全児童･生徒に「こどもパスポート」及びパンフレット配布 （小学校全 42 校 15,820 枚(新１年生含む)、中学校全 22 校 7,177 枚、 計 22,997 枚）
● シティーライフ特集記事掲載　【シティーライフ協力】
● あいチャンネル特集番組放映　【あいチャンネル協力】

など

パネルスタンド



ＪＲ八幡宿駅

アリオ市原 PR イベント

<主に市外向け>

● 館山自動車道市原 SA(上下線 2 ヵ所)での特設 PR(作品展示)ブース設置 [H28 年 11 月 22 日除幕式]	【ネクスコ東日本 市原管理事務所協力】
● リソル生命の森（長柄町）での特設 PR(作品展示)ブース設置 [H29 年 2 月 25 日開設]	【リソル生命の森協力】
● 牛乳パック広告（フルヤ酪農牛乳 25 万本、せんどう牛乳 20 万本）	【フルヤ牛乳、せんどう協力】
● 小湊バス 300 台に車内広告設置（市原市、千葉市、長生地域運行）	【小湊バス協力】
● 小湊鐵道の列車に車内広告設置 （市原市、大多喜町運行）	【小湊鐵道協力】
● 千葉市以南の県内小中学校全児童・生徒にチラシ配布 （千葉県内 21 市町村、 計 128,257 枚）	【千葉県教育事務所、 各自治体教育委員会等協力】
● 宿泊施設でのポスター掲示・パンフレット等配布・パスポート販売 （養老渓谷温泉旅館組合(市原市･大多喜町)、リソル生命の森(長柄町)）	【養老渓谷温泉旅館組合、 リソル生命の森協力】
● レンタカー利用者へのＰＲ（オリックスレンタカー五井駅前店） （パスポートプレゼント付特別割引プラン設定）	【オリックスレンタカー 五井駅前店協力】
● 千葉県及び近隣自治体の広報誌・ＷＥＢサイト等での広報連携 ►テレビ･ラジオでの PR ⇒ 千葉県（千葉テレビ、ＴＢＳラジオ） ►市広報誌掲載 ⇒ 千葉市、君津市 ►観光情報誌掲載 ⇒ 千葉市（千葉あそび） ►フリーペーパー掲載 ⇒ 千葉市（オニオンマガジン） ►市ＷＥＢサイト掲載 ⇒ 四街道市、長柄町（バナー） ►情報サイト掲載 ⇒ 千葉市（ベイウェーブ） ►facebook ⇒ 千葉市、四街道市、君津市、大多喜町 ►Twitter ⇒ 千葉市 ►駅掲示板ポスター掲示 ⇒ 袖ケ浦市（ＪＲ袖ケ浦駅、長浦駅） ►ポスター掲示、チラシ・パンフレット配布 ⇒ 近隣各自治体 等	【千葉県、千葉市、 木更津市、茂原市、 勝浦市、君津市、 四街道市、袖ケ浦市、 いすみ市、一宮町、 睦沢町、長柄町、 長南町、大多喜町、 御宿町の近隣自治体協力】

など

リソル生命の森

牛乳パック広告

海ほたる PA　PR イベント

8　総括

第 2 回目となる「いちはらアート×ミックス２０１７」は、前回と比較し「約１／３の事業費」「約７割の会期」、総合ディレクターも置かない中で、前回の来場者実績を超えることを目標とした。

さらに、現代アートを軸とし、「教育」「地域」「農商工」「観光」などの様々な分野との融合を積極的に図り、アートイベントのインパクトをいかに地域振興や産業振興へつなげられるかが大きなテーマであった。

今回の芸術祭では、現代アート作品への投資額が限られた中で、参加作家の皆様には、展示作品のほか、体験型のワークショップを数多く実施していただき、来場者の関心を集め集客に繋げていただいたほか、今回は、芸術祭としての魅力をより高め、「地域発」の芸術祭とするために、市民の力とともに周辺自治体からの協力を得ながら進めてきた。

併せて、今回は、前回の課題を踏まえ、駐車場の無料化や周遊バスの見直しなどに取り組んだほか、サテライト(連携)会場での特設ＰＲブース設置、郵便局をはじめとしたパスポート販売場所の拡充と市民割引パスポートの新たな設定、関係機関や多くの自治体と連携した広報宣伝活動など、関係するたくさんの団体等に支えられながら、新たな試みにも少しずつ挑んだことで、来場者の増加へとつながっていった。

以下、ここで、今回の開催コンセプトの分野毎に芸術祭を総括する。

まず、「教育」分野では、市内小学生の絵画展示、学校又は学年単位による会場見学をはじめ、市内中学生による''おもてなし''のウエルカムボード制作や作品の一部となる蝶々制作へ取り組むなど、多くの児童・生徒が芸術祭に参加し、豊かな感性を育むためのきっかけの一つとなった。

次に、「地域」分野では、地元町会や里山団体の皆さん、延べ９００人以上が無償ボランティアとして、会場受付や案内等の運営へ加わり芸術祭を支えていただいたほか、「地域プロジェクト」の試みにより、地域で日ごろから活躍する個人や団体等、神社仏閣などにも芸術祭へ参画いただくことにより、様々な場所で新しい出会いやふれあいも増え、各地で笑顔が数多く見られた。

そして、「農商工」分野では、ＪＡ市原市や里山団体が季節の地元産食材を使用した飲食提供を行ったり、市原商工会議所等の協力により、国府ブランド商品やいちはら梨サイダーの販売を行ったりしたほか、地域の店舗への誘客にも取り組むことにより、市原の特産品などの魅力をアピールすることができた。

さらに、「観光」分野では、市原市の新たな魅力として人気の小湊鐵道里山トロッコ列車と芸術祭との相互誘客が実現したほか、沿線の桜や菜の花と里山の風景、高滝湖や養老渓谷など、市原市の貴重な観光資源もアート会場を周遊する中で紹介することができた。また、日本一の数を誇るゴルフ場では、芸術祭を一つのきっかけとして、レストランの一般客への開放が実現したり、「地域プロジェクト」を通じて、関係施設や近隣自治体との連携・参画が加速し、相互の魅力紹介が可能になったりするなど、新たな展開も生まれた。

これらをまとめると、「地域振興」の面では、多くの皆さんが地域のために、来場者の ‘‘おもてなし’’ のためにと、自主的に取り組む機運が高まるなど、市民の意識の変化がみられた。また、会場やその周辺のいたるところで、様々なところから訪れたたくさんの来場者と地域住民が笑顔で交流する場も生まれ、賑わいの創出にもつながった。

「産業振興」の面では、市原商工会議所や市原市観光協会等との連携により、土産品などの物産販売が強化できたことに加え、芸術祭終了後も市原へ足を運んでいただきたいという思いのもと、市原の様々な魅力を多くの皆さんへ発信することができた。また、関係者等との連携強化による相互誘客に取り組んだことで、芸術祭の会場だけでなく、来場者が周辺店舗等へも足を運ぶなど、広いエリアで消費の拡大につながっていった。

一方で、事業を円滑に運営していくために検討すべきことも、いくつか見えてきた。

芸術祭の会場では、その多くが閉校等を活用しているため、現状では車イスやベビーカー等を利用する来場者への対応が整っていない。高齢者や障がい者等が安心して来場ができるよう、バリアフリー化への対応を考えなければならない。

併せて、老朽化した施設の維持管理費や大規模な修繕・改修（耐震・設備更新等）の費用負担も今後大幅に増加することが予想され、それらの費用捻出を含めた検討が必要である。

そして、今回、市内小学生には、校外学習にて多く来場いただき、平日の来場者増につながったが、閉校等を活用した作品展示会場では、団体客と個人客との行き違いができないなどの混雑が見られたことから、鑑賞導線や施設の許容人員も含め、混雑時の運営方法について検討していかなければならない。

また、作品制作等に携わった作家や関係者、サポーター等の宿泊施設については、地域の協力者の力により調整できたが、将来的に作品数を増やし、滞在作家が増加するようであれば、制作環境の向上や市外ボランティア活動の向上を図るための宿泊施設整備が必要となる。

その際、作家の作品制作活動は深夜になることも多く、作家の都合により宿泊予定が急に変更となるケースもあり、受入れる宿泊施設はそれらの状況を臨機に受容できる施設でなければならないうえ、宿泊者が必ずしも自家用車を利用するものとは限らないため、施設の立地性、管理･運営面も十分考慮した宿泊場所の確保が望まれる。

このほか、交通や駐車場など、観光インフラの面で、様々な問題が生じた。

今回は、駐車場を無料とし、車での来場者が増加したが、一時的な入場待ちが発生したほか、校庭等を利用した土の駐車場では、降雨等の影響で車がスタックし、駐車場としての機能をなさなかったことも、何度か見られた。さらに、作品展示会場の多くは、丘陵地に点在するため、地形的・物理的に会場周辺に駐車スペースを確保するには限りがあるため、利便性が高く、雨天時にも一定の駐車台数が見込める駐車場の確保が必要とされる。

併せて、旧月出小学校やアートハウスあそうばらの谷へ向かうには、狭あいな道路や十分な高さが確保されていないトンネルも存在し、大型ツアーバスでの直接乗り入れが不可能な道路状況であることや、歩道の無い道路も数多く存在することから、観光施策として長期的な視点で取り組んでいくためには、道路改良等も必要となる。

さらには、遠方から来場する方が、列車を利用して五井駅から会場へ向かった場合、上総牛久駅から養老渓谷駅へ向かう便数が限られるため、上総牛久・内田エリアで足止めになってしまったことから、牛久以南へのアクセス機能の補完も検討しなければならない。

結びに、日本全国で多くの芸術祭が展開されている昨今、今回の芸術祭によって、行政と地域・関係団体等の距離がより近くなり、それぞれが主体的に芸術祭と関わる取り組みに広がりを見せたこと、「おらがまちの芸術祭」として芽吹いてきたことは、「いちはらアート×ミックス２０１７」の大きな特色であったと考える。

ICHIHARA ART×MIX 2017

参考資料
（アンケート）

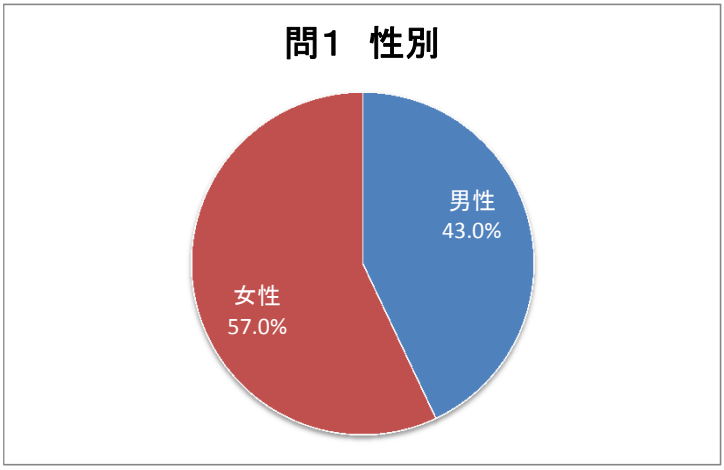
（１）会期中来場者アンケート

●アンケート回収数　2,469枚　　（設問毎に未回答があったため、票数の違いあり）

問1　性別

回答	票数	%
男性	1,050	43.0%
女性	1,393	57.0%
合計	2,443	100.0%

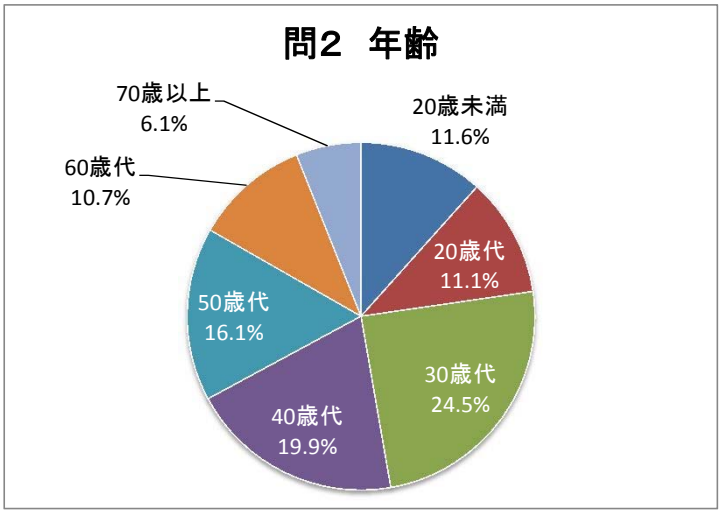
・約6割が女性だった。



問2　年齢

回答	票数	%
20歳未満	286	11.6%
20歳代	273	11.1%
30歳代	604	24.5%
40歳代	489	19.9%
50歳代	397	16.1%
60歳代	263	10.7%
70歳以上	149	6.1%
合計	2,461	100.0%

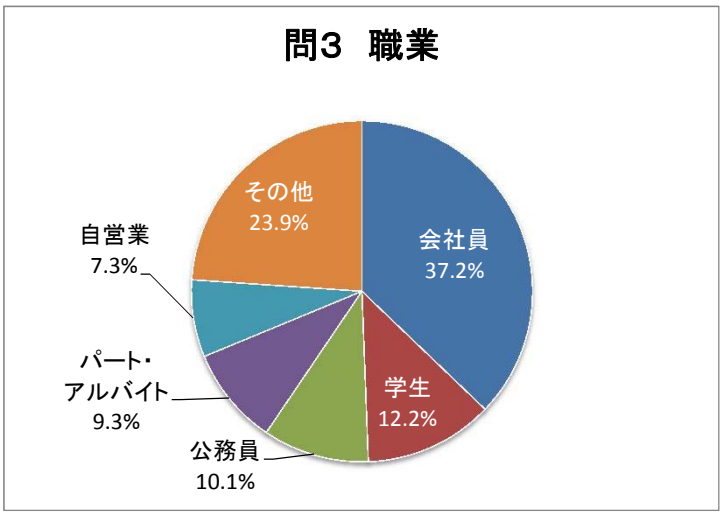
・30歳代が最も多く、40歳代がその次に多い。



問3　職業

回答	票数	%
会社員	904	37.2%
学生	298	12.2%
公務員	245	10.1%
パート･アルバイト	226	9.3%
自営業	178	7.3%
その他	582	23.9%
合計	2,433	100.0%

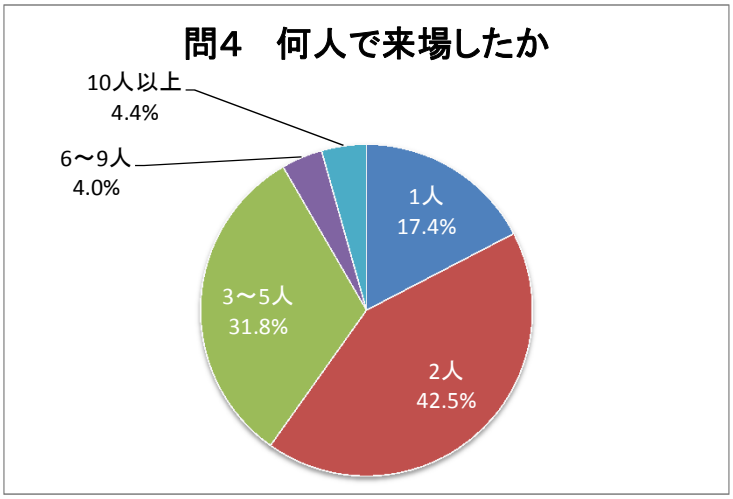
・会社員が最も多かった。



問4　何人で来場したか

回答	票数	%
1人	420	17.4%
2人	1,027	42.5%
3～5人	769	31.8%
6～9人	97	4.0%
10人以上	106	4.4%
合計	2,419	100.0%

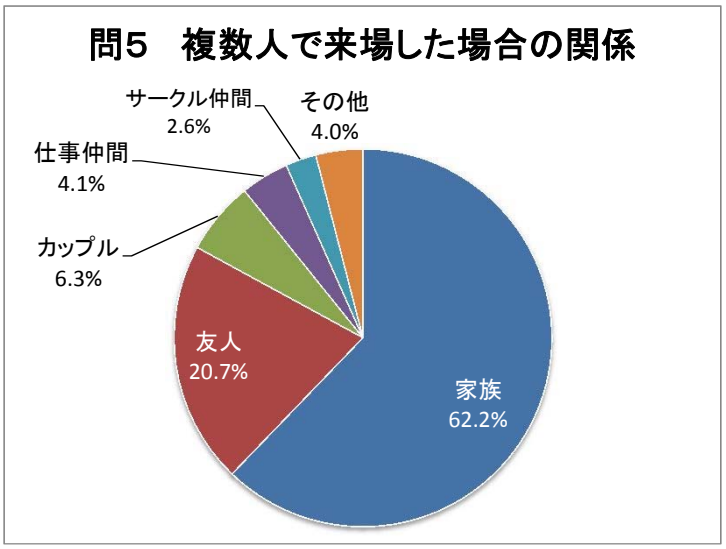
・2人組が4割以上を占めた。



問5　複数人で来場した場合の関係

回答	票数	%
家族	1,250	62.2%
友人	417	20.7%
カップル	126	6.3%
仕事仲間	83	4.1%
サークル仲間	53	2.6%
その他	81	4.0%
合計	2,010	100.0%

・家族や友人同士での来場が多かった。

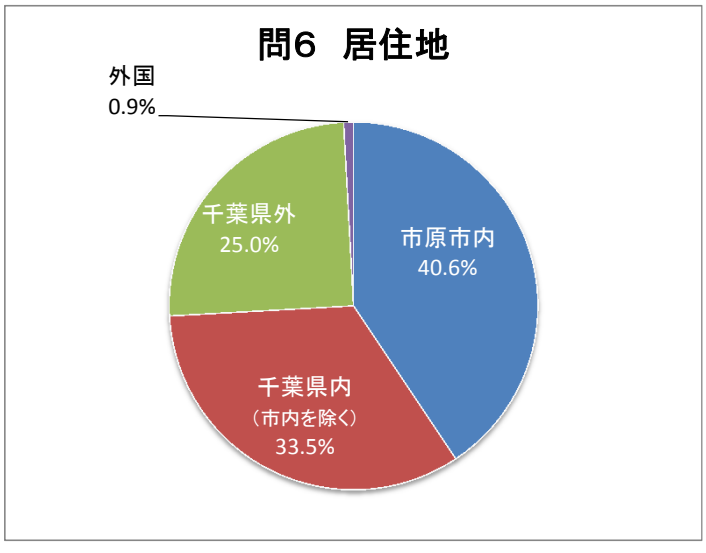


問6　居住地

回答	票数	%
市原市内	994	40.6%
千葉県内（市内を除く）	819	33.5%
千葉県外	612	25.0%
外国	21	0.9%
合計	2,446	100.0%

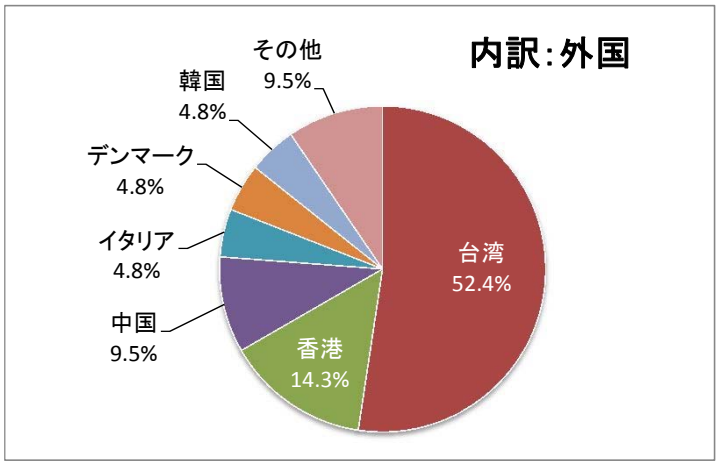
・市内と市外では、市外の来場者が多かった。

・4区分別では、市原市内の来場者が最も多かった。



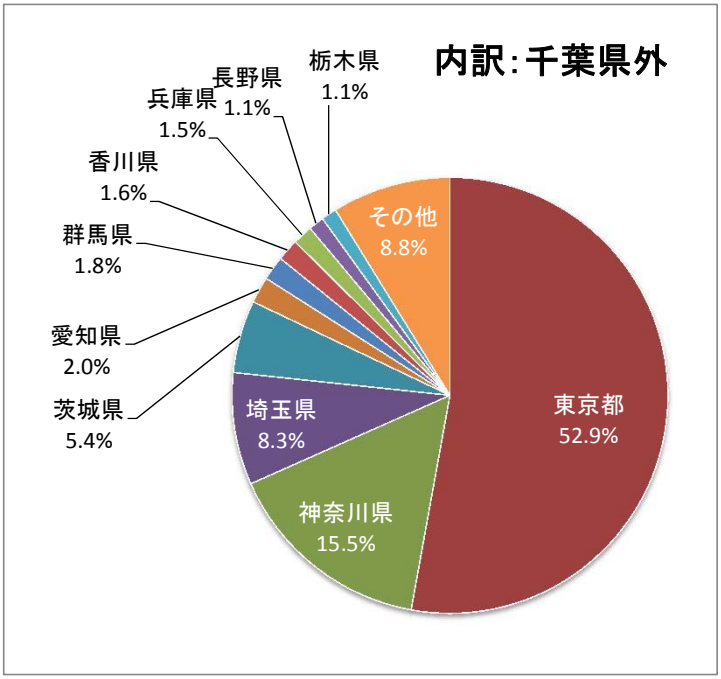
居住地　内訳

外国		
台湾	11	52.4%
香港	3	14.3%
中国	2	9.5%
イタリア	1	4.8%
デンマーク	1	4.8%
韓国	1	4.8%
その他（不明）	2	9.5%
合計	21	100.0%



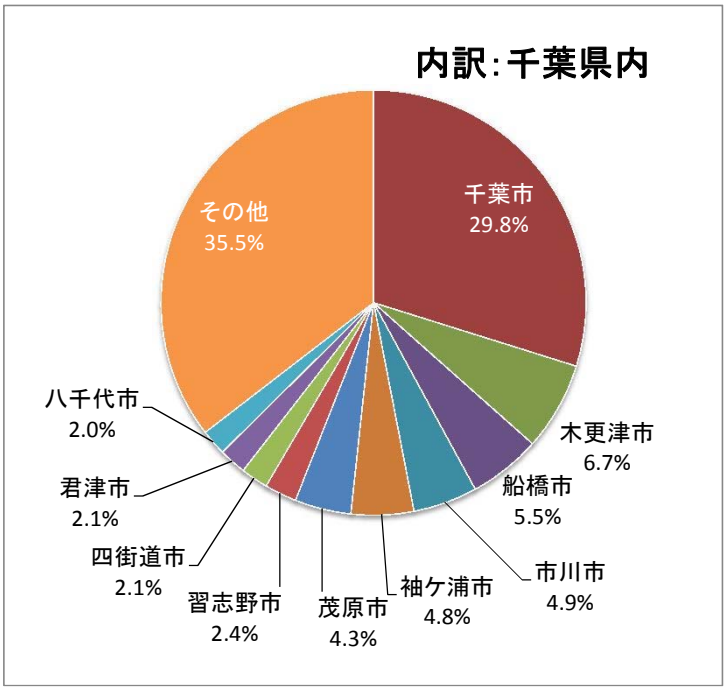
千葉県外		
東京都	324	52.9%
神奈川県	95	15.5%
埼玉県	51	8.3%
茨城県	33	5.4%
愛知県	12	2.0%
群馬県	11	1.8%
香川県	10	1.6%
兵庫県	9	1.5%
長野県	7	1.1%
栃木県	7	1.1%
その他	54	8.8%
合計	613	100.0%

その他 内訳　※多い順
（福島県、静岡県、大阪府、北海道、山梨県、三重県、沖縄県、愛媛県、大分県、青森県、宮城県、福岡県、奈良県）



千葉県内		
千葉市	244	29.8%
木更津市	55	6.7%
船橋市	45	5.5%
市川市	40	4.9%
袖ケ浦市	39	4.8%
茂原市	35	4.3%
習志野市	20	2.4%
四街道市	17	2.1%
君津市	17	2.1%
八千代市	16	2.0%
その他	290	35.5%
合計	818	100%

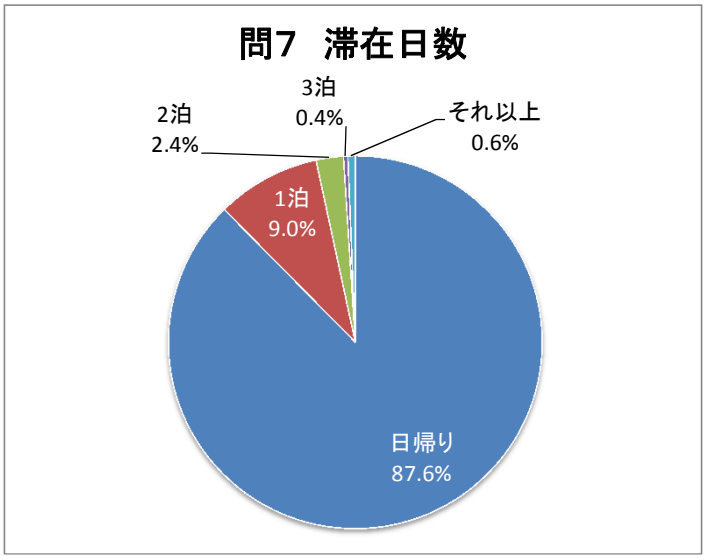
その他 内訳　※多い順
（松戸市、鴨川市、いすみ市、浦安市、柏市、佐倉市、成田市、大多喜町、山武市、一宮町、富津市、白子町、大網白里市、長生村、香取市、長柄町、東金市、印西市、富里市、銚子市、南房総市、館山市、我孫子市、八街市、野田市、勝浦市、多古町、御宿町、鋸南町、睦沢町、白井市、酒々井町、栄町、旭市、鎌ヶ谷市、匝瑳市、流山市）



問7　滞在日数

回答	票数	%
日帰り	2,074	87.6%
1泊	213	9.0%
2泊	56	2.4%
3泊	9	0.4%
それ以上	15	0.6%
合計	2,367	100.0%

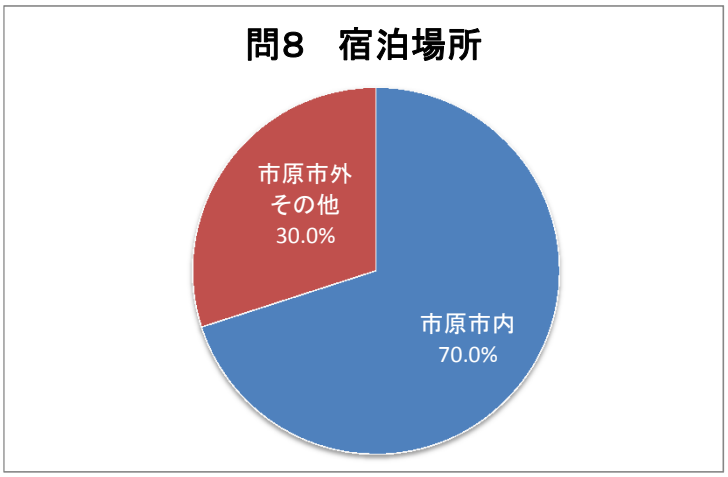
・日帰りの来場者が約9割を占めた。



問8　宿泊場所

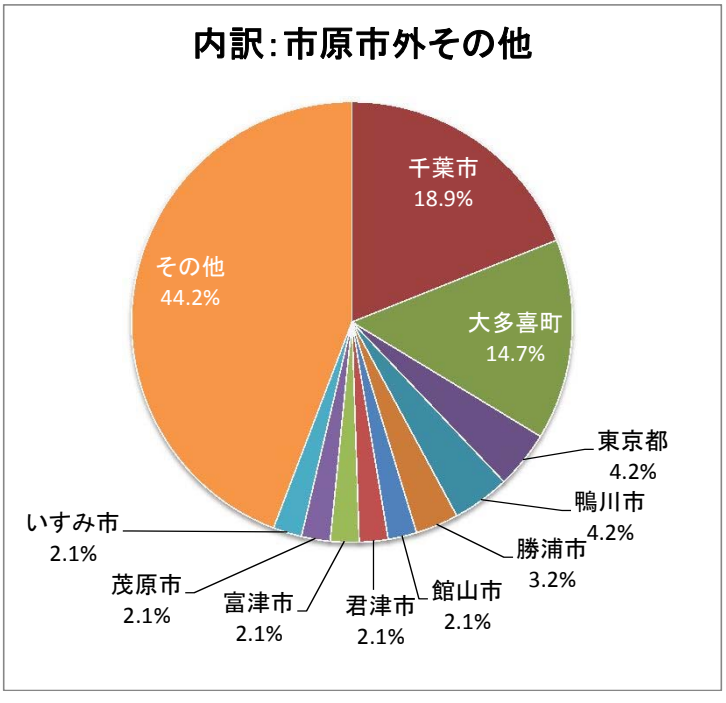
回答	票数	%
市原市内	222	70.0%
市原市外その他	95	30.0%
合計	317	100.0%

・市内に宿泊する来場者が多かった。



宿泊場所　内訳

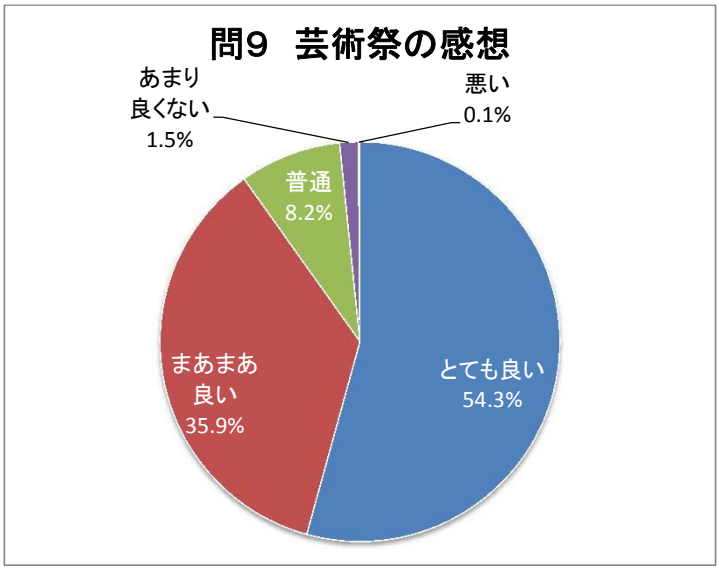
市原市外その他		
千葉市	18	18.9%
大多喜町	14	14.7%
東京都	4	4.2%
鴨川市	4	4.2%
勝浦市	3	3.2%
館山市	2	2.1%
君津市	2	2.1%
富津市	2	2.1%
茂原市	2	2.1%
いすみ市	2	2.1%
その他	42	44.2%
合計	95	100.0%



問9　芸術祭の感想

回答	票数	%
とても良い	1,328	54.3%
まあまあ良い	877	35.9%
普通	201	8.2%
あまり良くない	37	1.5%
悪い	3	0.1%
合計	2,446	100.0%

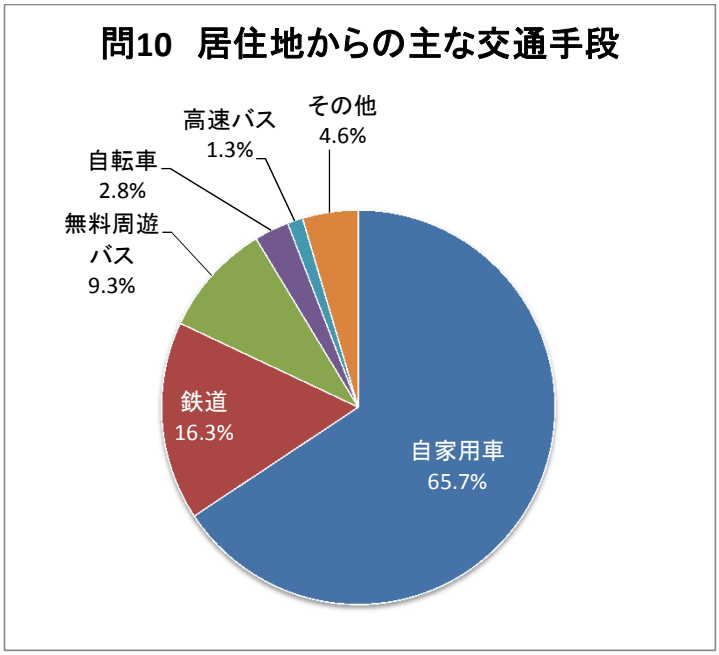
・とても良い、まあまあ良いを合わせて、約9割の来場者が良いと評価している。



問10　主な交通手段（複数回答）

回答	票数	%
自家用車	1,821	65.7%
鉄道	452	16.3%
無料周遊バス	258	9.3%
自転車	79	2.8%
高速バス	35	1.3%
その他	127	4.6%
合計	2,772	100.0%

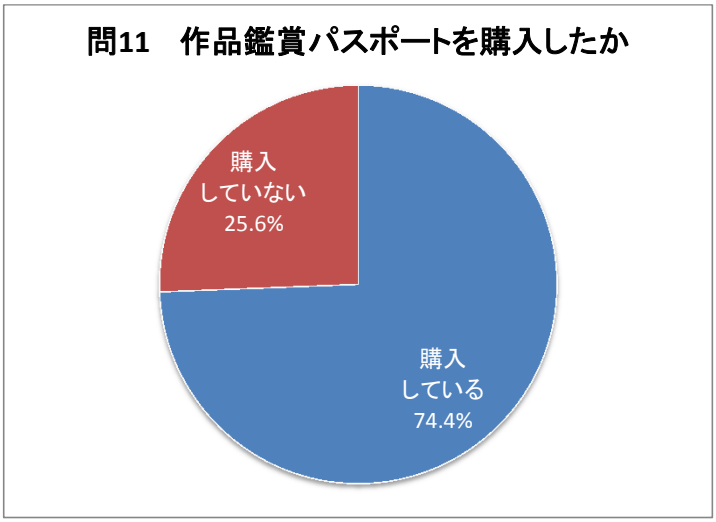
・交通手段は、自家用車が最も多かった。



問11　作品鑑賞パスポートを購入したか

回答	票数	%
購入している	1,816	74.4%
購入していない	625	25.6%
合計	2,441	100.0%

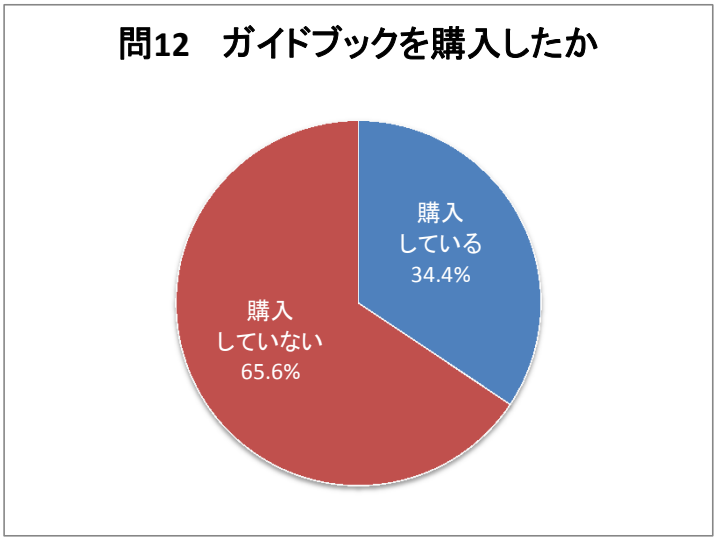
・パスポート購入者は4分の3を占めた。



問12　ガイドブックを購入したか

回答	票数	%
購入している	835	34.4%
購入していない	1,594	65.6%
合計	2,429	100.0%

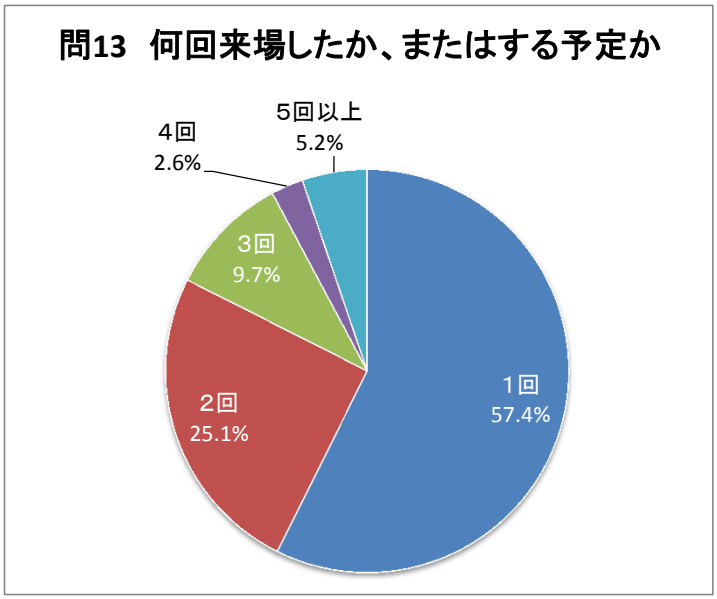
・ガイドブック購入者は約3割半程度だった。



問13　何回来場したか、またはする予定か

回答	票数	%
1回	1,396	57.4%
2回	611	25.1%
3回	237	9.7%
4回	63	2.6%
5回以上	127	5.2%
合計	2,434	100.0%

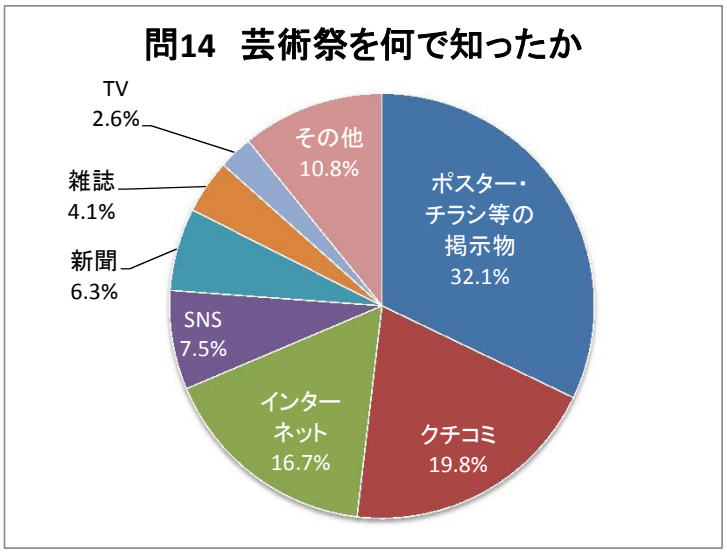
・来場回数1回の来場者が多くを占めた。
・2回以上のリピーターは、約4割以上だった。



問14　芸術祭を何で知ったか（複数回答）

回答	票数	%
ポスター・チラシ等の掲示物	1,001	32.1%
クチコミ	616	19.8%
インターネット	522	16.7%
SNS（フェイスブック等）	235	7.5%
新聞	196	6.3%
雑誌	128	4.1%
TV	81	2.6%
その他	338	10.8%
合計	3,117	100.0%

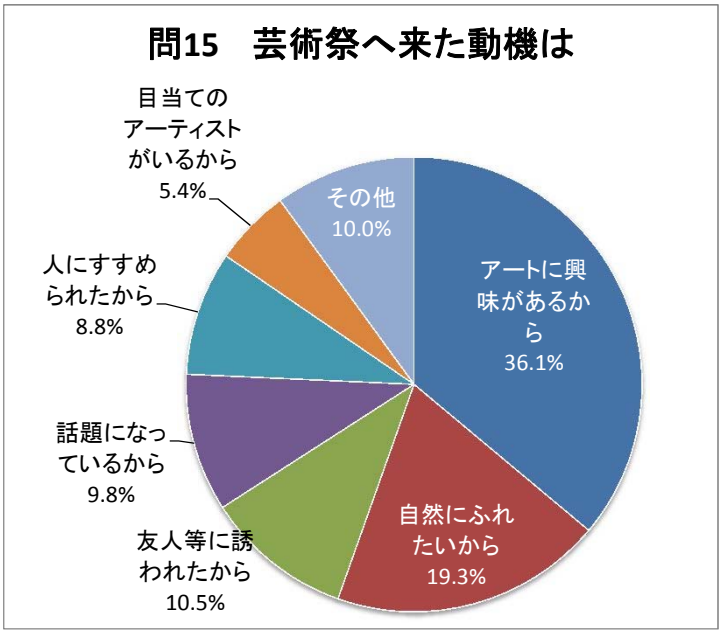
・ポスター等掲示物で芸術祭を知った割合が最も多かった。



問15　芸術祭へ来た動機は（複数回答）

回答	票数	%
アートに興味があるから	1,306	36.1%
自然にふれたいから	699	19.3%
友人等に誘われたから	379	10.5%
話題になっているから	355	9.8%
人にすすめられたから	320	8.8%
目当てのアーティストがいるから	197	5.4%
その他	362	10.0%
合計	3,618	100.0%

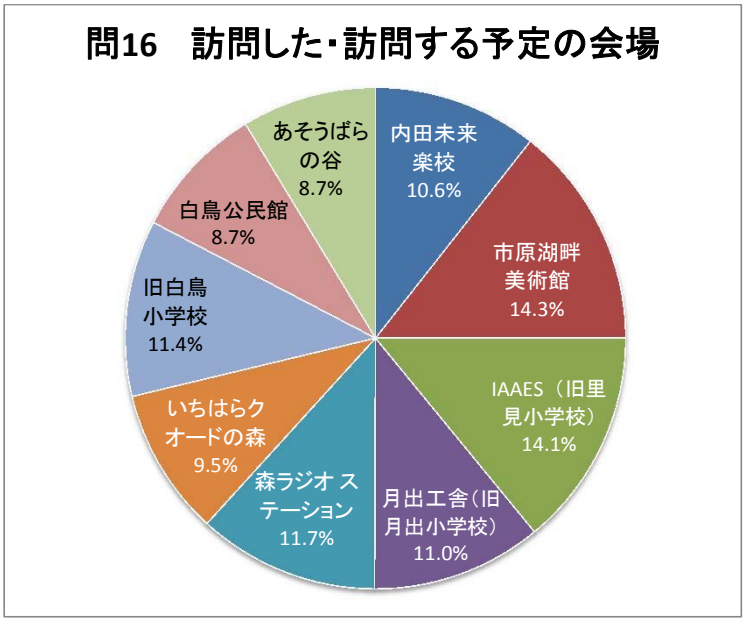
・アートに興味がある来場者が約3割以上を占めた。



問16　訪問した・訪問する予定の会場を教えてください（複数回答）

回答	票数	%
内田未来楽校	1,215	10.6%
市原湖畔美術館	1,640	14.3%
IAAES（旧里見小学校）	1,611	14.1%
月出工舎（旧月出小学校）	1,259	11.0%
森ラジオ ステーション	1,338	11.7%
いちはらクオードの森	1,087	9.5%
旧白鳥小学校	1,300	11.4%
白鳥公民館	992	8.7%
あそうばらの谷	995	8.7%
合計	11,437	100.0%

・市原湖畔美術館とIAAES（旧里見小学校）が多かった。



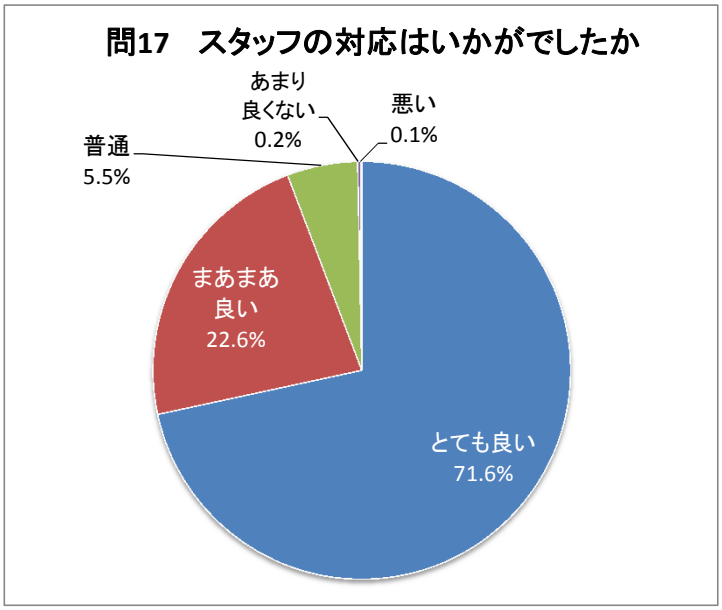
印象に残った作品と、印象に残った理由を教えてください。

主な作品名	作家名	理由
森ラジオ ステーション×森遊会	木村崇人	3年前から人々に愛されて、育ってきているのがわかって素敵だなと思いました。
		実際の森と繋がった音が聞けて感動した。建物も自然に溶け込んでいい雰囲気
		駅のホームと花のコラボレーションがのどかでずっといたい雰囲気の場所
蝶々と内田のものがたり	キジマ真紀	一人一人の素晴らしい作品に心がこもっているように感じた今にも飛び立つようです。
		カラフルでキレイな刺繍など見ていてワクワクした！とてもステキで感動しました。
		居室の中に舞う蝶々が色とりどりの花畑のよう、風にそよぐともっと面白いかも
道路	鈴木ヒラク	古民家内は照明が最小限で、反射板などの光を活かした作品が印象的。
		フラッシュをたいたら全く違う作品になって、すごくビックリ
		古民家に他の世界へつながる道穴（トンネル）のようで印象的でした。
小湊鐵道100歳企画 里山写真展	中井精也	小湊鐵道の風を切る写真に新鮮味を感じた。小湊鐵道再発見です。
		身近にあるあたり前の風景が見方によってとてもステキに写っていた。
		中井精也さんの写真は本当に心が洗われるようです。
Dirt Restaurant ―土のレストラン―	世界土協会	土をダイレクトに「味わう」ことが非常に新鮮でした。発想がユニーク。
		においまでアートになるのだという感覚は印象に残った。
		土ソムリエ、まさかソムリエがいるとは思わなかった。

問17　芸術祭スタッフの対応はいかがでしたか

回答	票数	%
とても良い	1,584	71.6%
まあまあ良い	500	22.6%
普通	121	5.5%
あまり良くない	5	0.2%
悪い	2	0.1%
合計	2,212	100.0%

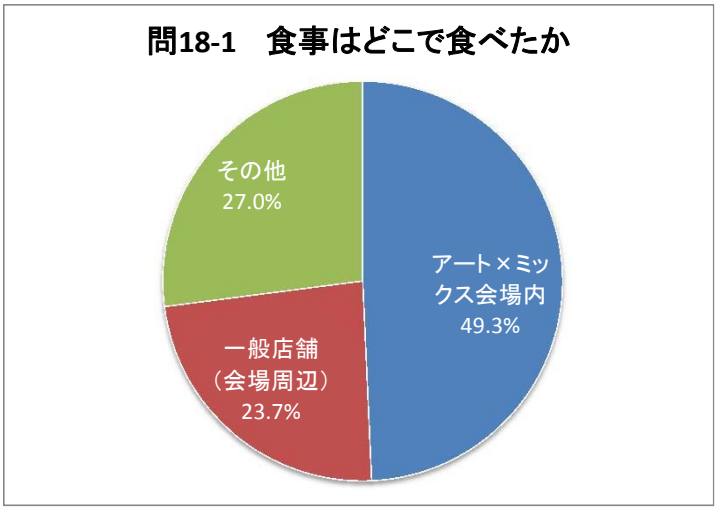
・とても良い、まあまあ良いを合わせて、9割以上の来場者が良いと評価している。



問18-1　食事はどこで食べたか

回答	票数	%
アート×ミックス会場内	902	49.3%
一般店舗（会場周辺）	433	23.7%
その他	495	27.0%
合計	1,830	100.0%

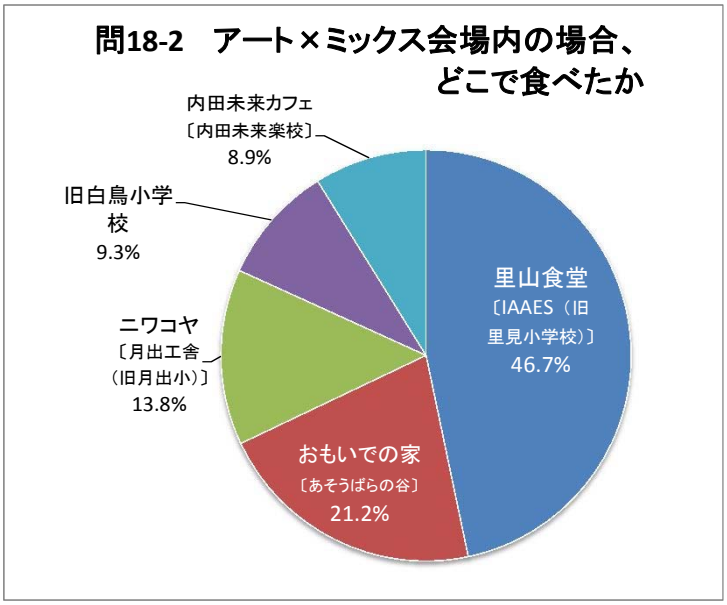
・食事をした来場者のうち、約5割が会場内で食べている。



問18-2　アート×ミックス会場内の場合、どこで食べたか

回答	票数	%
里山食堂〔IAAES（旧里見小学校）〕	510	46.7%
おもいでの家〔あそうばらの谷〕	232	21.2%
ニワコヤ〔月出工舎（旧月出小）〕	151	13.8%
旧白鳥小学校	102	9.3%
内田未来カフェ〔内田未来楽校〕	97	8.9%
合計	1,092	100.0%

・会場で食事をした来場者のうち、里山食堂〔IAAES（旧里見小学校）〕の利用が最も多かった。



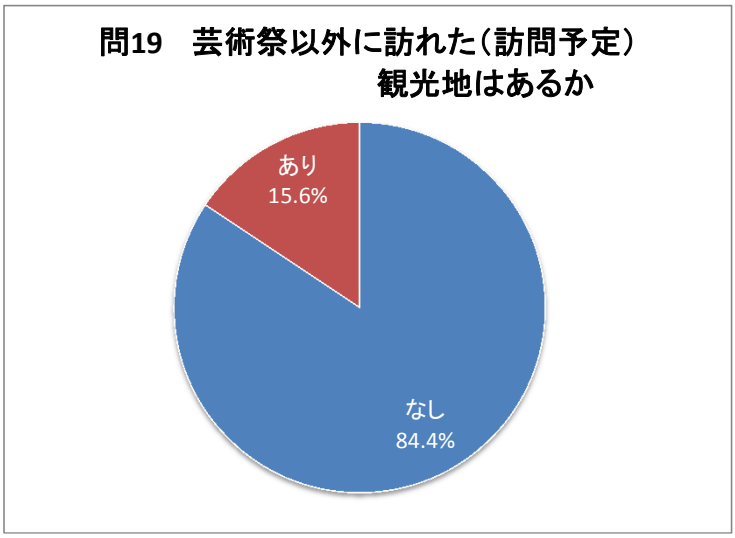
問19　芸術祭以外に訪れた（訪問予定）観光地はあるか

回答	票数	%
なし	1,617	84.4%
あり	300	15.6%
合計	1,917	100.0%

ありの場合の訪問先

養老渓谷（26人）、小湊鐵道（16人）、市原ぞうの国・サユリワールド（12人）、濃溝の滝（9人）、粟又の滝（7人）、石神菜の花畑（5人）、東京都（5人）、いすみ鉄道（5人）、高滝湖（4人）、宝林寺（4人）、マザー牧場（3人）、高滝神社（3人）、その他

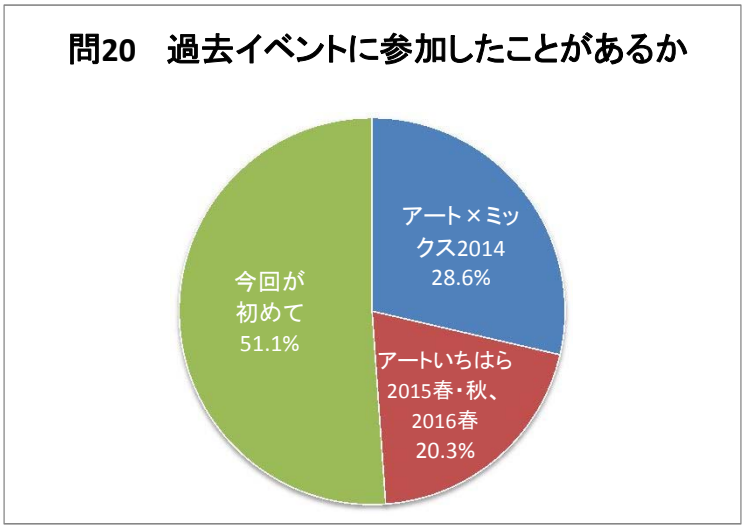
・芸術祭だけを目当てに訪れる方が8割を超えていた。



問20　過去のイベントに参加したことがあるか

回答	票数	%
アート×ミックス2014	698	28.6%
アートいちはら2015春・秋、2016春	494	20.3%
今回が初めて	1,247	51.1%
合計	2,439	100.0%

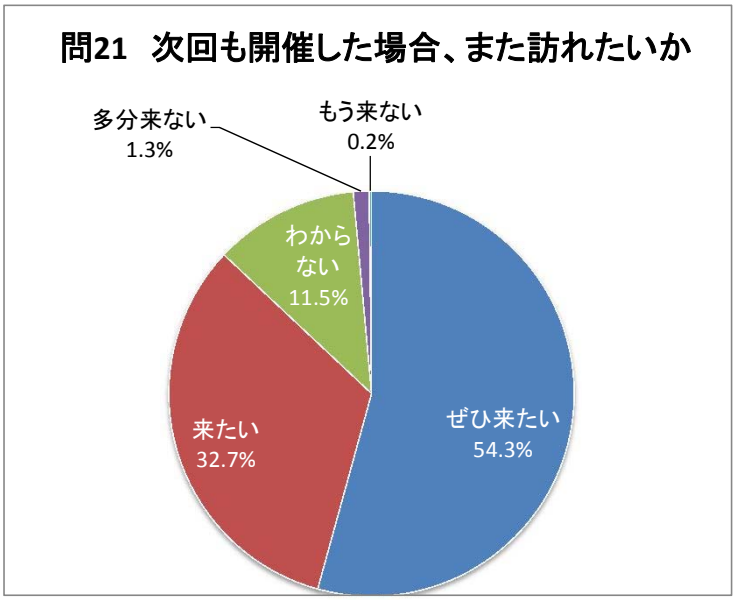
・初来場が半数以上だった。



問21　次回も開催した場合、また訪れたいか

回答	票数	%
ぜひ来たい	1,166	54.3%
来たい	703	32.7%
わからない	248	11.5%
多分来ない	27	1.3%
もう来ない	4	0.2%
合計	2,148	100.0%

・ぜひ来たい、来たいを合わせて8割以上が、次回も来場したいと回答している。



問22　その他感想・意見

＜良かった点＞

・土地の魅力とアートの魅力が相まって萌える季節の美しさを引き立てていました。春の素敵な思い出ができました。

・廃校になった学校をこのような形で利用するアイデアがとてもすてきだと思いました。また来たいです。

・市原は初めてきました。里山アートを知らず環境のよさにびっくり。あまり大きな作品がないのがよかった。各部屋素朴でよかったです。

・自分が今回ちょうちょを作成しましたが作品作りに参加するとアート×ミックスももっといろいろな人に紹介したくなりました。ぜひ来年も参加型のイベントをやってほしいです。

・アーティストだけのイベント・展示だけではなく地元の方が共に参画していることがとても良い

・孫の作品の展示がありましたので、楽しんで他の作品も観れました。

・3年前より作品が地元（地域）ととけこんでいて無理していない感じがよかった。ぜひトリエンナーレとして続けていって市原はアートの町でもあるということを他県、他市の人たちにも知らせたいとてもよい企画だと思う。

・森ラジオがステキでした。森遊会のスタッフの方に遠方から来てくれたとやきいもをいただき、とても感動しました。やさしさに触れました。

・作品も素敵でしたが、ここに関わる人々（たぶん地元の方？）がとても好感が持てて、地域ぐるみでプロジェクトを成功させようという気持ちが伝わり、とても良かったです。

・内田未来楽校の休憩所に居合わせた地元の方からたけのこの煮物をふるまっていただいた。またスタッフの女性からたけのこごはんのおにぎりをいただきどちらもこの春初たけのこ、おいしくいただきました。ありがとうございました。

・ところどころの会場にカフェやご飯を食べれるところがあり、バスや電車の待ち時間に利用しやすかったです。

・前回より改善された所があってよかったと思います。駐車場が無料で助かります。色々な場所へ移動がしやすくなりました。

・桜・菜の花、小湊鉄道最高！

・前回来た時同様、地域の方々と話したり、話しかけられるのが面白い。温かい気持ちになります

・道路の表示がわかりやすくなってきました。今後もよろしくお願いします。

・七宝やきやおにぎりのための運動会やモザイクアート、いろいろな体験ができてよかったです。

・前回、想像以上に楽しかったので今回も訪れました。アートに触れる事で、非日常を体感でき、心身共に癒されました。小中学生の作品も温かみがあって良かったです。次回も是非開催して頂きたいです。

・列車に乗っていたとき、住民の方々が皆手を振ってくれたことに感動しました。なんて良い地域なのだろうなと思いました。

＜悪かった点＞

・前回の作品がとてもよかったので来場しましたが、規模が縮小されているようで残念です。人は前回よりも多く来ているように思いますが・・・。次回やるなら前回くらいの作品を希望です。

・主目的としては、アート作品を見に来ることであったが、この点において自分の理解力不足から、あまり印象に残った作品が無かったことが、芸術祭としては満足ではなかった。他方、地域活性化活動と、その地域の方の取り組み姿勢としては大変満足。

・とにかくチラシがたくさんありすぎてどこで何をやっているのかわかりずらい。場所も地図上でもわかりづらーい素敵なイベントなのにもったいなーい。カフェがもっとあればいい、まとまっているといいなー。どこでごはんたべたらいいのか、お茶ができるのか

・パンフレット、ホームページ等が不親切。

・失礼な話、もっと宣伝したらもっと来る人が多くなると思います。

・再入場費がかかる所が多いのでパスポートがあれば再入場も無料だとうれしいです。

・南市原だけの規模では経済効果は望めないと思う。北地区や市外（久留里、大多喜など）も含め、広域で開催して欲しい。3年後はオリンピック年でもあるので、次回も期待したい。

・「イチマル」他、車イスや杖使用者にとって、とてもバリアで見学がむずかしい展示があったのが、残念です。障がいのある見学者にもっとやさしい展示方法を考えるべきだと思います。

・食をテーマにしたところを増やしてください。

・期間が短いので、次回は長期間だと良いと思います。（仕事の都合で来られる日が限られてしまうので）

・グッズとおみやげをもっと充実させてほしいです

・有名な作家さんの作品が見たい。もっとお金をかけれないのか。

・3回目は何か目新しさがないと来ないかもしれません。

・公式HPに各イベントがどこでやっているか地図があるといいと思います。ルートを（計画を）決めるのに苦労しました。

・道路に立てられている看板に描かれている矢印が少し小さいと思います。

・バスがもう少し多いと助かります。

・交通アクセスに問題あり。鉄道のほかに牛久ー里見間の移動手段がない。※牛久で1時間30分ひまつぶし

・公式ガイドブックにレンタルサイクルがあるときいていたので、それの移動での計画を立てていたのに朝一で里見駅に1台もレンタサイクルがないので、移動手段としてガイドブックに記入するのならきちんと用意してほしいです。

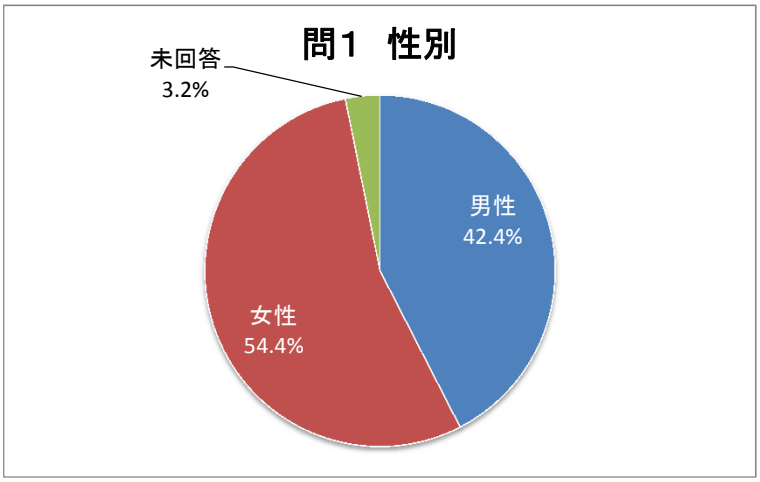
・平日に来たが、小学生の団体がうるさくてゆっくり鑑賞できなかった。いかがなものか。

（２）市民等へのアンケート（市内全域無作為抽出）

●配布数 1,300枚　回答数 377枚　回答率 29.0%

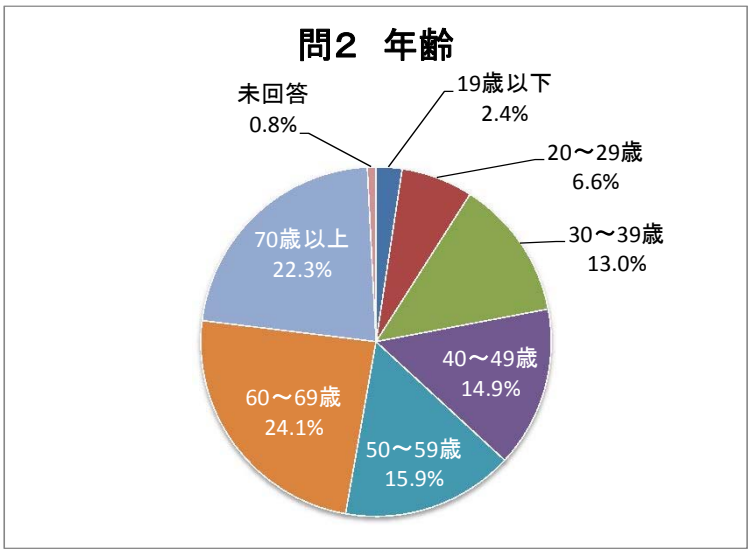
問1　性別

回答	票数	%
男性	160	42.4%
女性	205	54.4%
未回答	12	3.2%
合計	377	100.0%



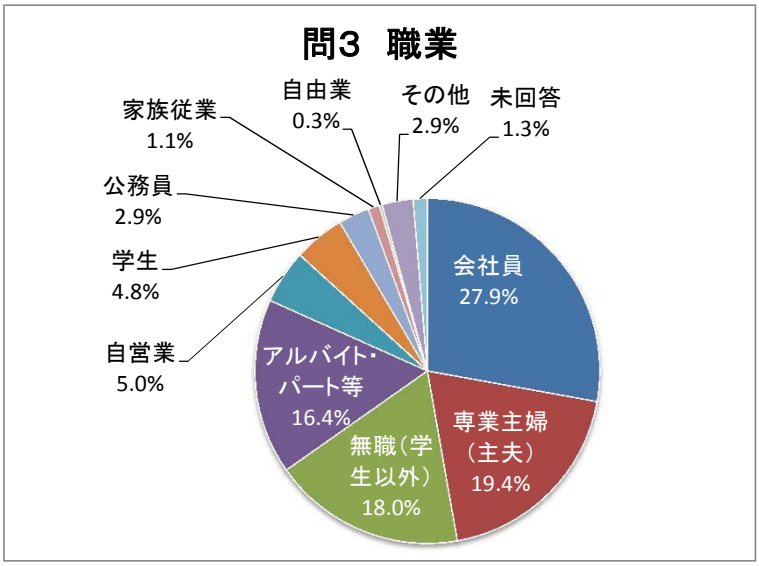
問2　年齢

回答	票数	%
19歳以下	9	2.4%
20～29歳	25	6.6%
30～39歳	49	13.0%
40～49歳	56	14.9%
50～59歳	60	15.9%
60～69歳	91	24.1%
70歳以上	84	22.3%
未回答	3	0.8%
合計	377	100.0%



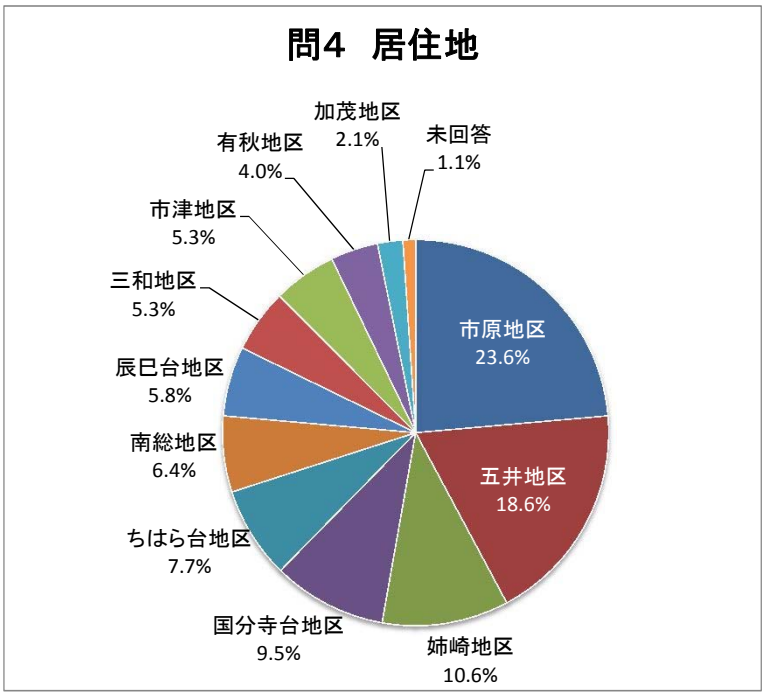
問3　職業

回答	票数	%
会社員	105	27.9%
専業主婦（主夫）	73	19.4%
無職（学生以外）	68	18.0%
アルバイト・パート等	62	16.4%
自営業	19	5.0%
学生	18	4.8%
公務員	11	2.9%
家族従業	4	1.1%
自由業	1	0.3%
その他の職業	11	2.9%
未回答	5	1.3%
合計	377	100.0%



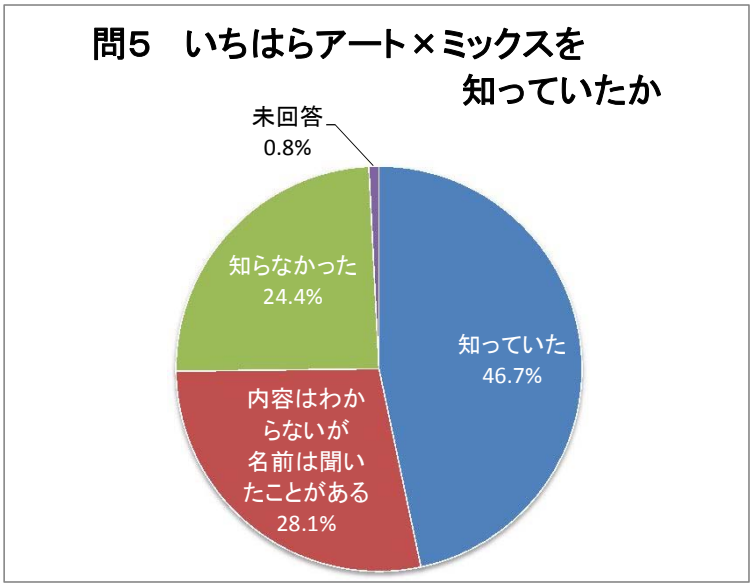
問4　居住地

回答	票数	%
市原地区	89	23.6%
五井地区	70	18.6%
姉崎地区	40	10.6%
国分寺台地区	36	9.5%
ちはら台地区	29	7.7%
南総地区	24	6.4%
辰巳台地区	22	5.8%
三和地区	20	5.3%
市津地区	20	5.3%
有秋地区	15	4.0%
加茂地区	8	2.1%
未回答	4	1.1%
合計	377	100.0%



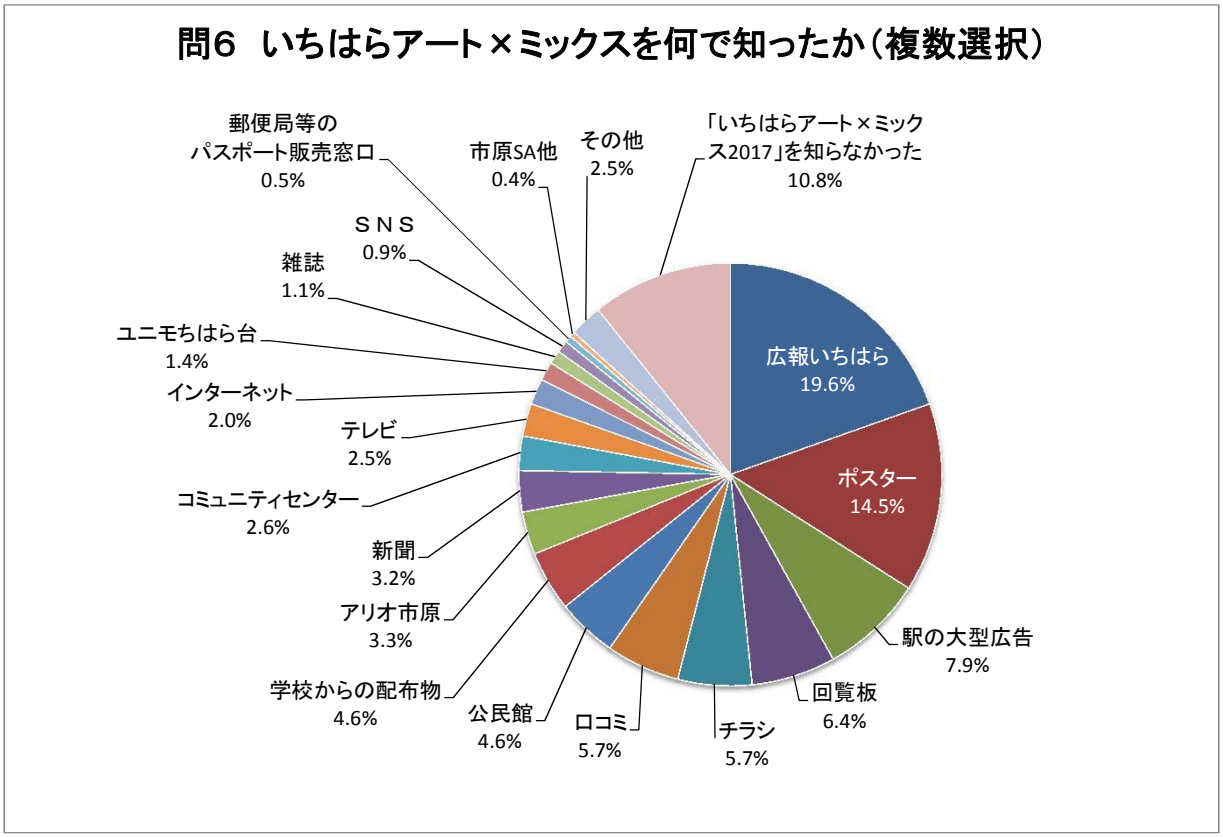
問5　いちはらアート×ミックスを知っていたか

回答	票数	%
知っていた	176	46.7%
内容はわからないが名前は聞いたことがある	106	28.1%
知らなかった	92	24.4%
未回答	3	0.8%
合計	377	100.0%



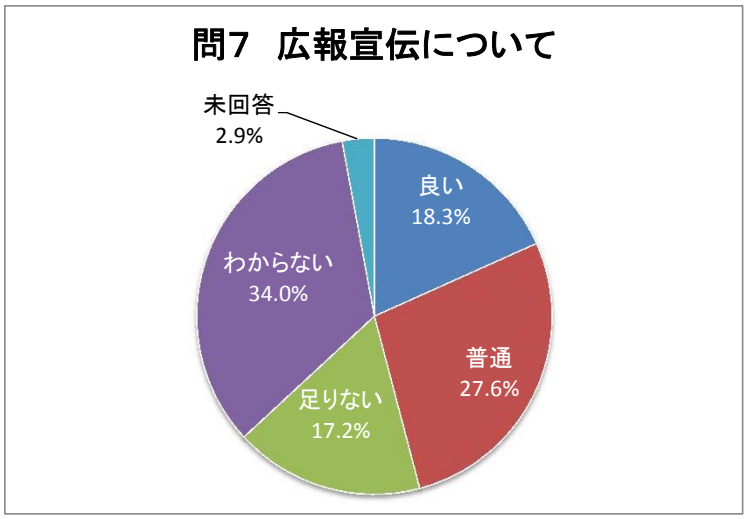
問6　いちはらアート×ミックスを何で知ったか（複数選択）

選択肢	数	%	全回答数（377）のうち、選択した人の割合
広報いちはら	149	19.6%	39.5%
ポスター	110	14.5%	29.2%
駅の大型広告	60	7.9%	15.9%
回覧板	49	6.4%	13.0%
チラシ	43	5.7%	11.4%
家族・友人・知人等の口コミ	43	5.7%	11.4%
公民館	35	4.6%	9.3%
学校からの配布物（こどもパスポート等）	35	4.6%	9.3%
アリオ市原	25	3.3%	6.6%
新聞	24	3.2%	6.4%
コミュニティセンター	20	2.6%	5.3%
テレビ	19	2.5%	5.0%
インターネット（公式WEBサイト等）	15	2.0%	4.0%
ユニモちはら台	11	1.4%	2.9%
雑誌	8	1.1%	2.1%
SNS（フェイスブックなど）	7	0.9%	1.9%
郵便局等のパスポート販売窓口	4	0.5%	1.1%
市原SAの広報ブースやハイウェイウォーカー	3	0.4%	0.8%
その他（小湊鉄道のラッピング列車　他）	19	2.5%	5.0%
「いちはらアート×ミックス2017」を知らなかった	82	10.8%	21.8%
総計	761	100.0%	



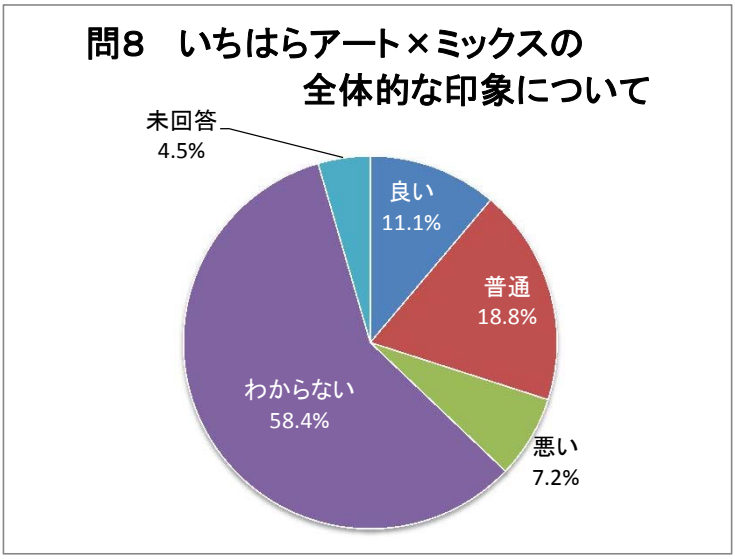
問7　広報宣伝について

回答	票数	%
良い	69	18.3%
普通	104	27.6%
足りない	65	17.2%
わからない	128	34.0%
未回答	11	2.9%
合計	377	100.0%



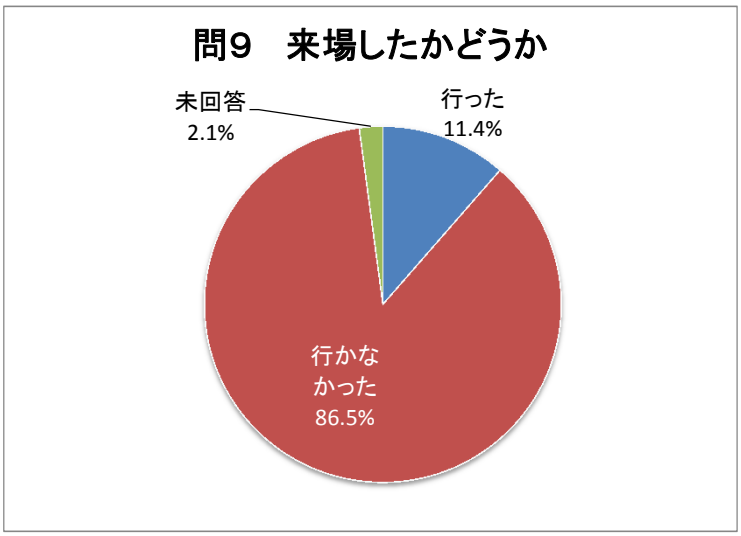
問8　いちはらアート×ミックスの全体的な印象について

回答	票数	%
良い	42	11.1%
普通	71	18.8%
悪い	27	7.2%
わからない	220	58.4%
未回答	17	4.5%
合計	377	100.0%



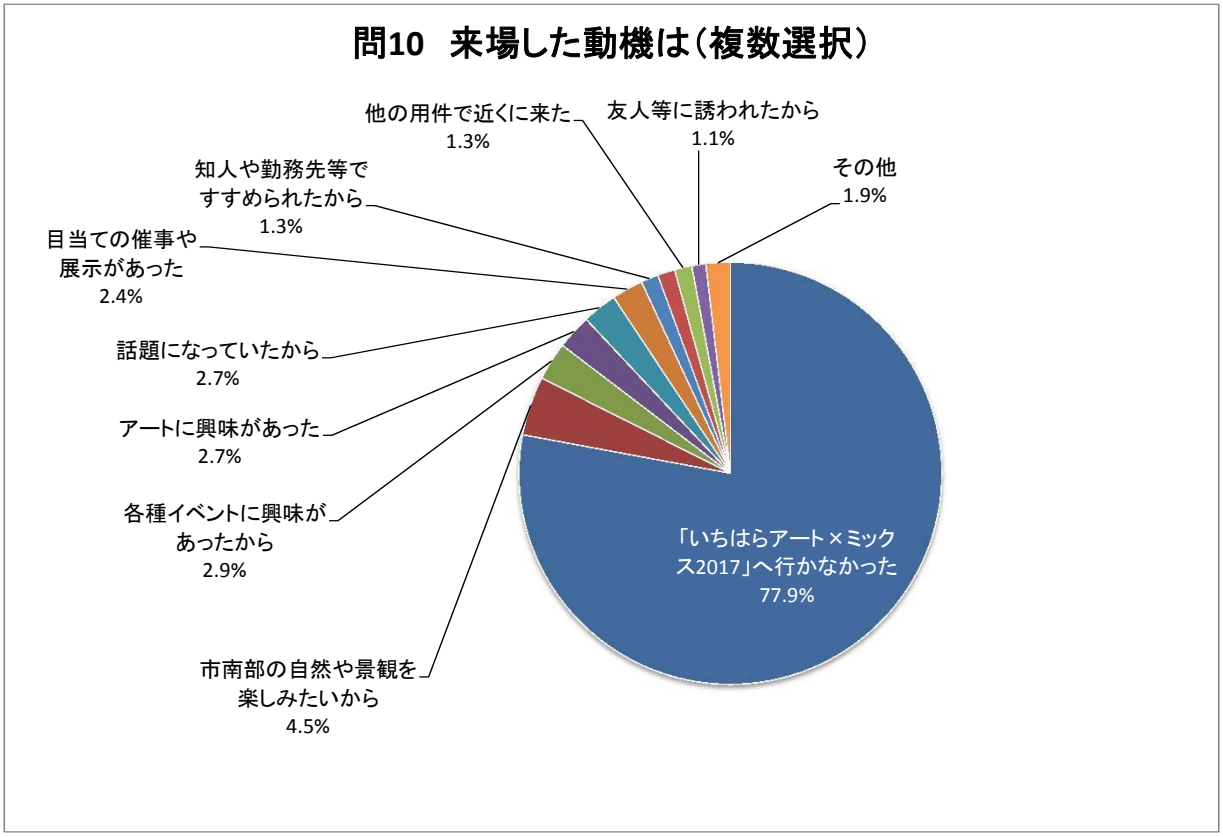
問9　来場したかどうか

回答	票数	%
行った	43	11.4%
行かなかった	326	86.5%
未回答	8	2.1%
合計	377	100.0%



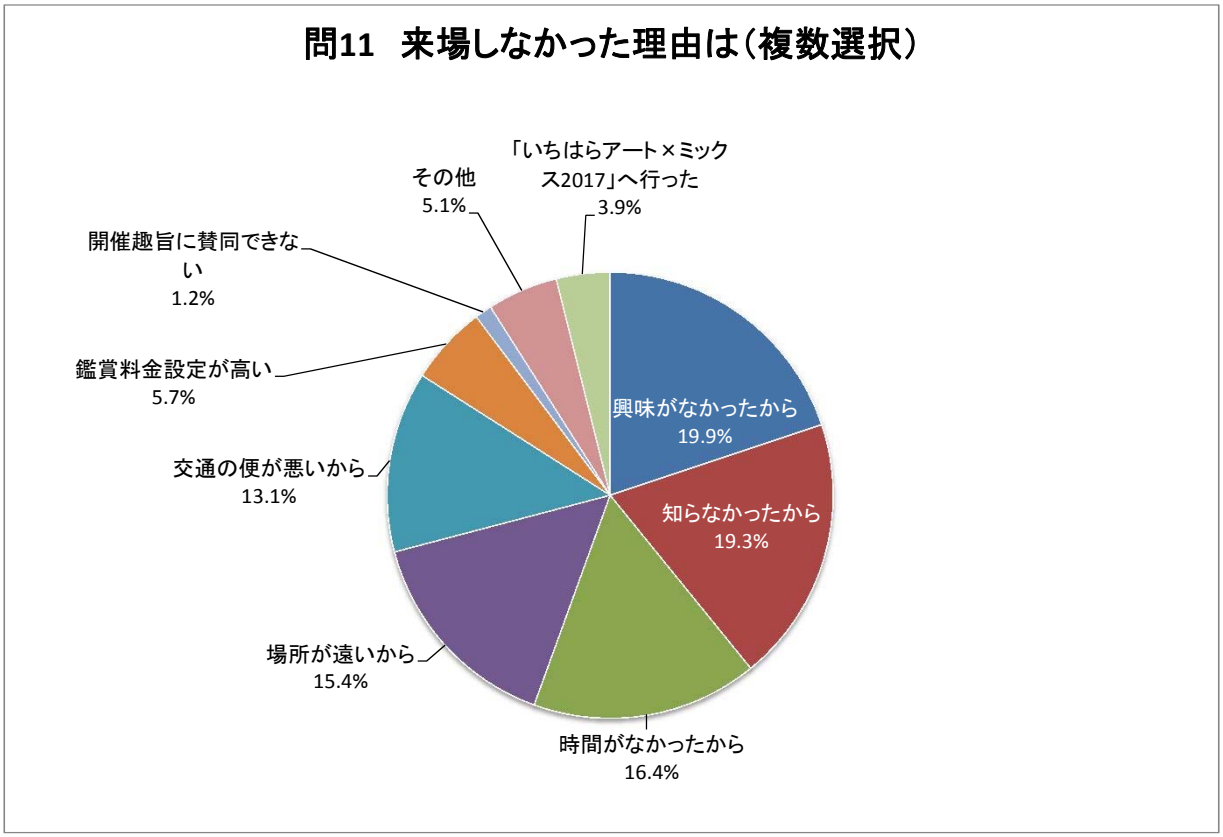
問10　来場した動機は（複数選択）

選択肢	数	%	全回答数（377）のうち、選択した人の割合
「いちはらアート×ミックス2017」へ行かなかった	293	77.9%	77.7%
市南部の自然や景観を楽しみたいから	17	4.5%	4.5%
各種イベントに興味があったから	11	2.9%	2.9%
アートに興味があったから	10	2.7%	2.7%
話題になっていたから	10	2.7%	2.7%
目当ての催事や展示があったから	9	2.4%	2.4%
知人や勤務先等ですすめられたから	5	1.3%	1.3%
子どもがパスポートを持ってきたから	5	1.3%	1.3%
他の用件で近くに来たから	5	1.3%	1.3%
友人等に誘われたから	4	1.1%	1.1%
様々な人々と交流できるから	0	0.0%	0.0%
その他（子供、孫の作品があったから　他）	7	1.9%	1.9%
総計	376	100.0%	



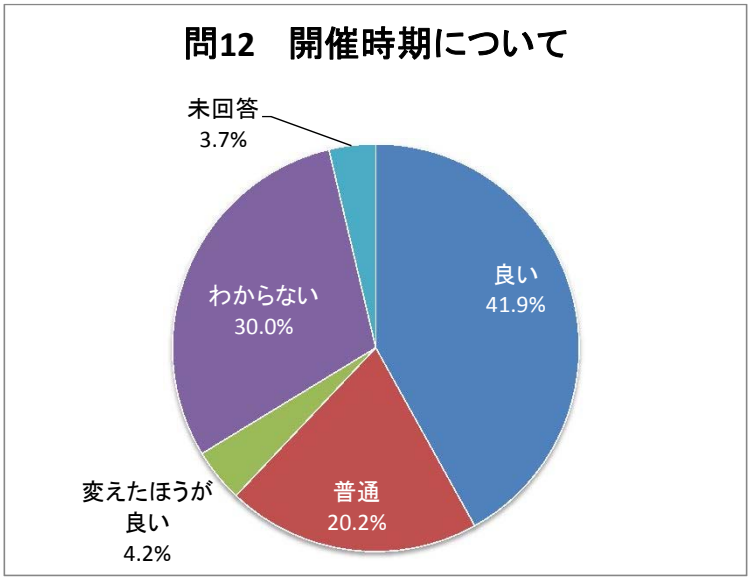
問11　来場しなかった理由は（複数選択）

選択肢	数	%	全回答数（377）のうち、選択した人の割合
興味がなかったから	97	19.9%	25.7%
知らなかったから	94	19.3%	24.9%
時間がなかったから	80	16.4%	21.2%
場所が遠いから	75	15.4%	19.9%
交通の便が悪いから	64	13.1%	17.0%
鑑賞料金設定が高いから	28	5.7%	7.4%
開催趣旨に賛同できないから	6	1.2%	1.6%
その他（何をしているかわからない 他）	25	5.1%	6.6%
「いちはらアート×ミックス2017」へ行った	19	3.9%	5.0%
総計	488	100.0%	



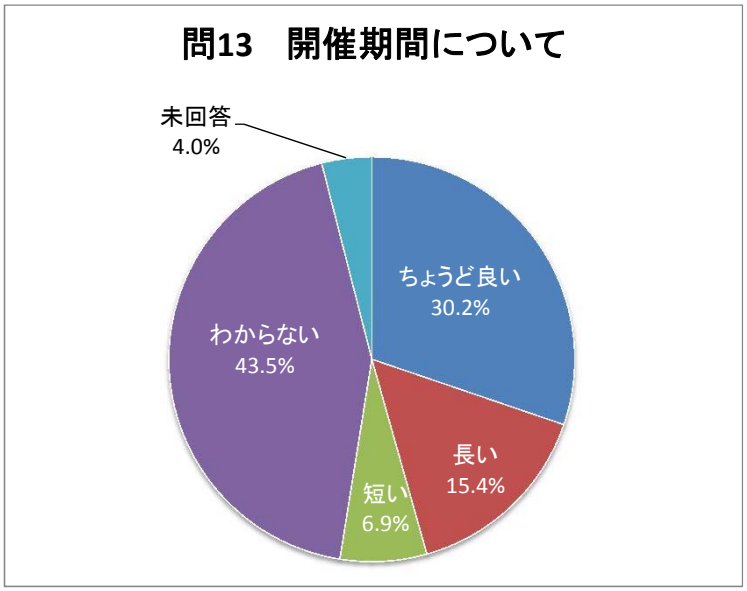
問12　開催時期について

回答	票数	%
良い	158	41.9%
普通	76	20.2%
変えたほうが良い	16	4.2%
わからない	113	30.0%
未回答	14	3.7%
合計	377	100.0%



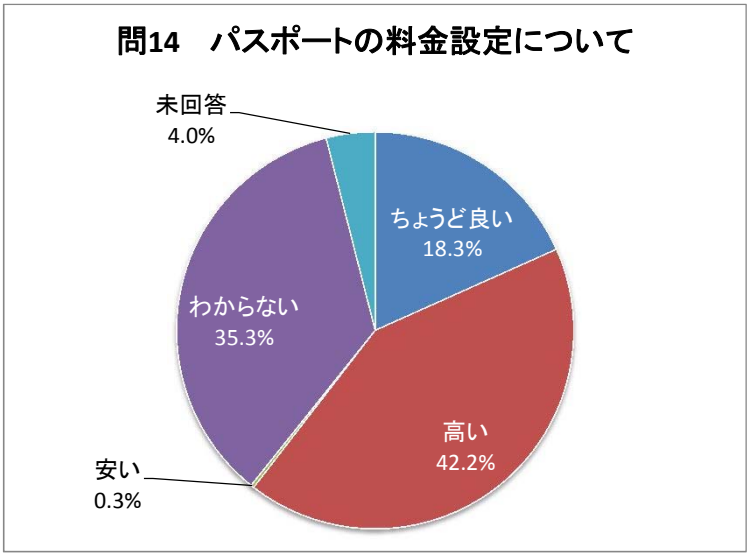
問13　開催期間について

回答	票数	%
ちょうど良い	114	30.2%
長い	58	15.4%
短い	26	6.9%
わからない	164	43.5%
未回答	15	4.0%
合計	377	100.0%



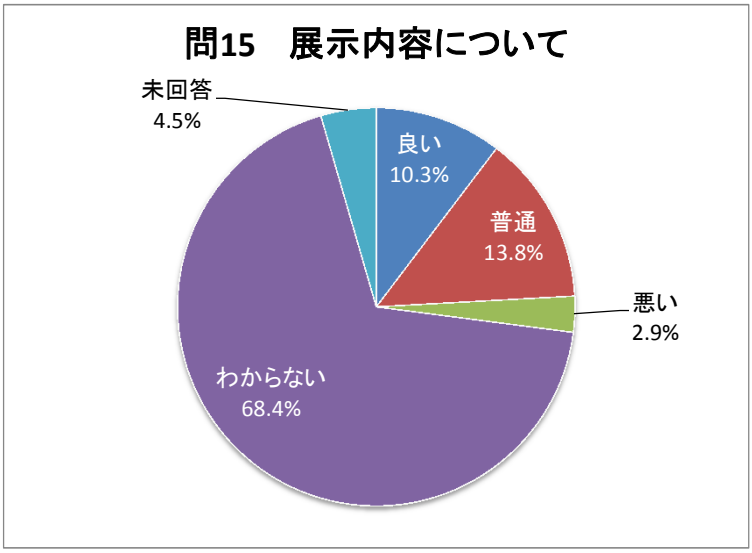
問14　パスポートの料金設定について

回答	票数	%
ちょうど良い	69	18.3%
高い	159	42.2%
安い	1	0.3%
わからない	133	35.3%
未回答	15	4.0%
合計	377	100.0%



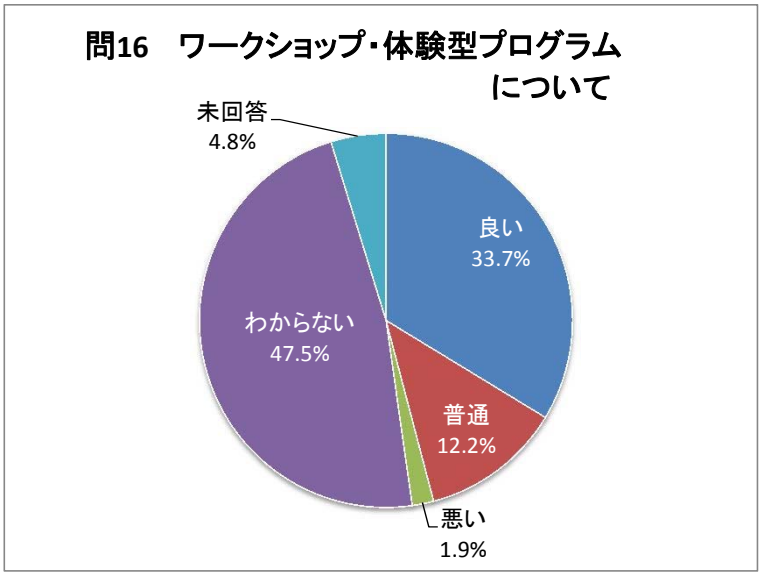
問15　展示内容について

回答	票数	%
良い	39	10.3%
普通	52	13.8%
悪い	11	2.9%
わからない	258	68.4%
未回答	17	4.5%
合計	377	100.0%



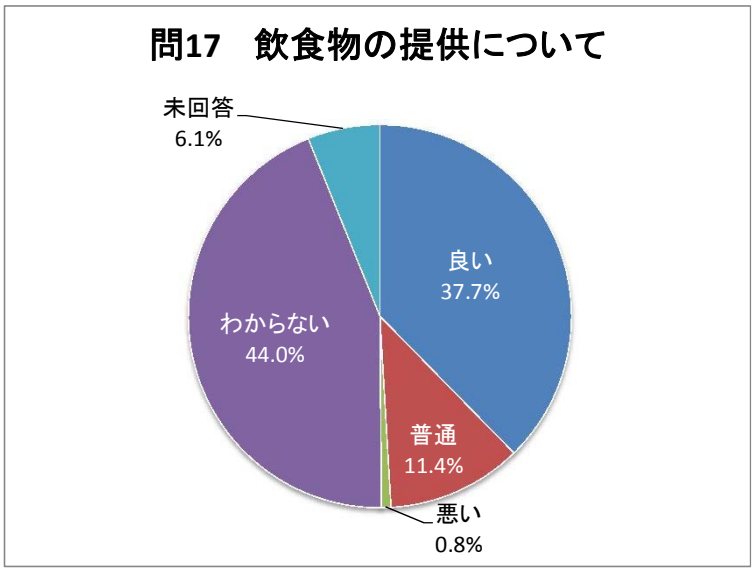
問16　ワークショップ・体験型プログラムについて

回答	票数	%
良い	127	33.7%
普通	46	12.2%
悪い	7	1.9%
わからない	179	47.5%
未回答	18	4.8%
合計	377	100.0%



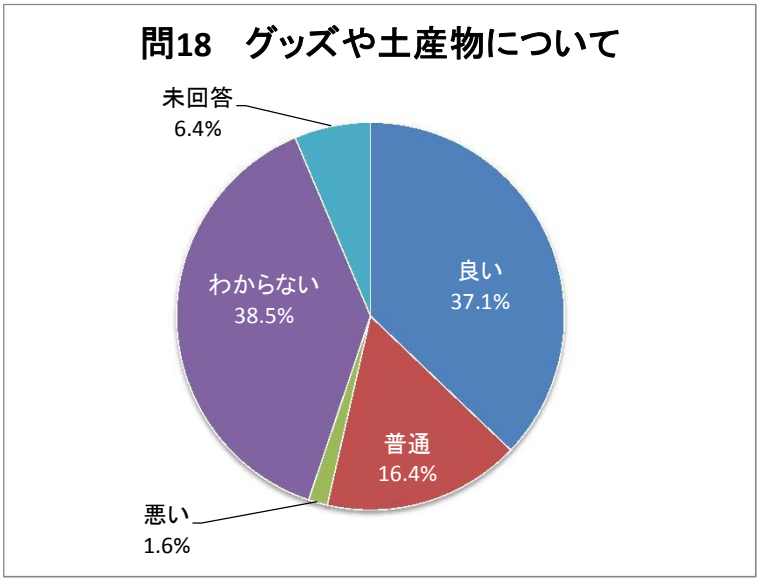
問17　飲食物の提供について

回答	票数	%
良い	142	37.7%
普通	43	11.4%
悪い	3	0.8%
わからない	166	44.0%
未回答	23	6.1%
合計	377	100.0%



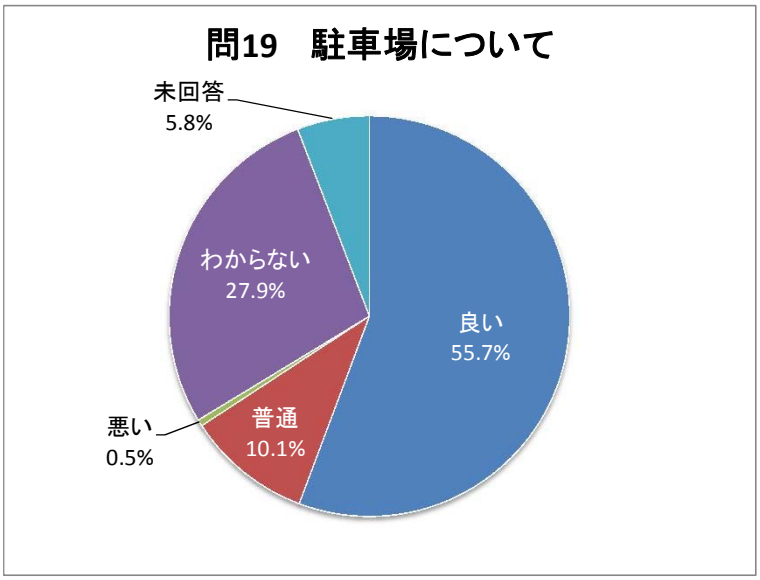
問18　グッズや土産物について

回答	票数	%
良い	140	37.1%
普通	62	16.4%
悪い	6	1.6%
わからない	145	38.5%
未回答	24	6.4%
合計	377	100.0%



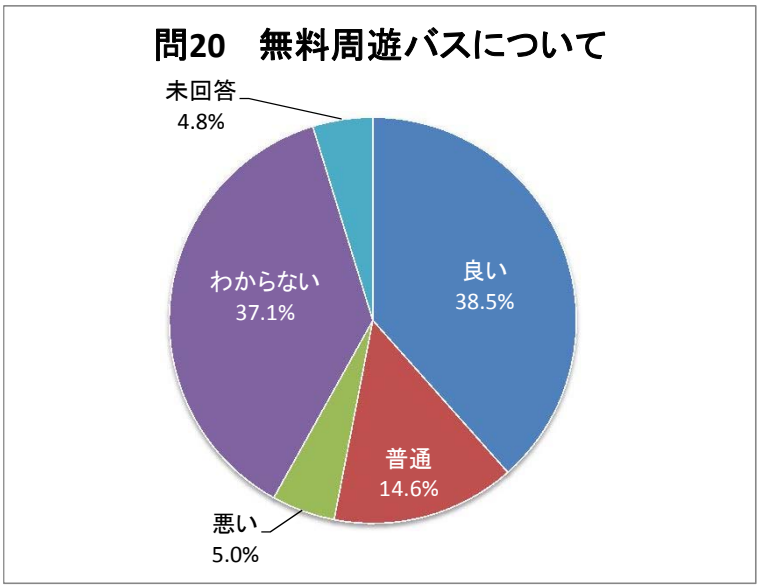
問19　駐車場について

回答	票数	%
良い	210	55.7%
普通	38	10.1%
悪い	2	0.5%
わからない	105	27.9%
未回答	22	5.8%
合計	377	100.0%



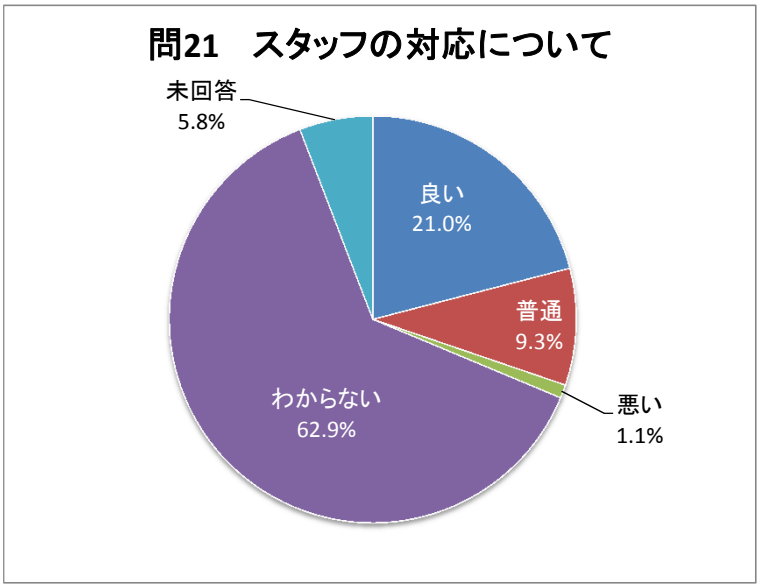
問20　無料周遊バスについて

回答	票数	%
良い	145	38.5%
普通	55	14.6%
悪い	19	5.0%
わからない	140	37.1%
未回答	18	4.8%
合計	377	100.0%



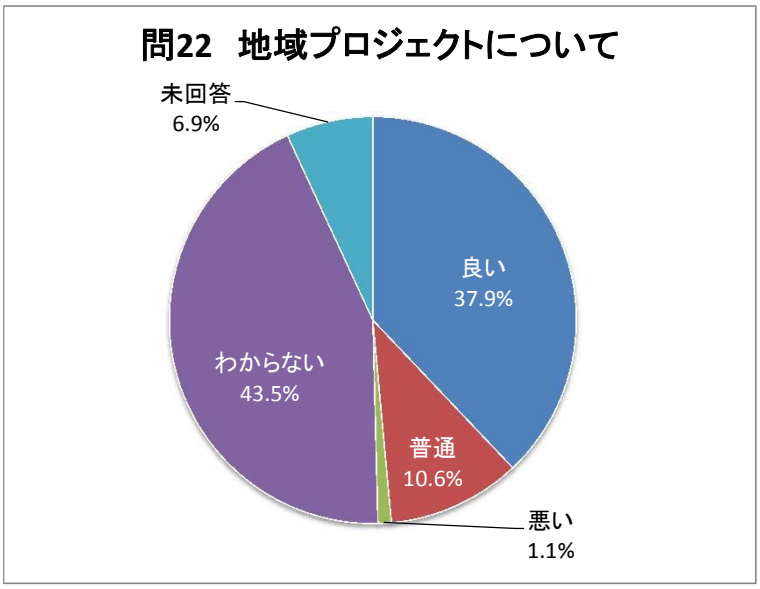
問21　スタッフの対応について

回答	票数	%
良い	79	21.0%
普通	35	9.3%
悪い	4	1.1%
わからない	237	62.9%
未回答	22	5.8%
合計	377	100.0%



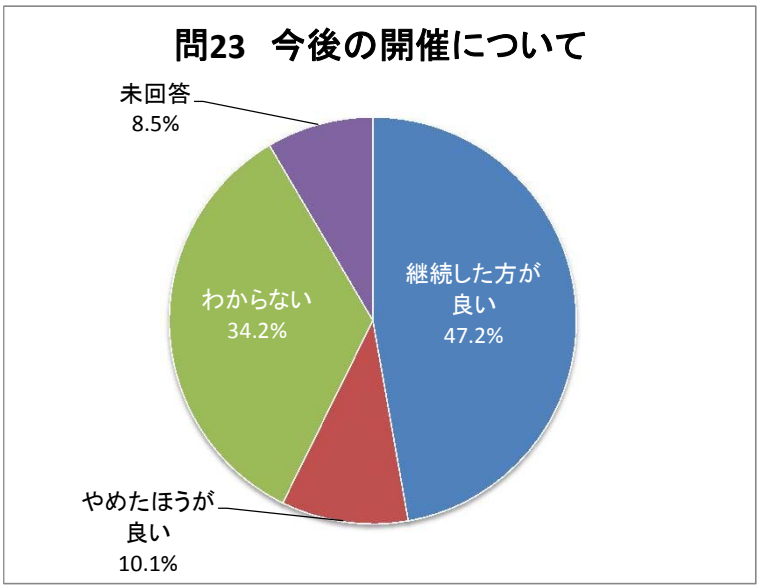
問22　地域プロジェクトについて

回答	票数	%
良い	143	37.9%
普通	40	10.6%
悪い	4	1.1%
わからない	164	43.5%
未回答	26	6.9%
合計	377	100.0%



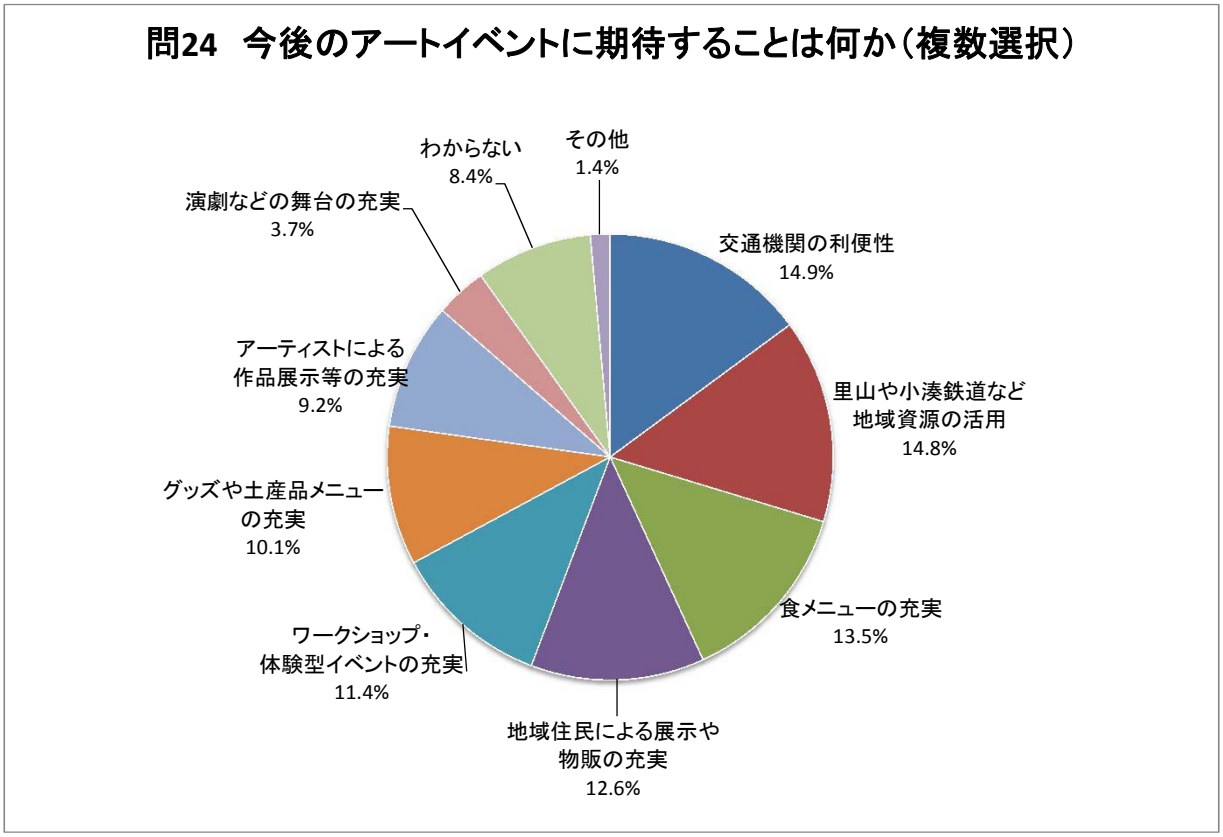
問23　今後の開催について

回答	票数	%
継続した方が良い	178	47.2%
やめたほうが良い	38	10.1%
わからない	129	34.2%
未回答	32	8.5%
合計	377	100.0%



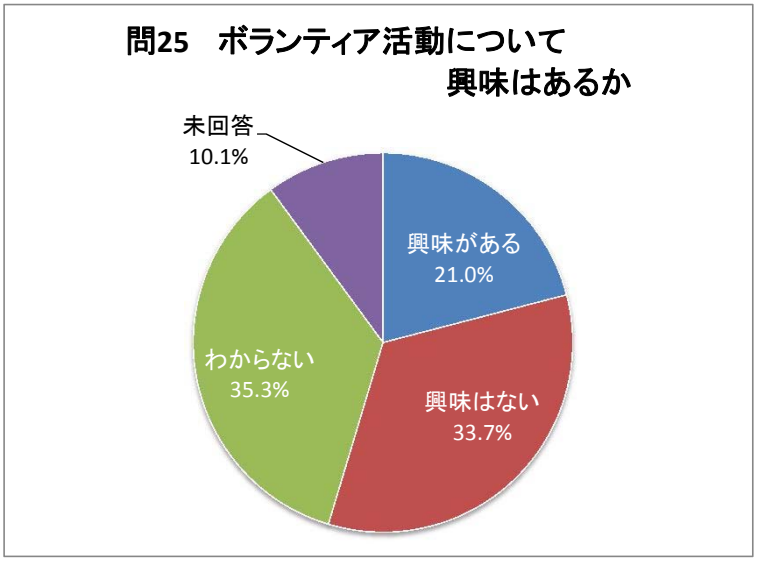
問24　今後のアートイベントに期待することは何か（複数選択）

選択肢	数	%	全回答数（377）のうち、選択した人の割合
交通機関の利便性	136	14.9%	36.1%
里山や小湊鉄道など地域資源の活用	135	14.8%	35.8%
食メニューの充実	123	13.5%	32.6%
地域住民による展示や物販の充実	115	12.6%	30.5%
ワークショップ・体験型イベントの充実	104	11.4%	27.6%
グッズや土産品メニューの充実	92	10.1%	24.4%
アーティストによる作品展示等の充実	84	9.2%	22.3%
演劇などの舞台の充実	34	3.7%	9.0%
わからない	77	8.4%	20.4%
その他（知名度の高いアーティスト・有名人を呼んでほしい）	13	1.4%	3.4%
総計	913	100.0%	



問25　ボランティア活動について興味はあるか

回答	票数	%
興味がある	79	21.0%
興味はない	127	33.7%
わからない	133	35.3%
未回答	38	10.1%
合計	377	100.0%



問26　その他意見・感想

＜良かった点＞

・見に行った人からは非常に楽しかったと聞いている。作家さんが生き生きとしていて感動したそうです
・子供の作品を飾るのは良い。
・行った友達がとても綺麗な写真を撮っていて行ってみたいと思った。
・初めて小湊鐵道に乗るきっかけとなり、良かった。普段行かない場所に行けて楽しかった。
・中井精也さんの写真展がとても良かった。
・食のメニューは色々あってとても美味しかった。
・体験型イベントがとても楽しかった。(小沢さんのｽﾌﾟｰﾝのキーホルダー作りやバッジ作り)
・地域を盛り上げるため前向きに取り組んでほしい。
・参加型イベントにするとさらなる市民の集いの場となると思う。
・継続していくことで知名度も上がり、恒例になれば楽しみにして訪れる人が増えるのでは。
・地域の発展のため、苦労があり大変だろうが皆さんで協力し尚素晴らしい進歩を祈念している。
・2回目なので現時点で成否を判断すべきではなく、10回程度で継続有無を判断しては。
・「市原」のイメージが薄い街なので、この芸術祭がイメージ造りの核となることを希望。回を重ねる毎に特徴が見えてくることを祈る。末永く続きますように。

＜悪かった点＞

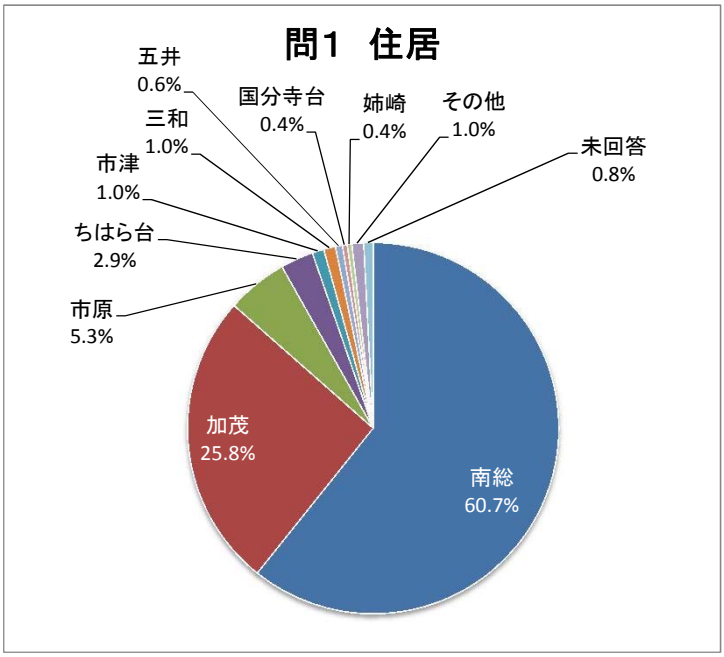
・外部委託をし予算の見直しが必要。
・地元でまったく盛り上がっていなかった。
・学校の授業で取り入れ、その作品が飾られれば子どもの作品を見に行こうという人が増えるのでは。
・地域活性の前に市民の生活拠点を改善すべき。駅前の汚さは私が知る限り県内で一番ひどい。
・市民の期待は日常生活に関わるものの方が高い。土台なくして心を満たすことはありません。
・イベント講師の呼び方が堅苦しい感じがする。
・アートミックス期間中なのに五井の方で別のイベントをやっていたり、市内でも盛り上げる気があるのか不明。
・地産地消に拘らず、もっと幅を広げてイベントを企画したほうが良い。
・堅苦しいと足も運び難い。もっと興味を引くことをやった方が活性化する。
・必ずしも費用対効果では評価できない部分だが、主旨に沿い趣旨に達成できたのかの評価を実施してほしい
・カフェ関係が充実していたが営業日時がわかりにくかった。
・小湊鐵道の乗り放題がなく残念。
・南総地区(鶴舞･牛久)に力を入れてください。
・入口の道が狭く大変。

（３）市民等へのアンケート（南総・加茂地区町会回覧、市内公民館等設置）

●配布数 9,400枚　　回答数 489枚　　回答率 5.2%

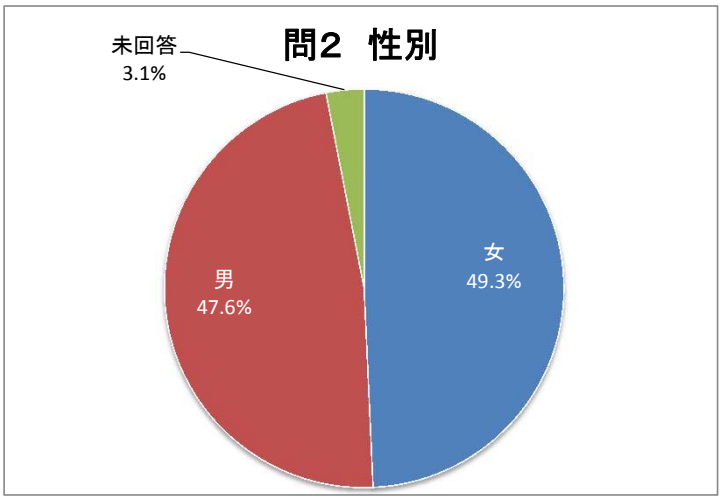
問1　住居

回答	票数	%
南総	297	60.7%
加茂	126	25.8%
市原	26	5.3%
ちはら台	14	2.9%
市津	5	1.0%
三和	5	1.0%
五井	3	0.6%
国分寺台	2	0.4%
姉崎	2	0.4%
その他	5	1.0%
未回答	4	0.8%
合計	489	100.0%



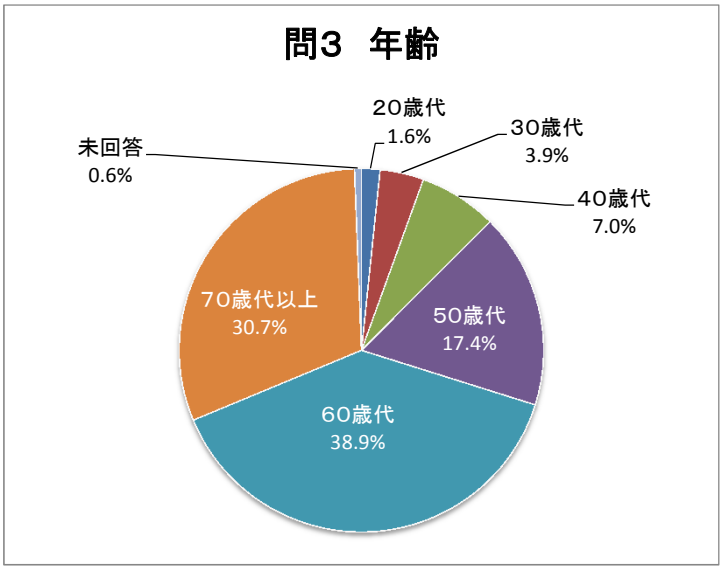
問2　性別

回答	票数	%
女	241	49.3%
男	233	47.6%
未回答	15	3.1%
合計	489	100.0%



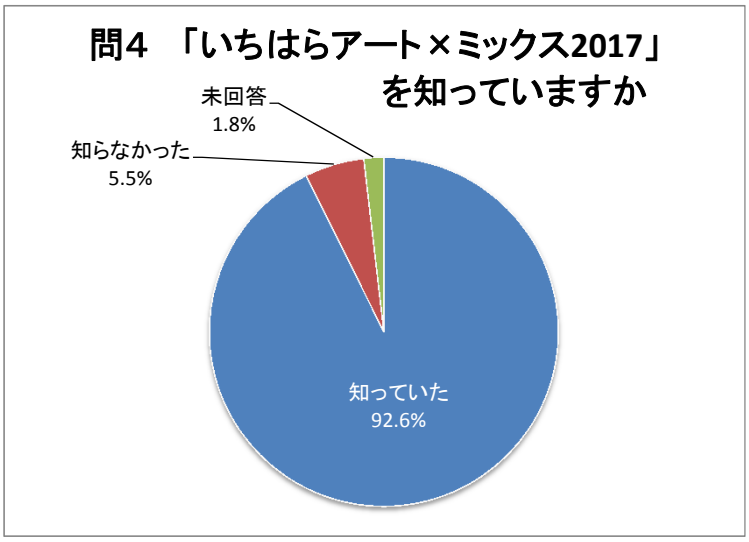
問3　年齢

回答	票数	%
20歳代	8	1.6%
30歳代	19	3.9%
40歳代	34	7.0%
50歳代	85	17.4%
60歳代	190	38.9%
70歳代以上	150	30.7%
未回答	3	0.6%
合計	489	100.0%



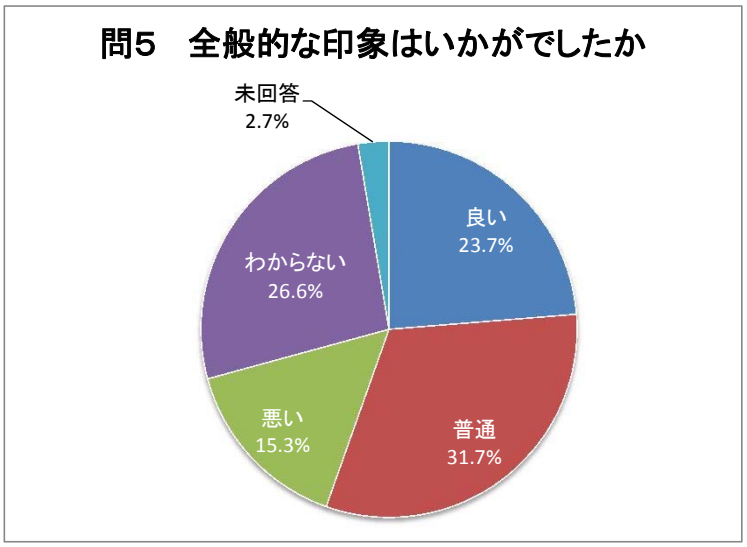
問4　「いちはらアート×ミックス2017」を知っていますか

回答	票数	%
知っていた	453	92.6%
知らなかった	27	5.5%
未回答	9	1.8%
合計	489	100.0%



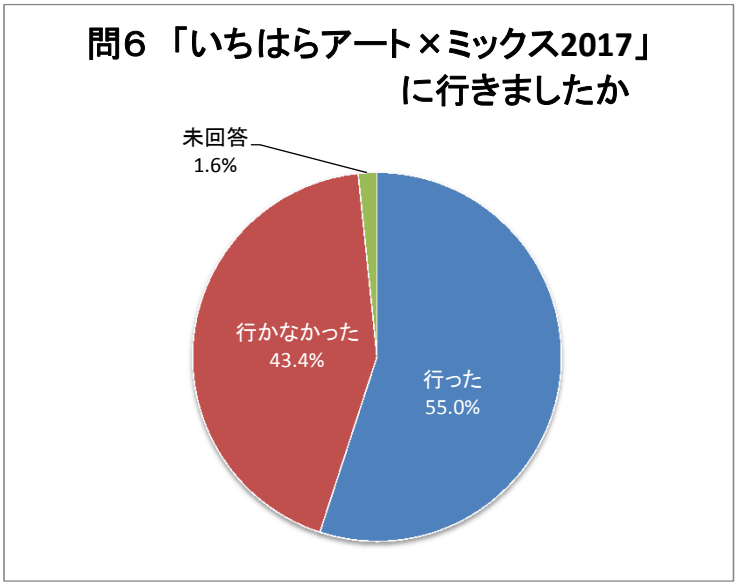
問5　全般的な印象はいかがでしたか

回答	票数	%
良い	116	23.7%
普通	155	31.7%
悪い	75	15.3%
わからない	130	26.6%
未回答	13	2.7%
合計	489	100.0%



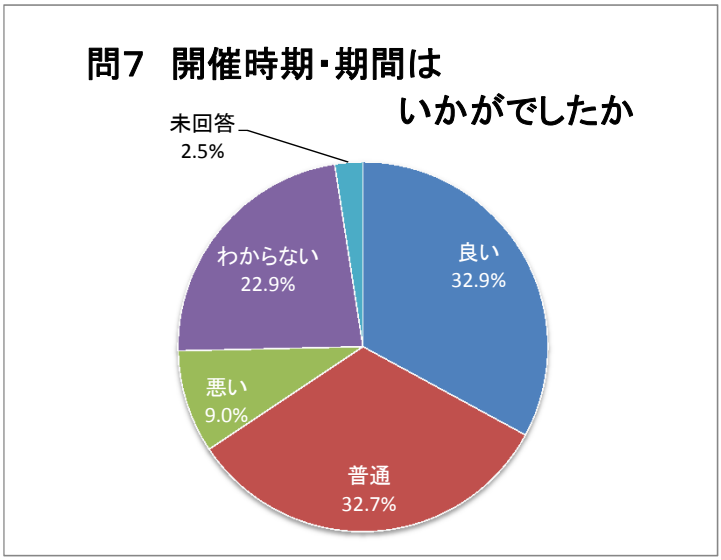
問6　「いちはらアート×ミックス2017」に行きましたか

回答	票数	%
行った	269	55.0%
行かなかった	212	43.4%
未回答	8	1.6%
合計	489	100.0%



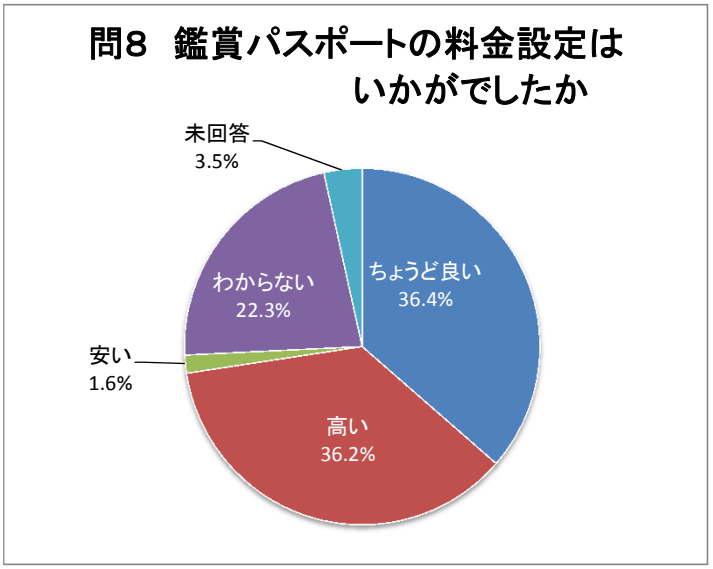
問7　開催時期・期間はいかがでしたか

回答	票数	%
良い	161	32.9%
普通	160	32.7%
悪い	44	9.0%
わからない	112	22.9%
未回答	12	2.5%
合計	489	100.0%



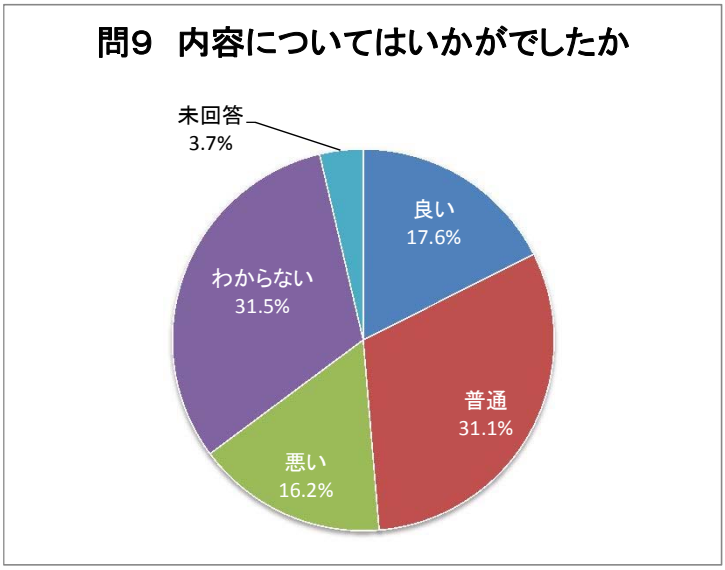
問8　鑑賞パスポートの料金設定はいかがでしたか

回答	票数	%
ちょうど良い	178	36.4%
高い	177	36.2%
安い	8	1.6%
わからない	109	22.3%
未回答	17	3.5%
合計	489	100.0%



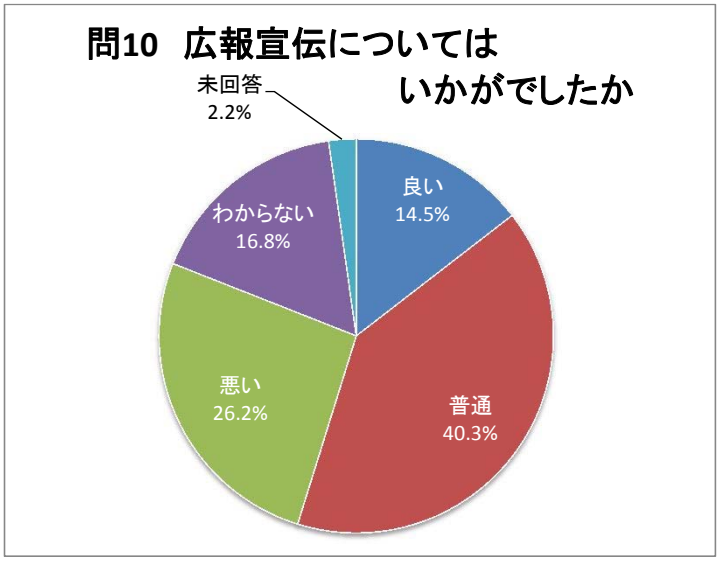
問9　内容についてはいかがでしたか

回答	票数	%
良い	86	17.6%
普通	152	31.1%
悪い	79	16.2%
わからない	154	31.5%
未回答	18	3.7%
合計	489	100.0%



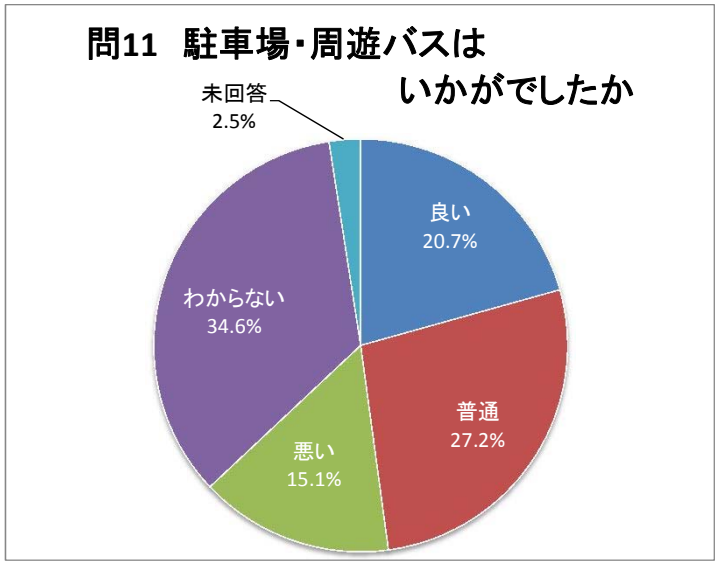
問10　広報宣伝についてはいかがでしたか

回答	票数	%
良い	71	14.5%
普通	197	40.3%
悪い	128	26.2%
わからない	82	16.8%
未回答	11	2.2%
合計	489	100.0%



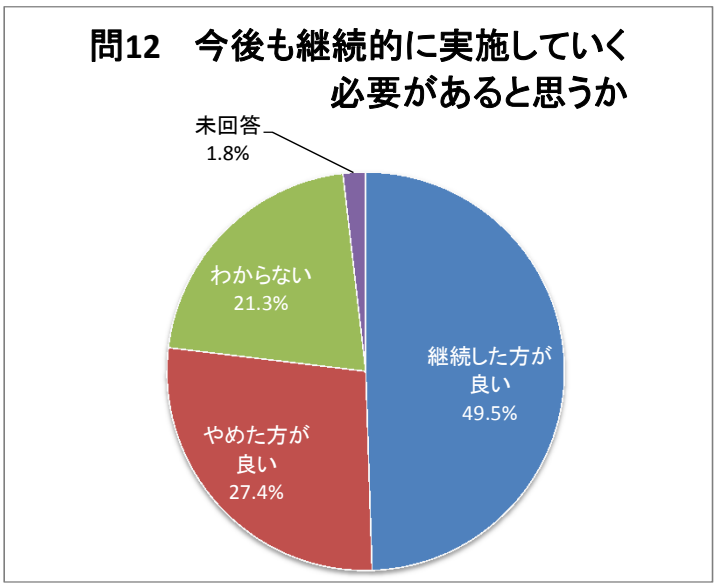
問11　駐車場・周遊バスはいかがでしたか

回答	票数	%
良い	101	20.7%
普通	133	27.2%
悪い	74	15.1%
わからない	169	34.6%
未回答	12	2.5%
合計	489	100.0%



問12　アート×ミックスは今後も継続的に実施していく必要があると思うか

回答	票数	%
継続した方が良い	242	49.5%
やめた方が良い	134	27.4%
わからない	104	21.3%
未回答	9	1.8%
合計	489	100.0%



自由記述欄

＜良かった点＞

・継続的にを希望します。回を重ねるごとに充実して行くと思います。

・やる必要性はあります。ただ加茂地区（特に白鳥地区）に一極集中するのはどうかと思います。ボランティアも高齢化が進み開催場所が多くなると今後の協力体制もあやぶまれると思います。

・今回のアートミックスは地域の協力よびかけにより、皆が参加されていて良かったと思います

・前回に比べ、PR、広報、地域の人々の活用、駐車場等、改善されており参加しやすかった様に思われた。

・3日間で全会場を見たが、駐車場料金は不要でパスポート方式で見て廻れたので非常に良かった。

・作家さんの作品の仕上がりまでの工程を見学させてもらい感動しました。汗を流してスタッフの協力する姿はすばらしい関係だと思う。若い人たちからパワーをいただいた者です。

＜提案＞

・あまりにも地域の方が無関心過ぎると感じた。せっかく市原で行っているのだから町全体で盛り上げるべき。もっと地域の方に何か特典があったらどうでしょうか。人がいないのがさびしい・・・・・・

・国際芸術祭から文化祭的になって残念　アーティストと市民の作品制作で協力する様に

・現代アートはわかりづらいのでワークショップ（手作り品）をもう少し多くすると良いと思いました。廃校活用も大切にしたいです。

・前回よりは地元に近くなったように思います。もっとアーティストと地域の人とのつながりを作って参加型にすると良いのでは。

・ボランティアとして協力したいと事務局に行ったところ自分でインターネットでアクセスして下さいと言われ、意欲が半減してしまいました。もっと協力者をひっぱり込むような対応が必要ではと思いました。

・参加型のアートについては来場者がたのしめていいが、いまひとつ何か大きな目玉？とか統一テーマとか？開催毎にもう少し世の中がおどろくしかけがあったらと思う。もっと来場者も増えるかも・・・

・高齢者が増加傾向なのに高齢者向けのサービス料金がないので行かなかった。県の施設には75才以上無料のイベントもある。

＜悪かった点＞

・市民参加者が少ない。費用対効果が小さい。他に実施すべきことが沢山あるのでは？市財政が厳しい事等からやめるべき。

・財政的に余裕がないため社会保障費に充て今後取りやめた方が特策である

・典型的な税金の無駄使い。入場者の評判も悪い（分かる人がいない）。市は金が余っていないはず　学校のトイレでも直した方がいい

・興味が無いのもあるが町会によっては半ば強制的に当番で出ている人もあった話を聞いている。疑問が残る。

・開催場所や駐車場がわかりづらい場所があり、もう少し案内を充実した方がよかったと思います。（最後の養老渓谷は駐車場が遠くて大変でした）

・行きたいと思っていましたが、交通の便が悪く行けませんでした。コミバスなども利用してコマメな送迎があればと思います。

・PRが不足。年をとると自分達だけではなかなか行けない。

・予算削減に依るものか？前回よりも芸術的レベルは低かったと思う。地元住民の参加を目指した点は評価できるが、文化祭のようで地域外からの来場者は満足したのだろうか？

・前回と比較し、作品数が少なく、又、斬新な作品も少なかった印象があります。このままの継続ですと感心が少なくなると思います。又、アートディレクターなど専門の方の必要性を感じました。

・担当職員の仕事の軽減をぜひお願いしたいです。みていて気の毒になります。

・開催地域が過疎化しており、年齢的にスタッフとしてボランティアするのは負担が大きいと思う。

・アートミックスの財源や使われ方等、会計報告を市民に知らせてほしい。

・土日だけのイベントが多く、平日のみ回った私はちょっと残念でした。食事所も休みが多く、地元の食堂などをもっとわかりやすく案内した方が良いかなと思いました。

・高齢化の多い地域での参加（参画）は、十分な「要旨」を地域組織（町会団体等）に分かる工夫が更に必要と思う。

・この回覧をしましたところ1件だけが受取り、他は白紙で返ってきました。残念ですが地元にあっていかに関心がないかの表れです。無料で内覧会の案内をしてもこのことと同じで参加は極少だったと思います。何と言っても開催地が盛り上がらないと全体的に盛り上がらないと思います。地元民の無関心さも有りますが、どのように関わったら良いのかわからないと言うのも有ると思います。開催初期の段階から町会長会などを巻き込んで参加できる方法考えた方がよいと思います。

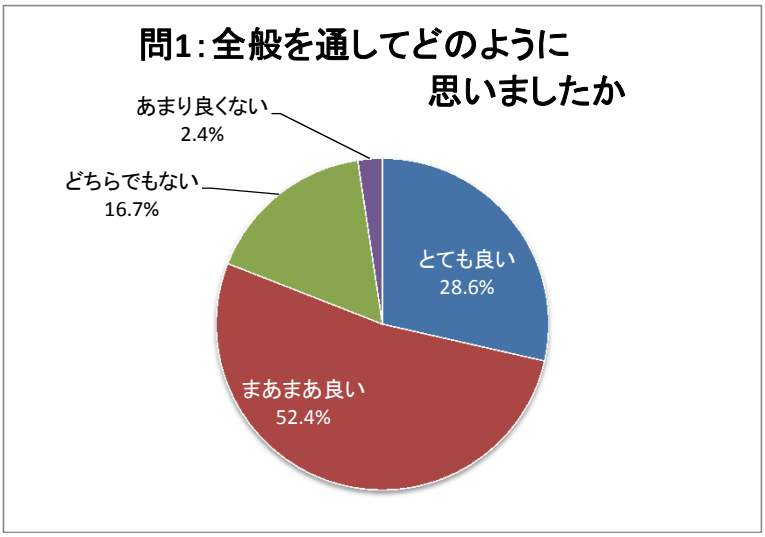
・ほんの一部の人たちの為の楽しみに税金は使わないで‼市民全体でもっと楽しめる行事、数年に1回なら花火大会の復活の方がいい

（４）里山団体へのアンケート

●配布数 90枚　　回答数 42枚　　回答率 46.7%

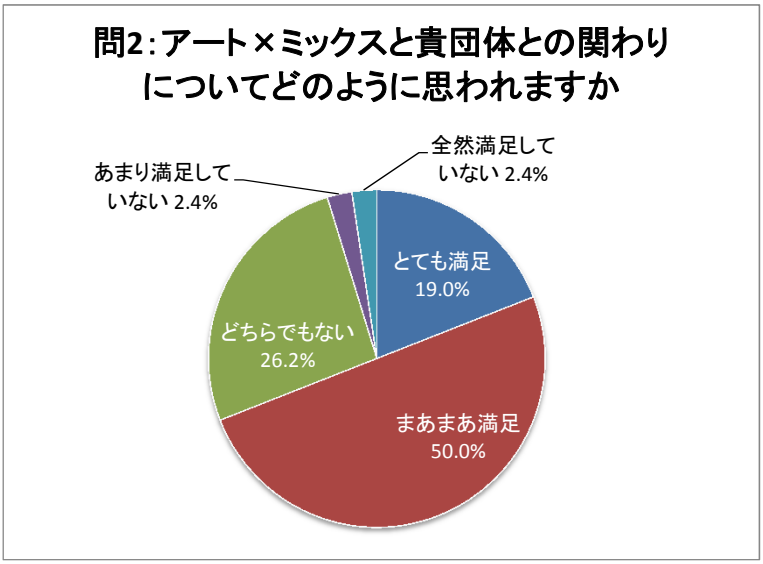
問1：アート×ミックス全般を通してどのように思いましたか

回答	票数	%
とても良い	12	28.6%
まあまあ良い	22	52.4%
どちらでもない	7	16.7%
あまり良くない	1	2.4%
全然良くない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	42	100.0%



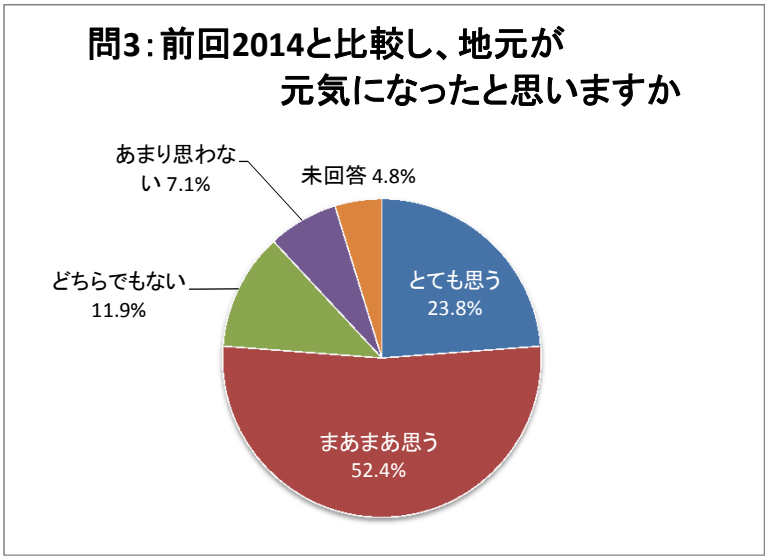
問2：アート×ミックスと貴団体との関わりについてどのように思われますか

回答	票数	%
とても満足	8	19.0%
まあまあ満足	21	50.0%
どちらでもない	11	26.2%
あまり満足していない	1	2.4%
全然満足していない	1	2.4%
未回答	0	0.0%
合計	42	100.0%



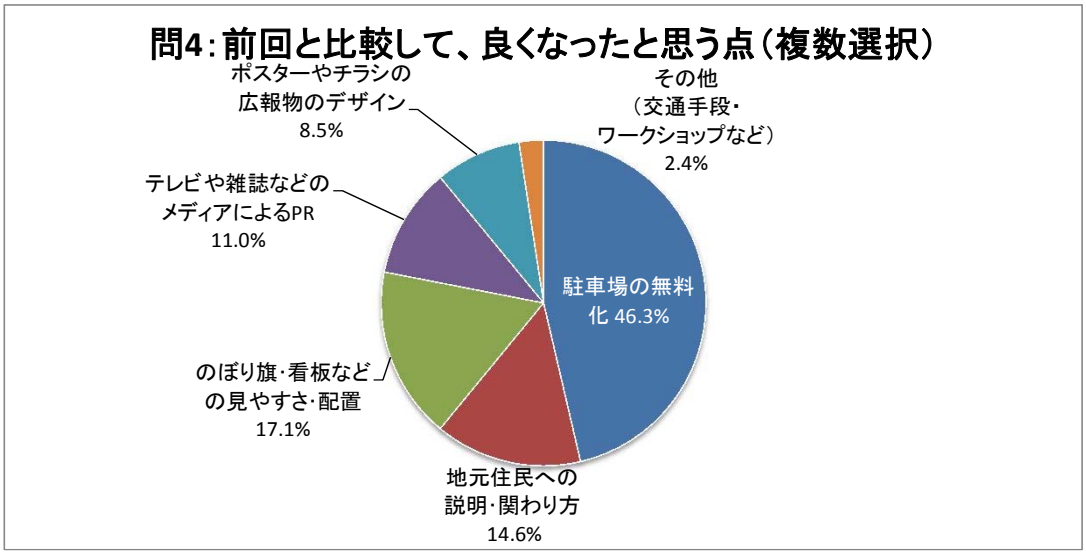
問3：アート×ミックスによって、前回2014と比較し、地元が元気になったと思いますか

回答	票数	%
とても思う	10	23.8%
まあまあ思う	22	52.4%
どちらでもない	5	11.9%
あまり思わない	3	7.1%
ぜんぜん思わない	0	0.0%
未回答	2	4.8%
合計	42	100.0%



問4：前回のアート×ミックス2014と比較して、良くなったと思う点をお聞かせください（複数選択）

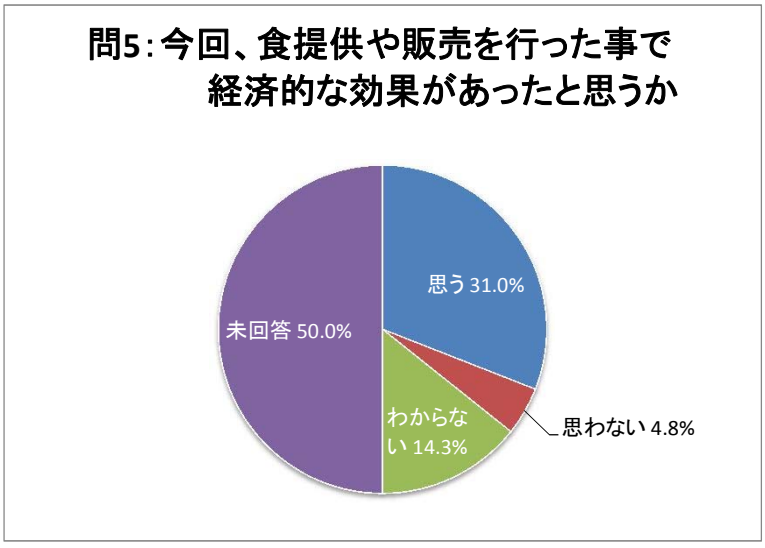
回答	票数	%	全回答数（42）のうち、選択した人の割合
駐車場の無料化	38	46.3%	90.5%
地元住民への説明・関わり方	12	14.6%	28.6%
のぼり旗・看板などの見やすさ・配置	14	17.1%	33.3%
テレビや雑誌などのメディアによるPR	9	11.0%	21.4%
ポスターやチラシの広報物のデザイン	7	8.5%	16.7%
その他（交通手段・ワークショップなど）	2	2.4%	4.8%
合計	82	100.0%	



食提供や販売にご協力いただいた団体の皆様へ

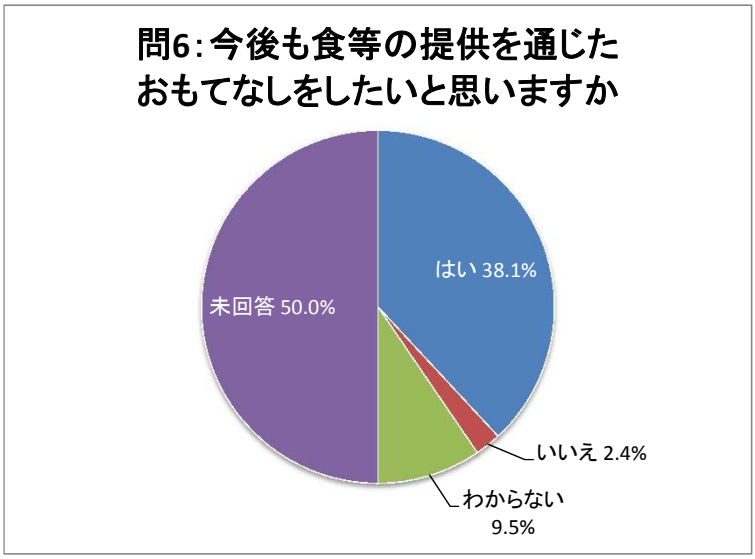
問5：今回、食提供や販売を行った事で経済的な効果があったと思われますか

回答	票数	%
思う	13	31.0%
思わない	2	4.8%
わからない	6	14.3%
未回答	21	50.0%
合計	42	100.0%



問6：今後もミニイベントを含むアートイベントがあったら食等の提供を通じたおもてなしをしたいと思いますか

回答	票数	%
はい	16	38.1%
いいえ	1	2.4%
わからない	4	9.5%
未回答	21	50.0%
合計	42	100.0%



問7：アート×ミックスについてよかったと思う点について自由にお聞かせください

- ・市・県外の人など、多くの人が来て賑わった。普段話さない人たちと話すことができた。
- ・案内看板が分かりやすくなっていた。〇数字＋矢印の表記が良かった。
- ・駐車場の無料化によって動きやすくなり、来客も増えていたようだった。
- ・小学生の絵の展示や中学生のウェルカムボード、作品制作への参加などが好評だった。
- ・市内小学生を招待しバスで見学させたことでアート×ミックスがより身近になった。子ども達の感性が豊かになった。
- ・回を重ねるごとにイベントが定着してきたようだった。ミニイベントの成果もあり理解が深まってきているようだった。
- ・スタンプラリーで地元商店が少し活気付いたように感じた
- ・町会や地元のボランティアが多く参加していた。意識も高かった。高齢でも一生懸命になれる場があって良いとおもう。
- ・地元を生かしたものが多かった。地元の宝をアピールできた。

問8：アート×ミックスの悪かった点や改善点などがあれば自由にお聞かせください

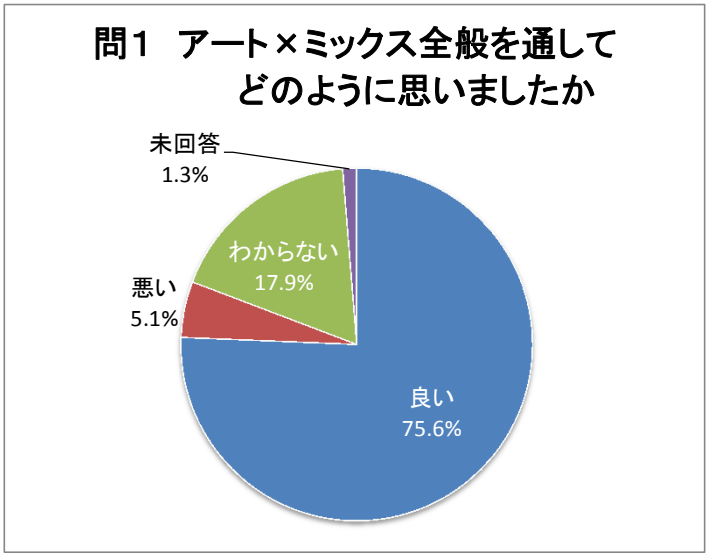
- ・作家との接点が少なかった。もっとコミュニケーションをとって提案したりしたかった。
- ・前回に比べ小型な作品が多かった。インパクトのある作品が欲しい。
- ・行ってみると良い作品が多いのだが、分かりやすい説明などが必要
- ・食事を提供できるように、知識講習などの指導や資格取得への道筋を示してはどうか
- ・まだまだPR不足と感じた。特に市内への広報が足りない。開催内容を会場ごとにPRしてほしい。
- ・廃校になった旧富山小や旧高滝小も活用して欲しい。
- ・仮設トイレの清掃は頻繁にしていたようだったが、酷い悪臭がした。
- ・交通の便が悪い（特にやもかのなかま）。1日でほとんどを見てまわれるようにして欲しい。
- ・曜日によってイベントの数に偏りがあったり、旧白鳥小の出店者がいなかったりして残念だった。
- ・早い段階での地元への協力依頼、充実した準備、入念な仕掛け、作家との信頼関係の構築などやれることはまだまだあると思う。
- ・北部の関心が薄い。もっと巻き込みたい。イチマルの発想で五井村・姉崎村etc.を市内に点在させてその運営を各地域に任せるという方法もあるのでは。
- ・「晴れたら市原、行こう。」のコピーはもうやめた方が良い。新しく募集するなりして人を呼び込める魅力的なコピーが欲しい。
- ・会場によってはスリッパに履き替えるところがあったが、高齢になるとスリッパだと歩行困難。せっかく来たのに諦めて帰る人を見た。

（５）町会から運営参加した方々へのアンケート

●配布数　300枚　　回答数 78枚　　回答率 26.0%

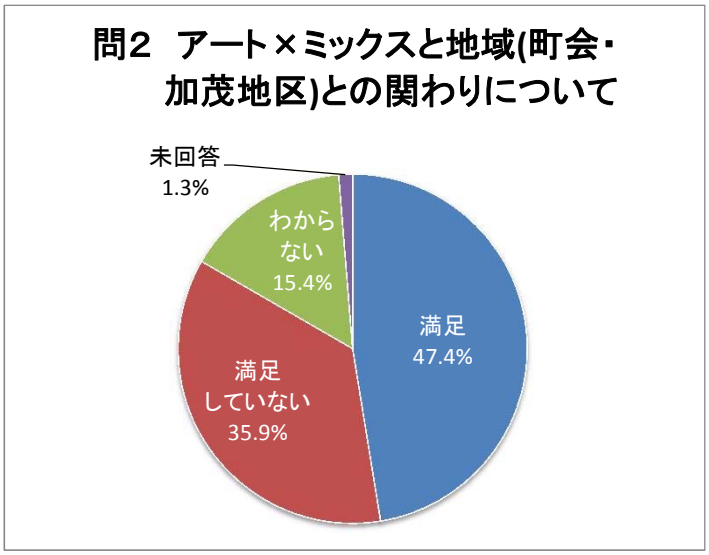
問1　アート×ミックス全般を通してどのように思いましたか

選択肢	数	%
良い	59	75.6%
悪い	4	5.1%
わからない	14	17.9%
未回答	1	1.3%
総計	78	100.0%



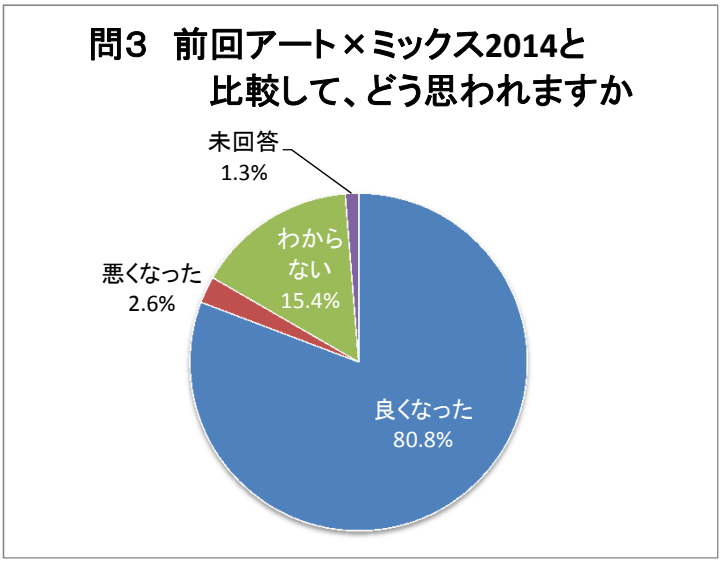
問2　アート×ミックスと地域(町会・加茂地区)との関わりについてどのように思われますか

選択肢	数	%
満足	37	47.4%
満足していない	28	35.9%
わからない	12	15.4%
未回答	1	1.3%
総計	78	100.0%



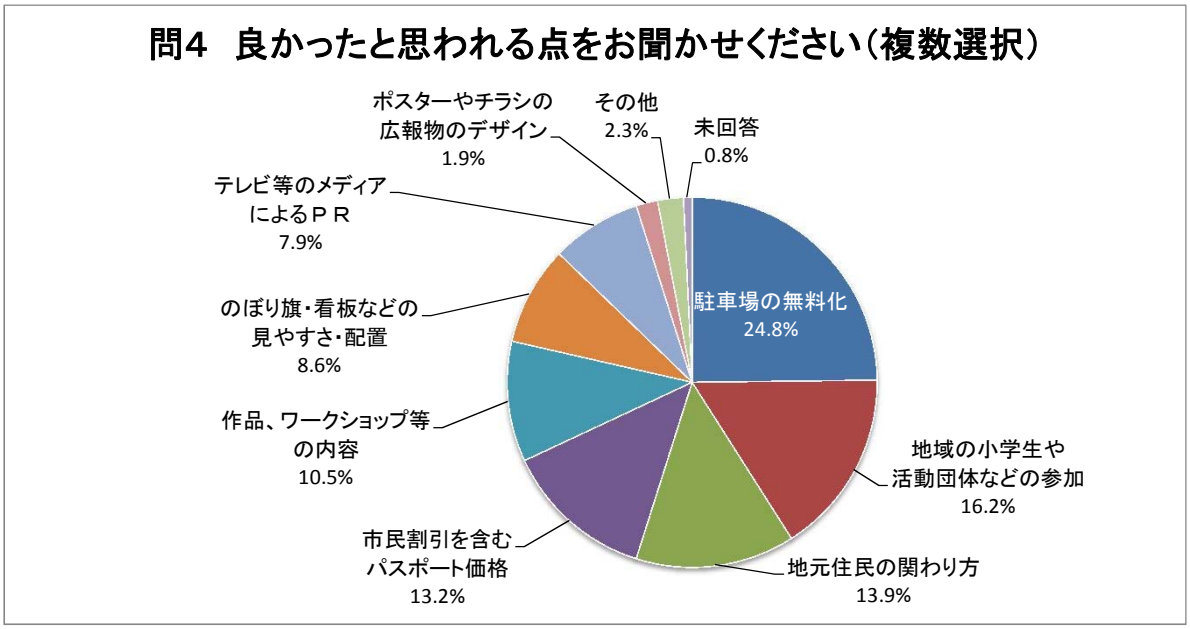
問3　前回（3年前）のアート×ミックス2014と比較して、どう思われますか

選択肢	数	%
良くなった	63	80.8%
悪くなった	2	2.6%
わからない	12	15.4%
未回答	1	1.3%
総計	78	100.0%



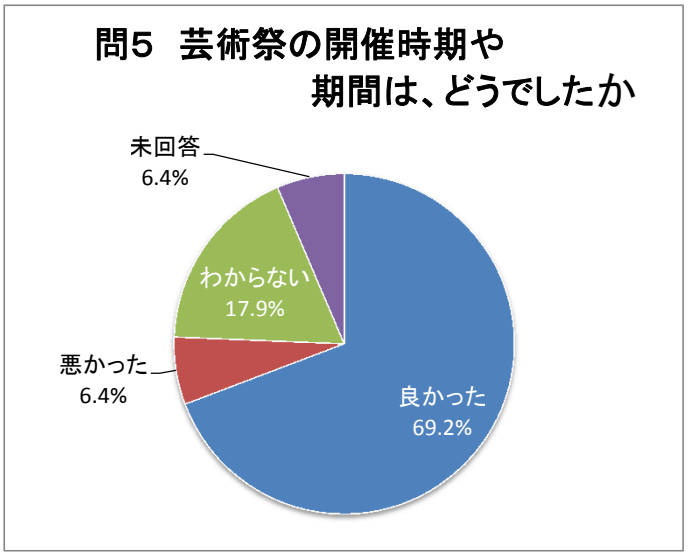
問4　良かったと思われる点をお聞かせください（複数選択）

選択肢	数	%	全回答数（78）のうち、選択した人の割合
駐車場の無料化	66	24.8%	84.6%
地域の小学生や活動団体などの参加	43	16.2%	55.1%
地元住民の関わり方	37	13.9%	47.4%
市民割引を含むパスポート価格の見直し	35	13.2%	44.9%
作品やワークショップ・イベント等の内容	28	10.5%	35.9%
のぼり旗・看板などの見やすさ・配置	23	8.6%	29.5%
テレビや雑誌などのメディアによるPR	21	7.9%	26.9%
ポスターやチラシの広報物のデザイン	5	1.9%	6.4%
その他	6	2.3%	7.7%
未回答	2	0.8%	2.6%
総計	266	100.0%	



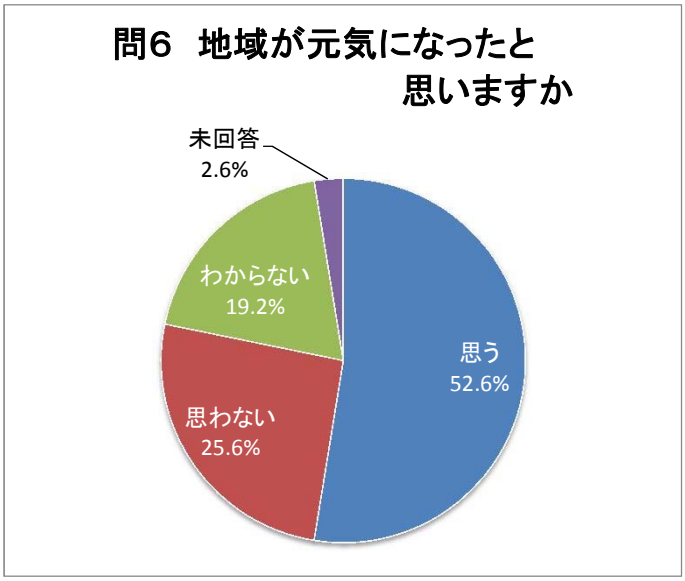
問5　芸術祭の開催時期や期間は、どうでしたか

選択肢	数	%
良かった	54	69.2%
悪かった	5	6.4%
わからない	14	17.9%
未回答	5	6.4%
総計	78	100.0%



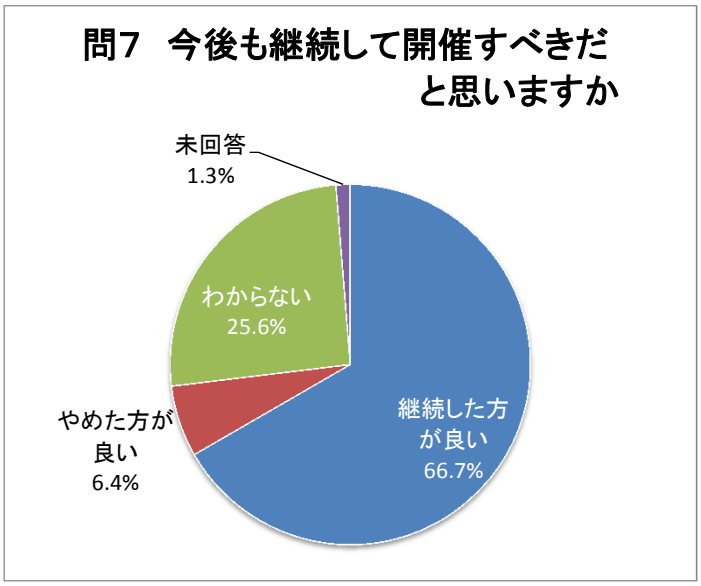
問6　期間中の賑わいなど、アート×ミックスによって、地域が元気になったと思いますか

選択肢	数	%
思う	41	52.6%
思わない	20	25.6%
わからない	15	19.2%
未回答	2	2.6%
総計	78	100.0%



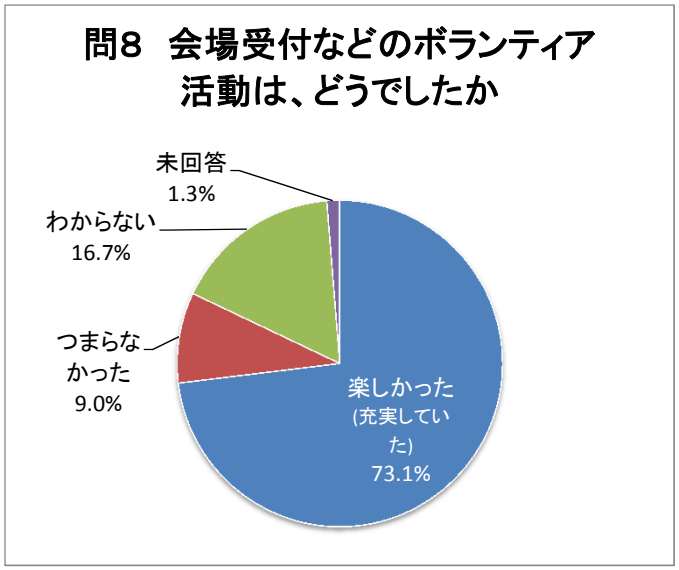
問7　今後もアート×ミックスを継続して開催すべきだと思いますか

選択肢	数	%
継続した方が良い	52	66.7%
やめた方が良い	5	6.4%
わからない	20	25.6%
未回答	1	1.3%
総計	78	100.0%



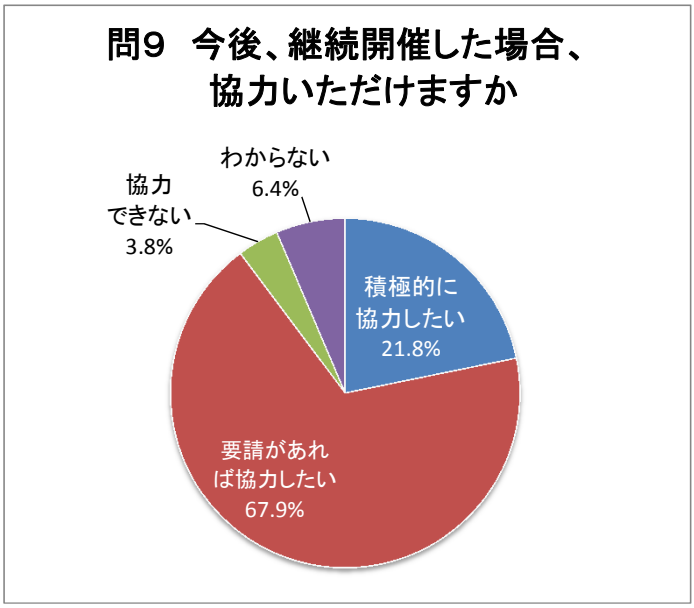
問8　今回の会場受付や来場者案内などのボランティア活動は、どうでしたか

選択肢	数	%
楽しかった(充実していた)	57	73.1%
つまらなかった	7	9.0%
わからない	13	16.7%
未回答	1	1.3%
総計	78	100.0%



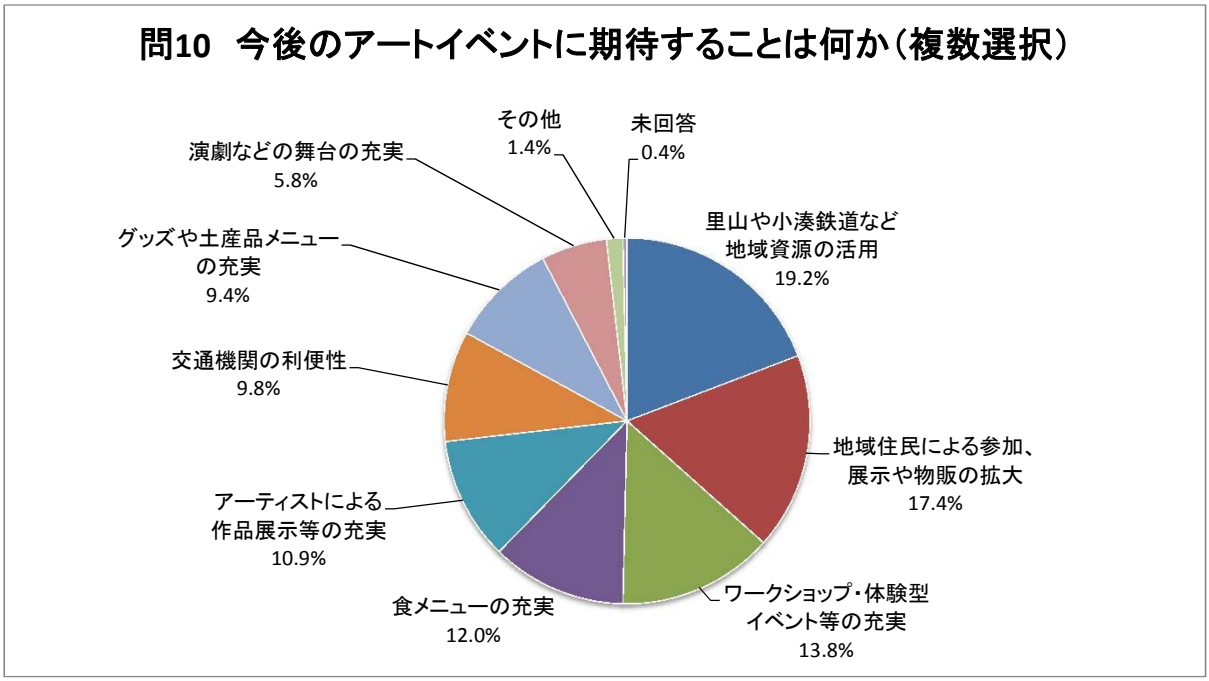
問9　今後、ミニイベントを含むアートイベントを継続開催した場合、協力いただけますか

選択肢	数	%
積極的に協力したい	17	21.8%
要請があれば協力したい	53	67.9%
協力できない	3	3.8%
わからない	5	6.4%
総計	78	100.0%



問10　今後のアートイベントに期待することは、何ですか（複数選択）

選択肢	数	%	全回答数（78）のうち、選択した人の割合
里山や小湊鉄道など地域資源の活用	53	19.2%	67.9%
地域住民による参加、展示や物販の拡大	48	17.4%	61.5%
ワークショップ・体験型イベント等の充実	38	13.8%	48.7%
食メニューの充実	33	12.0%	42.3%
アーティストによる作品展示等の充実	30	10.9%	38.5%
交通機関の利便性	27	9.8%	34.6%
グッズや土産品メニューの充実	26	9.4%	33.3%
演劇などの舞台の充実	16	5.8%	20.5%
その他	4	1.4%	5.1%
未回答	1	0.4%	1.3%
総計	276	100.0%	



問11　アート×ミックスの良かった点、悪かった点(改善案)など、自由にお聞かせください。

＜良かった点＞

・町会が受付に参加したことは、前回より良かった。

・受付ボランティアを地元町会へ依頼したことは良かったし、少しずつ地元住民がアートミックスに関心や興味が持ち、これを広げていけると良い。

・駐車場無料化や入場料見直しなどは、とても良かった。

・受付で、地元住民に声をかけられたりして、楽しく過ごすことができた。

・県外からの来場者が多いことにビックリした。

・地元以外からの来場者が多く、賑やかだった。

・スタンプラリーが良かった。

・もっと協力して地域の活性化に役立てていきたい。

・ボランティアに皆さんが「イベントを成功させよう」「楽しい」という気持ちで参加されていて、とても熱心に活動していた。

・初めてボランティアとして参加したが、スタッフの皆さんと楽しく過ごせ、大変良い経験ができた。

・土曜日の参加だったので、400人以上の来場があり、アートミックスの関心の高さにビックリした。

・市職員や菜の花プレーヤーズとの受付での交流が大変良かった。

・活動時間（10時～15時）が良かった。

・町会の一員として参加でき、大変うれしかった。

・里見小学校の花壇づくりに、多くの皆さんと参加でき、充実していた。

・受付で参加したことで、地域の様子を話すことができたり、来場者へ「おもてなし」をすることができた。

・平日にも関わらず、予想外に多くの方々が訪れ、驚いた。駐車場が無料になったことが大きな理由ではないか？

・地域を参加させ、子ども達までも仲間に加え、盛り上がったと思う。

・それぞれが興味関心を持ち、市全員での参加ともいえ、素晴らしかったと思う。

・市原市において、立派に活躍された方々がいることを、アートミックスを通じて知ることができ、素晴らしい収穫であった。（もっと知りたくて、同じ人の展示に3回も訪れました）

・休憩・食事をする場所（おもいでの家）があって喜ばれた。

・ボランティア活動で、アートミックスを近くに感じた。

・若い女性の来場が多く、驚いた。

・前回に比べ、多くの改善がみられ、地域と共に開催するアートミックスになってきたように思われる。今回の反省を活かしながら、次回が開催されることを期待している。微力ながら、ボランティアとして、次回も協力したい。

・担当職員が非常に熱心に取り組んでいて良かった。

・普段会えない人に会えたりして楽しかった。

・IAAESの花壇は、来場者にとても評判が良く、次回も続けると良い。

・体験型イベントは良かった。

・アート作品だけでは少しとっつきにくいので、地元小学生の絵画作品や宝林寺の見学などのコラボのおかげて、身近に感じられて良かった。

・地域のイベントが減る中、小学校であった廃校を活用していくことで、「地域とのつながり」を継続できる。

・スタッフの皆さんが親切に指導してくれて良かった。今後も親切にお客さんに接すると良い。

・毎週のように、フェイスブックでアートミックスの様子を投稿していて大変良かった。

・実際に参加することで、いろいろなことがわかった。

・事務局職員の頑張り、取り組みに感謝します。今回、地域を大切にしていたことが大変良かった。

・地元の人が参加することで、連携が図れ、「おらがアートミックス」と思える場面が増えた。

・全会場の作品等を見学したが、70歳代の私には、理解できないものもありましたが、それなりに楽しめました。地域の活性化に少しでも役立つよう今後も継続されるよう望みます。

・旧里見小学校での食堂は、助かった。

・悪天候の日もありましたが、駐車場等の親切な配慮に助けられました。

・ボランティアの方々に感謝しています。

・田舎のため、お店や食堂がないので休憩できたり食べる所があるのは良かった。

・規模は縮小となったが、アートミックスが近くに感じた。

・作品を一緒に作り、その作品が飾られたことで、内田未来楽校はとても楽しめた。子どもから大人まで楽しめたことは良かった。

・良かったことは、いろいろな方に市原を知ってもらえたこと、リピーターがいたことが嬉しかった。

・地域の子ども達の作品がいろいろあって良かった。

・開催時期は長すぎてだらけることなく、コンパクトであったので集客効果があがったように思う。

＜悪かった点（改善点）＞

・たまたま桜の開花が遅れて良かったが、満開の菜の花も含めて、もっと早い時期の開催が良い。

・会場内のイベント情報の掲示物をわかり易くした方が良い。食べ物のイベントの宣伝が不足していたと思う。

・会場毎の作品のポイントをまとめておきボランティアが説明出来ると、来場者の感動、良かったに繋がる。
毎日変わる担当に説明するのは大変なので、全会場のポイントをまとめ職員研修で共通認識をもっておくと良い。
各会場毎に担当課を割り当てておくと、情報が共有され、地域協力者に伝わり易い。

・モデルコースを示して欲しい。特に、平日に来場者が楽しめるおすすめコースを用意して欲しい。

・学生の来場が少なかったので、若い人に来てもらえるアイデアが欲しい。

・幟、看板が少なく、ローマ字などお年寄りにはわからない、との声が多かった。

・県外からの来場者がどちらへ行けば駅なのか？迷っていた。里見小学校から飯給駅への案内があると良かった。

・食堂などがほとんどない地域なので、最低限ガイドブックに掲載された飲食については実行委員会として責任を持ってやらせるべき。コンビニもないので、昼食を準備して来なかった来場者は困っていた。

・有名なアーティストを使うことで皆がもっと興味を持ってくれ、来場者が増えるのではないか。

・地域への遺産として将来にわたって継続的な作品や参加継承できる工夫があると良い。

・開催地域を盛り上げるために、屋外展示物を作り、ビジュアル的にムード作りをしたらどうか。

・民泊など、来場者が宿泊できる場所の充実があれば来場者が増えるのではないか。

・床が内田未来楽校は凹んでいて怖かった。

・「アートハウスあそうばらの谷」へ下りる坂道のひび割れやむき出しの鉄骨等、今後も活用する施設だと思うので早急に安全対策をした方が良い。

・段差のある場所が多く、足元が危なかった。会場内が暗く、足元などに照明を付けるべき。

・あそうばらの谷は、会場の駐車場がなく、駐車場や駅から遠い。

・あそうばらの谷は、古民家の持ち主の事やいつ頃まで住んでいたか、など建物の歴史に興味を持つ人が多く質問をされたが、市役所の人も地元も説明が出来なかった。事前に調べておけばと反省した。

・平日、日程表では開催となっているのに、会場に来ていないワークショップやイベントがあり、来場者に聞かれても「知らない」と答えるしかできず、申し訳なく嫌だった。

・飲食の充実をした方が良い。特に平日の飲食の充実が必要。

・平日においても、飲み物だけでも、販売してほしかった。（「のどが渇いた」と来場者に言われ困った）

・月崎町会エリアに食堂がなく、お客様に不評だった。

・市職員が中心で受付をするので、地元ボランティアは何も出来ず手持ち無沙汰であった。もっとボランティアに率先して動いてもらう方が良いのではないか。

・周囲の方から「赤字のイベント」と良く耳にするが、何のためのイベントなのか良く理解できない。ボランティアも強制的で何の利点もなかった。

・町会長だけでなく、地域の集会等に参加して、顔をあわせながら、内容や目的の説明、ボランティア依頼をすることで、さらに一歩前へ進めることができる。今後も、「地域の人々をつなげる」きっかけになるよう続けてほしい。協力もしていきたい。

・ボランティアの内容が直前までわからず周囲の人も不安そうだったが、参加したらとても楽しく有意義だった。前もってボランティアへの説明が欲しかった。当日の内容がわからず参加しない、という人が多いと聞いた。せめて従事する場所の作品説明は、事前にして欲しい。

・町会員の意見を聞いた上で依頼すべき。時間が丸一日だと年寄りには長いので、半日ずつなど柔軟な時間設定をして欲しい。

・職員の人と2人での従事にはびっくりした。地元が2人ぐらいでやるのかと思っていたので寂しかった。

・事前にガイドブックを町会等に配布して知識を付けてから参加したかった。又、事前見学会をもっとPRして欲しかった。

・ボランティアに出てくる顔ぶれはいつも同じなので、もう少し大勢の方に協力してもられると良い。

・市職員で受付に来る人が毎日違い、事前説明もなく、当日の説明のみで現場へ来ていた。もう少し、事前に勉強して欲しい。現地のボランティアや菜の花プレーヤーズへ負担がかかる。受付は、来場者にとって、そこが良かったか否かのポイントであり、責任があり大変である。

・ボランティアに飲み物ぐらいは出してほしい。

・手弁当でのボランティアに対し、市職員はどのように思っているのか。市主催行事にもかかわらず、意識が低いのではないか。地域がこれだけ協力しているのだから、地域に対し、予算をもっと用意してほしい。

・市職員を無くし、100%ボランティアで運営できると良い。

・まだまだ地域の関心が低すぎる。企画段階から、町会選出のアートミックスメンバーとして協力してもらったらどうか。地元の参画が弱いことが、アートミックスが拡大していかない要因だと思う。是非、地域住民を参加させる工夫を願いたい。

・今回は前回と比較し、良かったと評価する人が多い思うが、どの点が良かったのか、悪かったのか、どのようなことで来場者が増えたのか、など良く分析し、それを地元にもフィードバックし、地元の意見も取り入れ、企画計画段階から、地元と一緒に進めて行かなければ、ボランティアも継続しないと思う。

・アーティストによる作品制作に、地域、住民の関わり方が難しかった。事前の調整、完成のイメージ（作家の狙いがわかるもの）がハッキリすると、協力もスムーズに行くように思われる。

（６）地域プロジェクト参加者へのアンケート

地域プロジェクトに参加した団体、個人を対象に、自由記述によるアンケートを行った。

実施方法：メールまたは郵送　　回答数：３３組から回答

問１　出展（店）スペース、会場レイアウト、お客様の数等への意見

① 会場全体のレイアウトや当日の出店者情報が分かり難く、特に 2 階は閑散としていた。

② 平日は来客も少なく、出店もまばらで閑散とした雰囲気のためか、教室前を素通りする方が多くいた。活気を出すには、1 ヶ所にまとまっての出店が良い。

③ 2 階までの商品や道具の搬入が大変。展示に必要な備品、壁面の養生がされていない。

④ 団体で開く展示会の数倍近く来場があり、多くの人の目に作品が触れたことは喜ばしい。

⑤ 教室内の照明が暗く、雨天時の湿度対策が出来ないため、展示会場としては不向き。

問２　謝礼金の支払や出店料の徴収への意見

※作品展示：展示期間に応じた謝礼金の支払い

全期間（37 日間）・・・・・・１０万円

前期又は後期（各 16 日間）・・・5 万円

※物販、体験（ワークショップ）、飲食の出店料徴収はなし

① 出展内容によりかかる費用が異なるので、一律ではなく経費を考慮した額が良い。

② 交通費や昼食代程度の実費、展示にかかる必要備品の借用費用分の謝礼金は必要。

③ 展示以外でも、主催者からの声かけがあっての出店は、謝礼金が出ても良い。

④ 出店料無しは気軽に参加できる半面、責任感のない出店に繋がる可能性がある。公募で採択されたのに出店をしていない人もおり、イベントへの信頼を欠いた。

⑤ 出店料は共に場を盛り上げる意味で必要。「売上げの何%」とし、平日と休日で区分。

⑥ 平日の来場が少なく売上げが出難いので、出店料なしは有り難い。

問３　今回の反省点や次回に向けたアイデア

① 公募を早目に行う事でクオリティの高い出店者を確実に誘致し、集客に繋げる。

② 参加者が主体的に考え動く事が、結果としてお客様に楽しんでもらう事に繋がった。

③ 今回の経験を活かす為、担当者を据え置き、多くの人の意見を取り込んで欲しい。

④　3 年前に比べ、行政や地元の皆さんの活躍が目立ち、大変良かった。

⑤　展示に必要なパネルや机、椅子等の備品は主催者側で準備し、設置への協力も必要。

⑥　休日などに、単発出店者を含めたマルシェイベントの開催をし、会場にリズムを作る。

⑦　地域プロジェクトの配布物を早目に作成し出展者に配布すれば、それぞれが広報可能。

⑧　インスタやＳＮＳ等のタグ付け機能の活用。美しい１枚の写真の威力は凄い。

⑨　オフィシャルサイトの改善。現在のスクロール方式では全体像の把握が難しい。

⑩　バリアフリーへの対応がされていない。

⑪　校舎内外の景観、清掃に配慮し、イベントならではの楽しい環境づくりが必要。

⑫　地域プロジェクトを定着させるため、通年若しくは定期的なイベント実施が必要。

⑬　小学生絵画展など、地域の人達によるアートが前面に出た企画となり良かった。

⑭　出店者情報を出店者自らが公式 facebook に掲載したり、相互リンクを可能にする。

⑮　旧白鳥小学校も含め、各会場への平日の周遊バスの運行は必要。

⑯　最終日の撤去開始時間の厳守。時間前に片付けを行っている団体があった。

⑰　出展者同士の交流が出来たことは、今後に繋がり非常に良かった。

⑱　地元民が楽しめる、一緒に参加できる工夫が必要。芸術祭への理解に繋がる。

問４　いちはらアート×ミックス全般への意見

①　地域プロジェクトは新たな切り口として、芸術祭の可能性を広げた。評価する。

②　地域スタンプラリーは知らなかった店に行くきっかけとなり、楽しかった。継続を。

③　ウエルカムボードは設置場所の告知があると良い。非常に良い企画。継続を。

④　市南部のイベントと言われないよう、北部で出店に前向きな方々の意見の尊重を。

⑤　次の芸術祭をやるのか、方向性はどうなるのか、市の方針を早々に明示する必要あり。

⑥　開催地域の入口となる牛久駅周辺に、徒歩で行ける作品展示が欲しい。

⑦　小湊鐵道の往復運賃が高い。芸術祭と連携した料金割引制度があると助かる。

⑧　里山トロッコの起点となる牛久駅を始め、小湊鐵道のトイレ改修は必須。

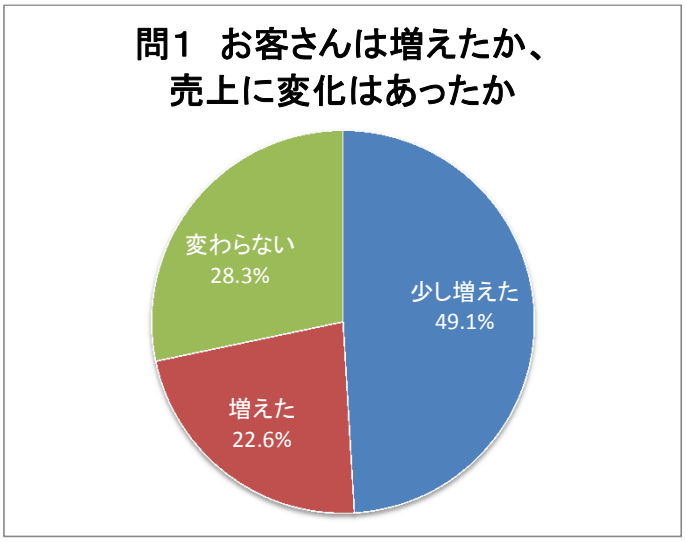
⑨　いちはらアート×ミックスを知らない人がまだ多い。開催意義や内容の周知が必要。

（７）地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ（会場周辺商業者）ｱﾝｹｰﾄ

●アンケート回答数 53店舗　　回答率 100%（聞き込み調査）

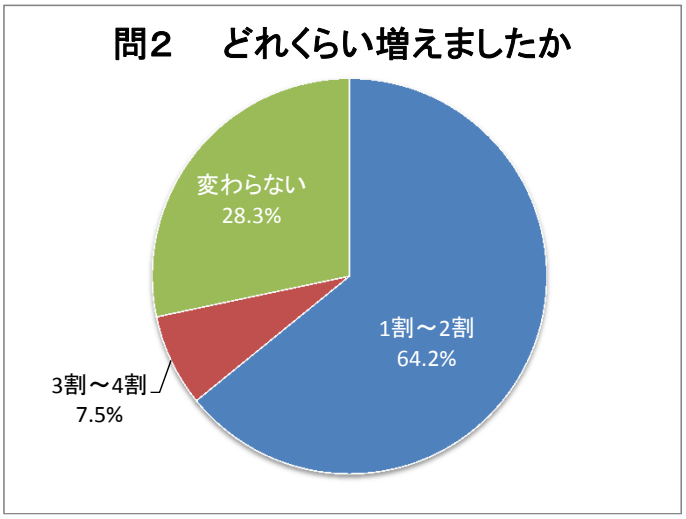
問1　お客さんは増えたか、売上に変化はあったか

回答	票数	%
少し増えた	26	49.1%
増えた	12	22.6%
変わらない	15	28.3%
合計	53	100.0%



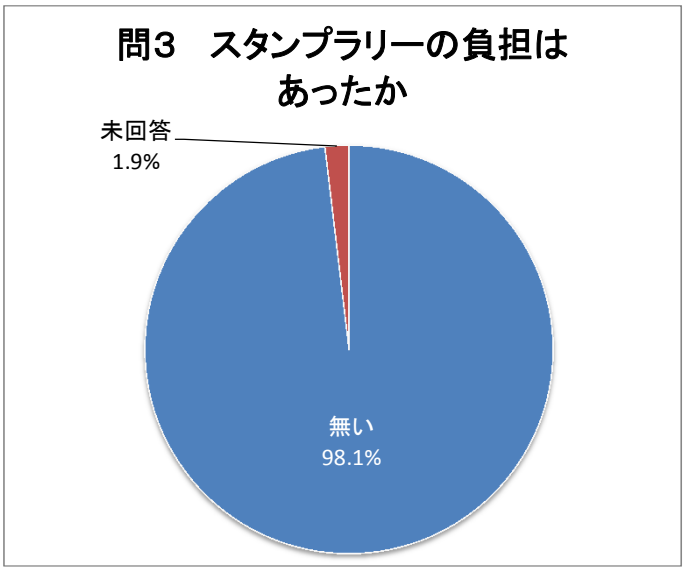
問2　どれくらい増えましたか

回答	票数	%
1割～2割	34	64.2%
3割～4割	4	7.5%
変わらない	15	28.3%
合計	53	100.0%



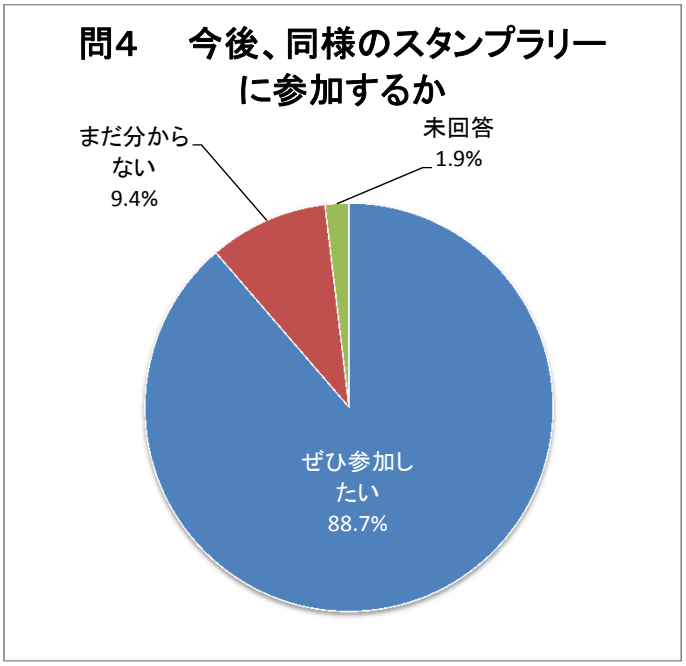
問3　スタンプラリーの負担はあったか

回答	票数	%
無い	52	98.1%
未回答	1	1.9%
合計	53	100.0%



問4　今後、同様のスタンプラリーに参加するか

回答	票数	%
ぜひ参加したい	47	88.7%
まだ分からない	5	9.4%
未回答	1	1.9%
合計	53	100.0%

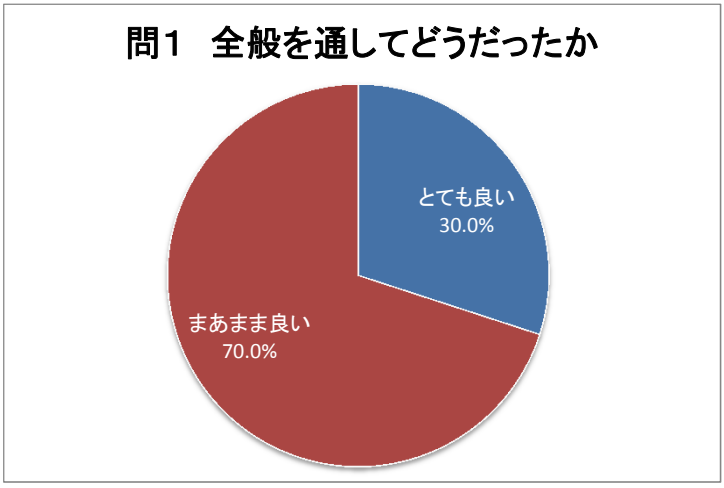


（８）近隣自治体アンケート

●14市町中、10市町が回答　　回答率 71.4%

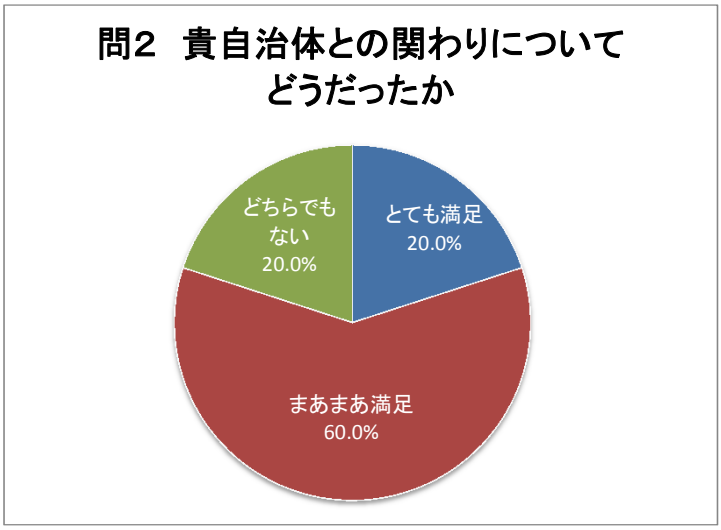
問1　全般を通してどのように思いましたか？

回答	票数	%
とても良い	3	30.0%
まあまま良い	7	70.0%
どちらでもない	0	0.0%
あまり良くない	0	0.0%
全然良くない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	10	100.0%



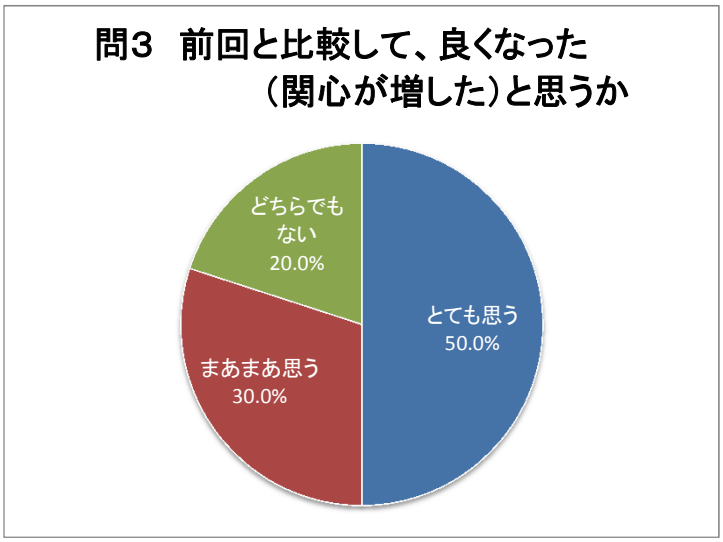
問2　貴自治体との関わりについてどのように思われますか？

回答	票数	%
とても満足	2	20.0%
まあまあ満足	6	60.0%
どちらでもない	2	20.0%
あまり満足していない	0	0.0%
全然満足していない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	10	100.0%



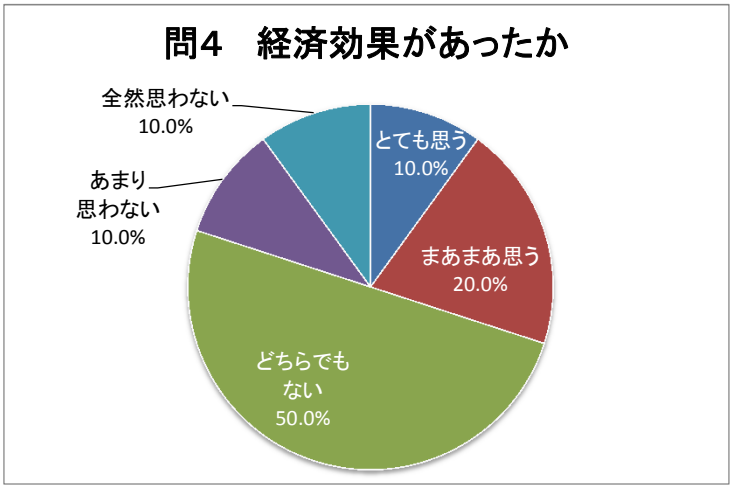
問3　前回と比較して、良くなった（関心が増した）と思われますか？

回答	票数	%
とても思う	5	50.0%
まあまあ思う	3	30.0%
どちらでもない	2	20.0%
あまり思わない	0	0.0%
全然思わない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	10	100.0%



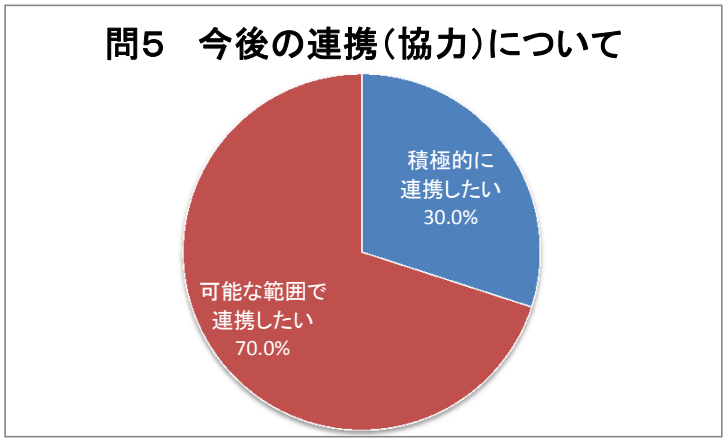
問4　貴自治体への経済効果があったと思いますか？

回答	票数	%
とても思う	1	10.0%
まあまあ思う	2	20.0%
どちらでもない	5	50.0%
あまり思わない	1	10.0%
全然思わない	1	10.0%
わからない	0	0.0%
合計	10	100.0%



問5　今後、様々な連携（協力）をお願いできますか？

回答	票数	%
積極的に連携したい	3	30.0%
可能な範囲で連携したい	7	70.0%
連携は難しい	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	10	100.0%



問6　良かった点、悪かった点（改善案）？

＜良かった点＞

- ・前回と比較し、より地域の関わりが深くなっているように感じた。
- ・里山トロッコ列車はイベント気分を盛り上げた。
- ・市をあげての歓迎ムードが伝わり良かった（五井駅のポスターなど）
- ・地域資源を存分に活かした素晴らしいイベントでした。
- ・地域（住民・団体）がイベントへ積極的に関わり、主催者と連携して取り組んでいる点が印象的だった。
- ・地域や団体・事業者などと、様々な形で連携し、展示やイベント等を行っているのが良いと感じた。

＜悪かった点（改善点）＞

- ・紹介記事掲載などについて協力したが、紹介した自治体の住民にも訴求するようなイベント・関わりが見えれば、より効果的な協力が可能であったと感じる。
- ・アート×ミックスの意味、目的などがわかりづらい。（一体何を目指したイベントなのか、伝わりにくいと感じた）
- ・各会場のコンセプトがわかりにくい。

問7　新たな連携（協力）の具体案？

- ・アート×ミックスのターゲットをより明確にしていただき、都内からの集客も狙うようであれば、そういった地域に向けたアプローチに協力することが可能である。
- ・今後、協議を重ねていく中で、発信させていただければ思う。
- ・房総さとやまGOの運行に加え、広域でのレンタサイクルやライドシェアなど、二次交通の更なる充実を図る。（要検討）
- ・次回も、情報共有等、可能な範囲で連携（協力）したいと考えている。

ICHIHARA ART×MIX 2017

いちはらアート×ミックス実行委員会

〒290-0225

千葉県市原市牛久５００番地

市原市経済部芸術祭推進課内

電話　0436－50－1160